

Printia ≡LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

Printia LASERプリンタユーティリティ

ソフトウェアマニュアル

本マニュアルの中で使用する画面表示例は、XL-5710またはXL-6010のものを使用しています。

その他の機種をご使用の場合は、表示内容が一部異なることがあります。

FUJITSU

第1章 インストールの概要

第2章 プリンタドライバのインストール

第3章 プリンタドライバの設定

第4章 *Printianavi* ネットワークポートモニタ

**第5章 *Printianavi* ネットワーク連携
ユーティリティ**

第6章 *Printianavi* マネージャ

**第7章 *Printianavi* ネットワーク設定
ユーティリティ**

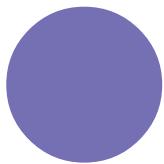
第8章 *NetWare* 印刷の設定

付 錄

索 引

第1章

インストールの概要



この章では、プリンタに添付されているソフトウェアをインストールする前に必要となる基本的なことがらについて説明します。

インストールの前に	4
双向プリンティングシステム「Printianavi (プリンティアナビ) 」	6
Printia XL ドライバ	9
Printianavi ネットワークポートモニタ	9
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ	10
Printianavi マネージャ	10
Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ	12
かんたんバーコード Lite	13
ソフトウェアライブラリ	14
Acrobat Reader 3.0J (アクロバットリーダー)	14
ソフトウェアマニュアル	15
CD-ROM の内容	16
Printianavi インストーラ	17
インストールの手順と設定の概要	18
セントロ接続の手順	19
LAN (TCP/IP) 接続の手順	20
セントロ接続の印刷設定	22
プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定 (管理者のみ)	23
LAN 接続の印刷設定	24
プリンタ共有サーバとしての設定	26
クライアントからの印刷設定	27

インストールの前に

本書では、次のプリンタについて説明します。

- ・XL-6010
- ・XL-5710
- ・XL-5310

なお、特定のプリンタを指す場合は、次のように呼び分けます。

呼び方	対象プリンタ
XL プリンタまたは本プリンタ	XL-6010/5710/5310
NetWare 対応 XL プリンタ	XL-6010 およびプリンタ RAM モジュール搭載時の XL-5710
用紙種類指定対応プリンタ	XL-6010
両面印刷対応プリンタ	XL-6010
旧 Printianavi 対応プリンタ	XL-5810/5510/5300A/5300シリーズ

本プリンタには、「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM が同梱されています。この中には、次のソフトウェアが入っています。

- ・Printia XL ドライバ(双方向プリンティングシステム「Printianavi」を含む)
- ・Printianavi ネットワークポートモニタ
(IP アドレス設定ユーティリティを含む)
- ・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ
- ・Printianavi マネージャ
- ・Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ (注 1)
- ・かんたんバーコード Lite
- ・Adobe Acrobat Reader 3.0J
- ・ソフトウェアマニュアル

注 1) ネットワーク設定ユーティリティは、NetWare 環境専用です。

TCP/IP環境で使用しているXLプリンタではお使いになれません
のでご注意ください。



- Printia XL ドライバ以外のソフトウェアは、Printianaviインストーラでインストールすることができます。(「Printianavi インストーラ」(17ページ) 参照)
Printia XL ドライバのインストール方法については、[第2章](#) および[第3章](#)をご覧ください。
- 同一ネットワーク上で本プリンタと旧 Printianavi 対応プリンタを混在運用する場合は、付録の「Printianavi トラブルシューティング」の「旧バージョン・レベルとの混在運用について」をお読みください。
- お使いのパソコンのプリンタフォルダに、すでにXL-5810/5510/5710/5310のいずれかが登録されている場合は、付録の「Printianavi トラブルシューティング」の「新しいバージョン・レベルのメッセージが表示される」および「古いバージョン・レベルのメッセージが表示される」をお読みください。

以降で、各ソフトウェアの概要について説明します。



双向印字システム 「Printianavi (プリンティアナビ)」

プリンタの印刷ジョブの処理状況、プリンタステータスの監視、印刷再開や印刷打ち切りなどを、印刷を実行したパソコンから制御するソフトウェアです。Printia XL ドライバの一部としてインストールされます。

Printianavi は、Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンに、プリンタケーブル (セントロ) または LAN 経由でプリンタを接続したときに使用できます。

「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1 」CD-ROMの中にある次のソフトウェアは、Printianavi と連携して使用します。

- Printianavi マネージャ
- Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ
- Printianavi ネットワークポートモニタ

上記のソフトウェアのどれが必要となるかは、プリンタの共有方法や接続形態、クライアント側とサーバ側などで異なります。

次の表、および「[インストールの手順と設定の概要](#)」(18 ページ) を参照してください。

プリンタの共有方法	共有しない	LAN 直接	サーバ接続プリンタを共有	
プリンタの接続形態	パラレル接続	LAN 接続	パラレル接続	LAN 接続
Printia XL ドライバ	○	○		
Printianavi マネージャ				
ネットワーク連携	-	-		
ユーティリティ				
ネットワークポートモニタ	-	○	-	○
TCP/IP プロトコル (注)	-	○		

：クライアント / サーバ双方のパソコンでインストールが必要

○：プリンタを接続するパソコン (サーバ) でインストールが必要

：必要に応じてインストールする

注) ご使用の OS(Windows 98/95/NT4.0) が提供するネットワークプロトコルを利用します。

■ Printianavi の特長

パソコンとXLプリンタの双方向通信により、Printianaviは次の機能を実現しました。

▷ ネットワークプリンタ管理

Printianaviマネージャを使用すると、プリンタフォルダに登録されているXLプリンタを一覧で表示、各プリンタの状態や印刷待ちジョブ数を確認できます。

さらに、各プリンタの詳細情報を表示したり、ネットワーク設定を変更するなど、オフィス内でネットワーク接続されたXLプリンタを、机上のパソコンで集中管理できます。

▷ 高速転送

- ・エラー発生や空きメモリ量などのプリンタ状態を確認しながら、効率よく印刷ジョブを転送します。
- ・100Mbpsの高速ネットワーク(100BASE-TX)に対応したプリンタLANインターフェースと、セントロポート(IEEE1284準拠)に標準で対応します。

▷ 優れた操作性

- ・印刷開始前に、用紙サイズや用紙残量などのプリンタステータスや、エラー内容をプリンタの設定画面で確認できます。サーバ共有プリンタのステータス表示にも対応しました。
- ・印刷を実行したパソコンに、印刷中の文書名や印刷処理の状況などのステータスや、印刷完了、エラーメッセージを表示します。(メッセージウィンドウ)
ステータスウィンドウには、プリンタの状態に対応したプリンタ情報ビットマップや状態アイコンを表示、エラー発生などをグラフィカルに通知します。
- ・ステータスウィンドウやエラーメッセージウィンドウから、印刷打ち切り操作を簡単に行えます。

▷ 高信頼印刷

- ・プリンタで紙づまりなどのエラー状態を解除すると、エラーが発生したページから印刷を自動的に再開します。この機能により、印刷抜けを防止します。
- ・Windows NT4.0をプリントサーバにした運用形態では、紙づまりや応答なし等のエラー発生時に、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定できます。
- ・プリンタの電源オフやケーブル抜けなどのネットワーク異常を監視します。エラーとなった印刷処理を自動的に打ち切り、文字化けなどの印刷トラブルの発生を事前に防止します。

■ プリンタ LAN ポートの機能概要

XL プリンタ内蔵のプリンタ LAN ポートは、100Mbps の高速ネットワーク (100BASE-TX) や 10BASE-T に接続できます。ネットワークプロトコルとして、TCP/IP を標準サポートしています。

Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンに Printianavi ネットワークポートモニタをインストールすると、Printianavi と連携して、TCP/IP 接続の XL プリンタに直接印刷することができます。これにより、プリントサーバを設置しない形態でもプリンタを共有することができます。

XL プリンタは、プリンタの IP アドレス割り当て機能として DHCP をサポートしているので、ネットワークで動作している DHCP サーバから、プリンタの IP アドレスを集中管理することができます。

また、XL プリンタは、業界標準のネットワーク管理プロトコル SNMP をサポートし、SNMP の管理情報として、MIB- 、ホストリソース MIB の一部、およびプリンタ MIB に対応しています。これにより、弊社のシステム管理ソフトウェア SystemWalker/CentricMGR や、市販の SNMP マネージャを使用して、TCP/IP 接続された XL プリンタの機器構成や装置状態などをシステム管理ソフトウェアに表示したり、ネットワーク機器としてルータやパソコン装置と同様に集中管理することができる

TCP/IP は、Windows NT の LPR 印刷にも対応しています。

さらに NetWare 対応 XL プリンタは、プリントサーバモードおよびリモートプリンタモードに対応しており、NetWare サーバ連携のプリンタ共有が可能です。ただし、NetWare 4.xJ の NDS モードには対応していません。バインダリモードで接続してください。

なお、LPR 印刷や NetWare 印刷は、双方向プリンティングシステム 「Printianavi」 には対応していませんのでご注意ください。

▼ Printia XL ドライバ

Windows 環境でプリンタを使用するために必要なプリンタドライバです。インストール方法および設定方法については、次の章をお読みください。

- ・プリンタドライバをインストールし、印刷できるようにする [第2章](#)
- ・印刷時の用紙サイズや解像度などを設定する [第3章](#)

ご使用のOSによってインストール方法および設定方法が異なりますのでご注意ください。



双方向プリンティングシステム「Printianavi」は、Windows 98/95/NT4.0のPrintia XL ドライバに対応しており、Printia XL ドライバとともにインストールされます。

▼ Printianavi ネットワークポートモニタ

XLプリンタをLAN(TCP/IP)で接続して、パソコンから直接印刷を行えるようにします。

本ユーティリティは、Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

また、本ユーティリティとともにインストールされる「IPアドレス設定ユーティリティ」は、DHCPを利用して、XLプリンタに一時的にIPアドレスを設定します。

本ソフトウェアのインストール方法や環境設定の詳細については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

▼ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

LAN (TCP/IP) 上のサーバに接続したプリンタの状態表示や印刷制御を、印刷を実行したクライアント側で行えるようにします。

このユーティリティは、Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

本ユーティリティは、プリントサーバとクライアント双方にインストールし、クライアント側でメッセージ操作環境の設定、および到着通知パネルの起動を行う必要があります。

インストール方法や環境設定、起動方法については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

▼ Printianavi マネージャ

ローカルプリンタやネットワークプリンタ、サーバの共有プリンタの情報参照や環境設定などのプリンタ管理を、パソコンから行えるようにします。

このソフトウェアは、Windows プリントスプーラおよびWindows 98/95/NT4.0が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

インストール方法や設定、起動方法については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

▷ 制限事項

- ・本ソフトウェアは、XL プリンタ専用です。他のプリンタの情報参照や環境設定は行えません。
- ・情報参照や環境設定を行うプリンタは、すべて本ソフトウェアを起動するパソコンから印刷可能な設定になっている必要があります。Printianavi 対応の Printia XL プリンタドライバを必ずインストールしてください。
- ・ただし、次のようなプリンタは、情報を取得できないため、エラー表示となります。
 - ・NetWare 環境で使用している (TCP/IP 環境との共有も含む) プリンタ
 - ・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティが正常に起動していないサーバの共有プリンタ

■ 主な機能

▷ エンドユーザー機能

XLプリンタを使用する際に必要な情報を提供します。プリンタの空き状況や、セットされている用紙サイズ等を手元のパソコンで事前に確認できるため、効率のよい印刷が可能となります。

- ・プリンター一覧表示

Windows 上に定義されたXLプリンタの状態および印刷待ちジョブ数を一覧で表示します。これにより空きプリンタを一目で確認できます。

- ・状態表示

プリンター一覧表示で選択したプリンタの状態やセットされている用紙をグラフィカルに表示します。これにより印刷目的に応じたプリンタの選択が可能となります。

▷ 管理者機能

ネットワーク環境の参照や設定等、プリンタ管理者用の機能を提供します。従来はプリンタの設置場所でオペレータパネルによる操作が必要でしたが、本機能により複数プリンタの操作を手元のパソコンから、分かりやすいユーザインターフェースを通じて行うことが可能となりました。なお、本機能はPrintianaviマネージャに管理者機能を追加した場合のみ使用することができます。

- ・ネットワーク情報表示、設定

XLプリンタのネットワーク環境の表示、およびその設定機能を提供します。

▼ Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ

NetWare 環境でプリンタを LAN (IPX/SPX) に接続して利用するため必要なプリンタの設定を、Windows 98/95 が動作する NetWare クライアントから行えるようにします。

このユーティリティは、ネットワーク管理者用です。一般ユーザの方はインストールする必要はありません。

インストール方法や設定の詳細については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

▷ 動作環境

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティは、次の環境で使用できます。

- Windows 98/95 および Novell NetWare (Workstation Shell 4.0 and above [VLM])
- Windows 98/95 および Novell NetWare Client 32

▷ 制限事項

- 本ユーティリティは、NetWare 対応 XL プリンタ専用です。NetWare に対応していないプリンタでは使用できません。また、NetWare 環境でお使いになるには、プリンタの NetWare プロトコルが「有効」に設定されている必要があります。
- マイクロソフト製の NetWare 互換のクライアントサービス (NetWare ネットワーククライアント) をインストールした環境では、互換クライアントがサポートしない関数を使用するため、正常に動作しません。
- NetWare ファイルサーバの存在しないネットワークでは、使用しないでください。また、ルータ等を使用している場合、そのルータの仕様によっては正常に動作できない場合があります。
- 本プリンタのプリンタドライバ (Printia XL ドライバ) を必ずインストールしてください。Printia XL ドライバをインストールしていない環境で Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを起動すると、「ライブラリファイル "fjxlcom.dll" が見つかりません」のエラーが発生します。この状態では Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンタ状態表示が動作しません。

- ・プリンタの設定を変更するには、設定変更権限が必要です。
設定を変更する場合にはSUPERVISORでログインし、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを起動してください。
- ・Printianavi ネットワーク設定ユーティリティや、Printianavi マネージャ、プリンタのパネル操作で、プリンタのNetWare プロトコルを「無効」に設定すると、本プリンタは、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンター一覧に表示されなくなります。
Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンター一覧にプリンタを表示して、設定等を行いたい場合には、プリンタのパネル操作で、プリンタのNetWare プロトコルを「有効」に設定してください。
- ・NetWare 4.xJ の NDS モードには対応していません。
バインダリモードでお使いください。

▼ かんたんバーコード Lite

OLE連携可能なアプリケーションソフトにバーコードを貼り付け、バーコードの表示・印刷を行えるようにします。MS-Word や MS-Excel、OASYS for Windows 、一太郎など、OLE 連携に対応したアプリケーションソフトは多数あります。

本ソフトウェアがサポートするバーコードの種類は、次の 4 種類です。

- ・JAN 標準
- ・JAN 短縮
- ・NW-7
- ・カスタマバーコード

本ソフトウェアのインストール方法や使用方法の詳細については、CD-ROMの「Barcode」フォルダに収められたPDF形式のオンラインマニュアル(Manual.pdf) およびテキストファイル(Readme.txt)をご覧ください。

▼ ソフトウェアライブラリ

Printia LASER XL シリーズのプリンタドライバを提供します。本ライブラリをご使用になるためには、Web ブラウザが必要です。プリンタドライバの使用方法は、Web ブラウザに表示される説明をご覧ください。また、CD-ROM の「Update」フォルダに収められたテキストファイル (Readme.txt) もあわせてお読みください。

▼ Acrobat Reader 3.0J (アcroバットリーダー)

PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。本ソフトウェアは、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。

CD-ROM に収められた PDF 形式のソフトウェアマニュアルを使用するには、まず Acrobat Reader (3.0J またはそれ以降) をパソコンにインストールする必要があります。

お使いのパソコンに Acrobat Reader がインストールされていない場合は、CD-ROM から Acrobat Reader 3.0J をインストールしてください。

■ Acrobat Reader 3.0J のインストール

Acrobat Reader 3.0J は、Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンにインストールできます。

「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると、Printianavi インストーラが自動的に起動します。[Acrobat Reader] をクリックすると Adobe Acrobat Reader 3.0J インストーラが起動しますので、画面の指示に従って操作してください。

Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の「Acrobat」フォルダにある Adobe Acrobat Reader 3.0J インストーラ (ファイル名:Acro30j.exe) をエクスプローラから起動してください。同フォルダ内にインストール時の注意事項などが記載された Readme.txt が収められていますのであわせてご覧ください。

▼ ソフトウェアマニュアル

「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROMに収められているソフトウェアに関する使用方法や注意事項を記載したマニュアルです。本書と合わせてご活用ください。

ソフトウェアマニュアルは、PDF 形式のファイルで提供しています。PDF 形式のファイルは、Adobe Acrobat Reader (3.0J またはそれ以降) を使用して、画面に表示したり、印刷したりすることができます。

■ ソフトウェアマニュアルの使い方

ソフトウェアマニュアルを画面に表示するには、次の2つの方法があります。

あらかじめ、Adobe Acrobat Reader (3.0J またはそれ以降) をインストールしておいてください。

- ・「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM の「Manual」フォルダ内にある Index.pdf をダブルクリックする
- ・CD-ROM をセットすると自動的に起動する Printianavi インストーラの〔ソフトウェアマニュアル〕をクリックする

CD-ROM の内容

プリンタに添付されている「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM に収められている主なファイルは、次のとおりです。

Acrobat	Adobe Acrobat Reader用フォルダ
└ Acro30j.exe	・ Acrobat Reader 3.0Jインストーラ
Barcode	かんたんバーコードLite用フォルダ
└ Setup.exe	・ かんたんバーコードLiteインストーラ
└ Manual.pdf	・ かんたんバーコードLiteソフトウェアマニュアル
Fjxladmin	Printianaviマネージャ用フォルダ
└ Setup.exe	・ Printianaviマネージャインストーラ
Fjxlv31	Printia XLドライバディスク V3.1用フォルダ
└ Win31	・ Windows 3.1用プリンタドライバ
└ Win9x	・ Windows 98/95用プリンタドライバ
└ Winnt40	・ Windows NT4.0用プリンタドライバ
Manual	ソフトウェアマニュアル用フォルダ
└ Index.pdf	・ ソフトウェアマニュアル(PDF形式)
Mib	SNMP/MIB定義ファイル用フォルダ
└ Readme.txt	・ 説明ファイル
Naviport	Printianaviネットワークポートモニタ用フォルダ
└ Setup.exe	・ ネットワークポートモニタインストーラ
Update	各種アップデート情報ファイル用フォルダ
└ Readme.txt	・ 説明ファイル
└ Index.htm	・ アップデート情報ハイパーテキストページ
└ Archive	・ アップデートファイル用フォルダ(自己解凍圧縮形式)
Workit	Printianaviネットワーク連携ユーティリティ用フォルダ
└ Win95	・ Windows 98/95対応ユーティリティ用フォルダ
└ Setup.exe	・ Windows 98/95用インストーラ
└ Winnt	・ Windows NT4.0対応ユーティリティ用フォルダ
└ Setup.exe	・ Windows NT4.0用インストーラ
WxIsetup	Printianaviネットワーク設定ユーティリティ用フォルダ
└ Install.exe	・ ネットワーク設定ユーティリティインストーラ
└ Setup.exe	Printianaviインストーラ

Printianavi インストーラ

「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM に収められている次のソフトウェアを、インストールします。

- ・ネットワークポートモニタ
- ・ネットワーク連携ユーティリティ
- ・Printianavi マネージャ
- ・ネットワーク設定ユーティリティ（注1）
- ・かんたんバーコード Lite
- ・Adobe Acrobat Reader 3.0J

Printianavi インストーラは、Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンで使用できます。CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、Printianavi インストーラが自動的に起動します。

注1)ネットワーク設定ユーティリティは、NetWare 対応 XL プリンタ専用です。NetWare に対応していないプリンタでは使用できません。

また、NetWare 環境でお使いになるには、プリンタの NetWare プロトコルが「有効」に設定されている必要があります。



- ・インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある Setup.exe をダブルクリックしてください。
- ・Windows NT4.0 が動作するパソコンにネットワークポートモニタをインストールするときは、管理者グループのメンバーでログオンしてから行ってください。

また、本インストーラからは、ソフトウェアライブラリや、ソフトウェアマニュアルの表示を行うことができます。

インストールの手順と設定の概要

インストールの手順や必要なソフトウェアは、プリンタの共有方法や接続形態、クライアント側とサーバ側などで異なります。

ここでは、接続形態（プリンタをプリンタケーブルで接続するのか、LANケーブルで接続するのか）別に、それぞれサーバで共有しない場合と共有する場合でのインストール手順（NetWare環境以外）および留意事項について説明します。（NetWare環境でのインストール手順については、[付録の「NetWare環境での印刷設定」](#)を参照してください。）

なお、以降の説明の中で、手順中の【】は、次の意味を示します。

【必須】……………印刷を行うために必要な設定です。

【Printianavi】……Printianavi機能を使用する際に必要な設定です。

【任意】……………より便利にお使いいただくための設定です。

ガイド

お使いの環境がNetWareであっても、ネットワークでTCP/IPプロトコルが使用できるときは、NetWareサーバを介さずにクライアントから直接本プリンタに印刷することができます。

設定方法については、[「LAN\(TCP/IP\)接続の手順」\(20ページ\)](#)を参照してください。

▼ セントロ接続の手順

■ サーバで共有しないとき

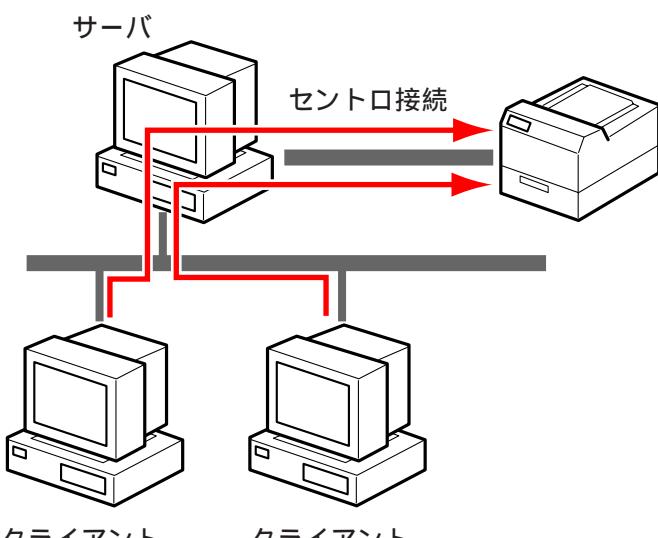
パソコンとプリンタをプリンタケーブルで接続し、他のパソコンとは
プリンタを共有しません。



- 1 印刷を行うパソコンで「セントロ接続の印刷設定」(22ページ)を行う

■ サーバで共有するとき

サーバとプリンタをプリンタケーブルで接続し、クライアントからは
サーバ経由で印刷します。



- 1 サーバ側で「セントロ接続の印刷設定」(22ページ)を行う
- 2 サーバ側で「プリンタ共有サーバとしての設定」(26ページ)を行う
- 3 各クライアントで「クライアントからの印刷設定」(27ページ)を行う

▼ LAN (TCP/IP) 接続の手順

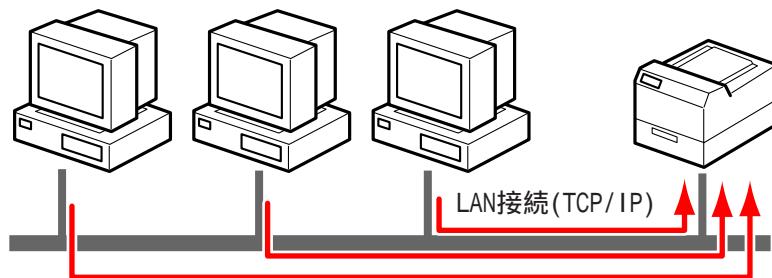
► お願い

LAN接続したプリンタに直接印刷するには、以下の環境が必要です。

- ・TCP/IPプロトコルが使用できること
- ・OSがWindows 98/95/NT4.0のいずれかであること

■ サーバで共有しないとき

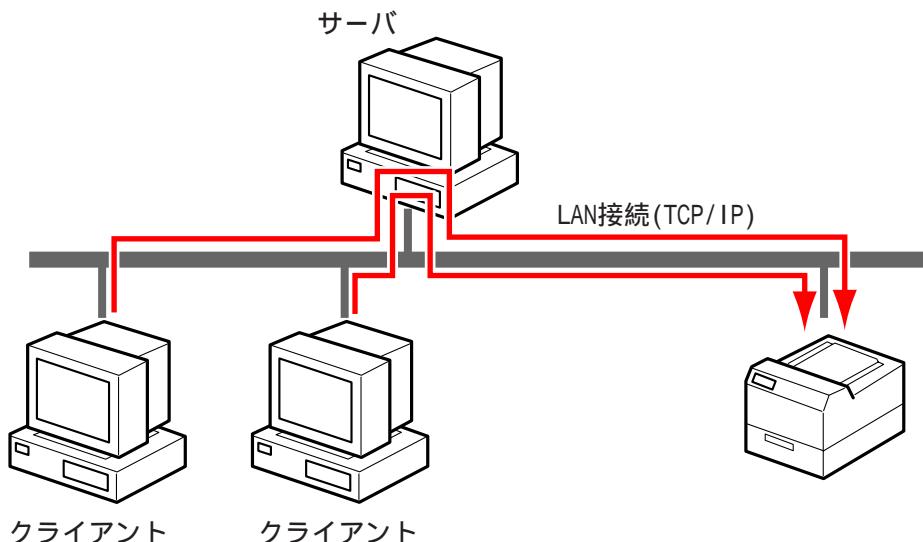
パソコンとプリンタはLANで接続、サーバを経由しないで各パソコンから直接印刷します。



- 1 管理者のパソコンまたはプリンタで「[プリンタLANポートのTCP/IP動作環境設定](#)」(23ページ)を行う
- 2 各パソコンで「[LAN接続の印刷設定](#)」(24ページ)を行う

■ サーバで共有するとき

サーバとプリンタをLANで接続し、クライアントからはサーバ経由で印刷します。



- 1 管理者のパソコンまたはプリンタで「[プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定](#)」(23 ページ) を行う
- 2 サーバ側で「[LAN 接続の印刷設定](#)」(24 ページ) を行う
- 3 サーバ側で「[プリンタ共有サーバとしての設定](#)」(26 ページ) を行う
- 4 各クライアントで「[クライアントからの印刷設定](#)」(27 ページ) を行う

▼ セント口接続の印刷設定

セント口接続のときの印刷設定は、次の手順で行います。

1 【必須】プリンタドライバをインストールする

詳細は、「[第2章 プリンタドライバのインストール](#)」(29ページ)を参照してください。

印刷先のポートは、ローカルポート(通常はLPT1)を選択します。



OSがWindows 98/95の場合は、「[Plug & Playによるインストール](#)」(35ページ)でもインストールできます。

2 【Printianavi】Printianavi機能を使えるようにする

OSがWindows 98/95/NT4.0のときに使用できる機能です。

[Printianavi]ダイアログで「Printianaviを有効にする」をチェックし、メッセージの表示方法を指定します。

詳細は、「[第3章 プリンタドライバの設定](#)」(75ページ)を参照してください。

3 【任意】必要に応じてPrintianaviマネージャをインストールする

OSがWindows 98/95/NT4.0のときに使用できる機能です。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第6章 Printianaviマネージャ](#)」を参照してください。

▼ プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定 (管理者のみ)

プリンタを LAN (TCP/IP) に直接接続するには、プリンタにアドレス (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) およびポート番号の割り当てが必要です。

ただし、ポート番号 (BPP ポート番号) は、通常は初期値「9313」のままとし、変更は不要です。

プリンタにアドレスを設定する方法は、次の 5 つの方法があります。

▷ DHCP によるアドレスの自動取得

ネットワーク内に DHCP サーバがあり、プリンタにアドレスを自動で割り当てられる場合に設定できます。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ](#)」の「[DHCP によるアドレス自動取得](#)」を参照してください。

▷ IP アドレス設定ユーティリティによる設定 (Windows 98/95/NT 4.0 のときのみ)

管理者のパソコンからプリンタにアドレスを割り当てる方法です。

プリンタのパネル操作よりも簡単に行えます。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ](#)」の「[IP アドレス設定ユーティリティによる設定](#)」を参照してください。

▷ プリンタのパネル操作によるアドレス設定

プリンタ側でアドレスの設定を行います。

詳細は、プリンタ編の説明を参照してください。

▷ ネットワーク設定ユーティリティによる設定

NetWare 環境で使用しているプリンタの設定をネットワーク設定ユーティリティで行っている場合は、TCP/IP の設定の追加・変更も行うことができます。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第7章 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ](#)」を参照してください。

▶ Printianavi マネージャによる設定 (Windows 98/95/NT4.0 のときのみ)

LAN接続されているプリンタのTCP/IP設定を変更する場合や、プリンタをセントロ接続からLAN接続に変更する場合は、Printianaviマネージャの管理者機能を使用してTCP/IPの設定の追加・変更を行うことができます。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第6章 Printianaviマネージャ](#)」を参照してください。



LAN接続の印刷設定

LAN接続のときの印刷設定は、次の手順で行います。

▶ 準備

- ・設定を行うパソコンにTCP/IPプロトコルおよびMicrosoft クライアントサービス（Windows 98/95）を組み込む必要があります。
- ・Windows NT4.0で設定を行う場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

▶ 手順1

Printianaviネットワークポートモニタをインストールしていないとき

1 【必須】Printianaviネットワークポートモニタをインストールし、印刷先のポートを作成する

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第4章 Printianaviネットワークポートモニタ](#)」を参照してください。

2 【必須】プリンタドライバをインストールする

詳細は、「[第2章 プリンタドライバのインストール](#)」(29ページ)を参照してください。

印刷先は1で作成したポートを選択します。

3 【任意】必要に応じてPrintianaviマネージャをインストールする

OSがWindows 98/95/NT4.0のときに使用できる機能です。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第6章 Printianaviマネージャ](#)」を参照してください。

▷ 手順2

Printianavi ネットワークポートモニタをインストール済みのとき
IP アドレス設定ユーティリティでポートの作成を行っていないとき
2 台以上の LAN 接続プリンタに直接印刷するとき

1 【必須】仮の印刷先ポートを指定してプリンタドライバをインストールする

詳細は、「[第2章 プリンタドライバのインストール](#)」(29 ページ) を参照してください。
印刷先は適当なポート (ローカルポート : LPT1 など) を選択してください。

▷ お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているので、テストページ等の印刷は行わないでください。

2 【必須】印刷先ポートの追加と変更を行う

詳細は、「[印刷先ポートの追加と変更](#)」(57、61 ページ) と「[LAN 接続プリンタに印刷するとき](#)」(59、62 ページ) を参照してください。

3 【任意】必要に応じて Printianavi マネージャをインストールする

OS が Windows 98/95/NT4.0 のときに使用できる機能です。
詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第6章 Printianavi マネージャ](#)」を参照してください。

▼ プリンタ共有サーバとしての設定

プリンタを共有するときのサーバの印刷設定は、次の手順で行います。

1 【必須】プリンタを共有するサーバの設定をする

詳細は、「[プリンタを共有する](#)」(54ページ)を参照してください。

2 【Printianavi】Printianavi機能をクライアント側で使用できる ように設定する

Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールし、サーバの設定を行います。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第5章 Printianaviネットワーク連携ユーティリティ](#)」の「[サーバ側の設定](#)」を参照してください。

プリンタを共有するサーバおよびクライアントのOSがWindows 98/95/NT4.0でTCP/IPプロトコルで接続されていることが必要です。



Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールしない場合や、クライアント側でPrintianavi機能が使用できない場合は、メッセージの表示や印刷打ち切り作業などを、すべてサーバ側で行います。また、サーバ側でPrintianaviを有効にしていない(できない)場合は、クライアント側でPrintianavi機能は使用できません。

3 【任意】代替ドライバをインストールする

サーバのOSがWindows NT4.0で、クライアントのOSがWindows 98/95/NT4.0の場合は、代替ドライバをインストールすることができます。

詳細は、「[代替ドライバのインストール](#)」(67ページ)を参照してください。

▼ クライアントからの印刷設定

クライアントからの印刷設定は次の手順で行います。

▷ 手順

1 【必須】クライアントに仮の印刷先ポートを指定してプリンタドライバをインストールする

詳細は、「[第2章 プリンタドライバのインストール](#)」(29ページ)を参照してください。

印刷先のポートは、適当なポート(ローカルポート:LPT1など)を選択してください。

▷ お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているのでテストページ等の印刷は行わないでください。



プリンタを共有するサーバ(Windows NT4.0)にクライアントOSの代替ドライバがインストールされている場合は、ネットワークインストールでインストールすることができます。

詳細は、「[ネットワークインストール](#)」(70ページ)を参照してください。この場合は2の印刷先ポートの変更は不要です。

2 【必須】印刷先ポートの変更を行う(ネットワークインストールした場合を除く)

詳細は、「[印刷先ポートの追加と変更](#)」(57、61ページ)と「[サーバ経由で印刷するとき](#)」(58、62ページ)(Windows 3.1は「[Windows 3.1のとき](#)」(64ページ))を参照してください。

3 【Printianavi】Printianavi機能をクライアント側で使用できる ように設定する

次の動作環境であることが必要です。

- ・プリンタを共有するサーバおよびクライアントのOSがWindows 98/95/NT4.0でTCP/IPプロトコルで接続されていること
- ・プリンタを共有するサーバにPrintianaviネットワーク連携ユーティリティがインストールされ、サーバ側の設定がされていること

プリンタドライバの設定画面〔Printianavi〕ダイアログで「Printianaviを有効にする」をチェックし、メッセージの表示方法を指定します。詳細は、「[第3章 プリンタドライバの設定](#)」(75ページ)を参照してください。

その後、Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールし、クライアントの設定を行います。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第5章 Printianaviネットワーク連携ユーティリティ](#)」の「クライアント側の設定」を参照してください。

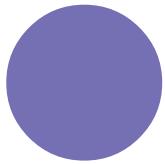
4 【任意】必要に応じてPrintianaviマネージャをインストール する

OSがWindows 98/95/NT4.0のときに使用できる機能です。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第6章 Printianaviマネージャ](#)」を参照してください。

第2章

プリンタドライバの インストール



この章では、パソコンにプリンタドライバ (Printia XL ドライバ) をインストールし、印刷できるようにするまでの操作について説明します。

インストール	30
Windows 98/95 のとき	30
Windows NT4.0 のとき	46
Windows 3.1 のとき	51
プリンタを共有する	54
Windows 98/95 のとき	54
Windows NT4.0 のとき	56
印刷先ポートの追加と変更	57
Windows 98/95 のとき	57
Windows NT4.0 のとき	61
Windows 3.1 のとき	64
新しいドライバに置き換えるとき	65
Windows 98/95 のとき	65
Windows NT4.0 のとき	66
Windows 3.1 のとき	66
代替ドライバとネットワークインストール	67
代替ドライバのインストール (Windows NT4.0のみ)	67
ネットワークインストール	70

インストール

ご使用のOSによってインストール方法が異なります。それぞれの手順に従ってください。

また、CD-ROMがないパソコンにインストールする場合は、プリンタドライバのフロッピーディスクを作成してください。詳細は、[付録の「XL ドライバディスクの作成」](#)を参照してください。)

▼ Windows 98/95 のとき

ここでは、Windows 98/95が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順は通常のインストールとPlug & Playで異なります。それぞれの手順に従ってください。

■ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のCD-ROMを準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows 98/95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

画面の例はWindows 98のものです。

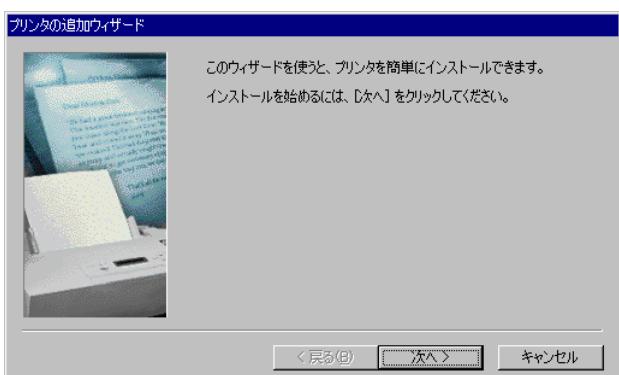


- ・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROM内の「WIN9X.TXT」をお読みください。
- ・Windows 3.1で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows 98/95にアップグレードしている場合は、Windows 98/95の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

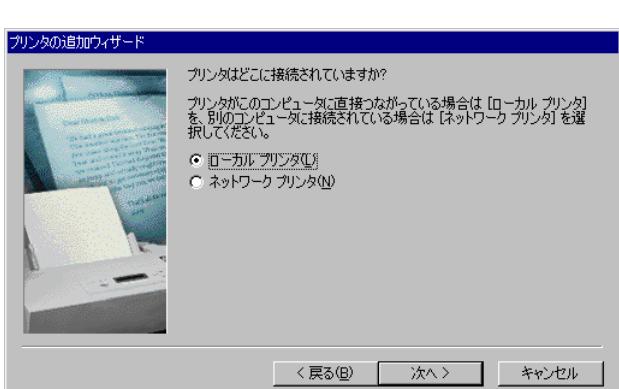
1 Windows 98/95を起動する



2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



3 〔次へ〕をクリックする



4 ローカルプリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ、表示されます。



・スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。

・〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

「代替ドライバとネットワークインストール」(67ページ)を参照してください。



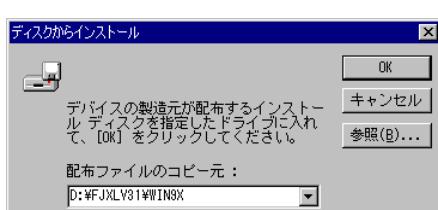
5 [ディスク使用] をクリックする

6 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピードライブにセットします。



CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、[終了] を選択して画面を閉じてください。



7 配布ファイルのコピー元: に「D:\FJXLV31\WIN9X」と入力する、または [参照] をクリックして「D:\FJXLV31\WIN9X」を選択する (CD-ROM ドライブが D: のとき)

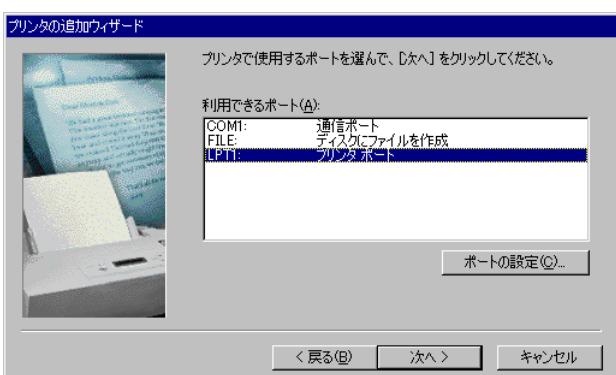
入力が終わったら [OK] をクリックします。



フロッピーディスクを使用する場合は、配付ファイルのコピー元: に「A:\WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブが A: のとき)

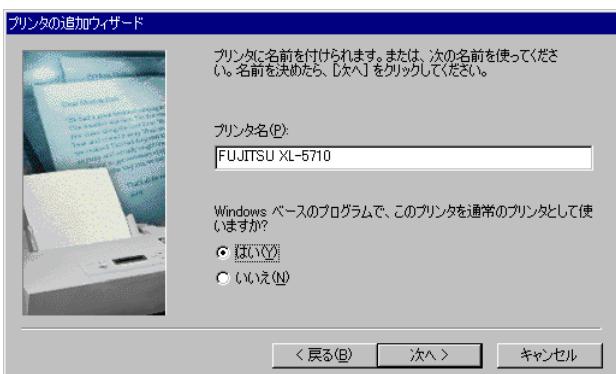


8 プリンタを選択して、[次へ]をクリックする



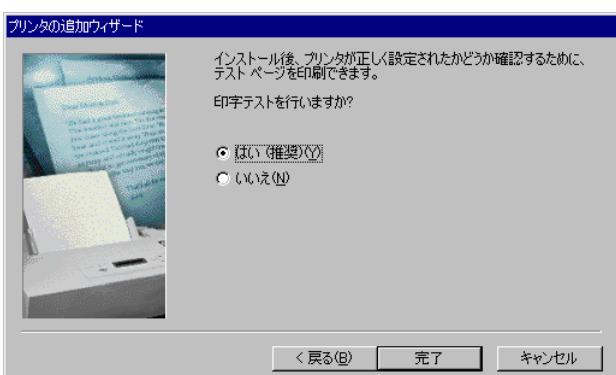
9 使用するポートを選択して[次へ]をクリックする

使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート(LPT1)などを選択してください。



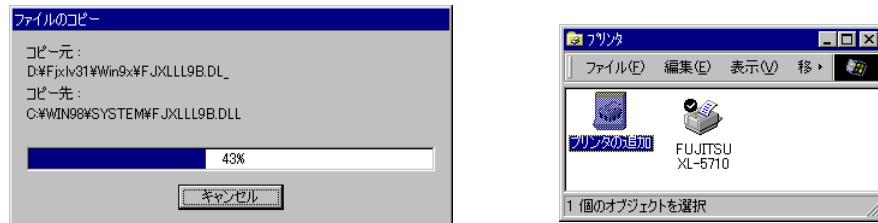
10 本プリンタに名前を付け、「通常のプリンタ」に設定する場合は、[はい]を選択し、[次へ]をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に「通常のプリンタ」に設定されます。

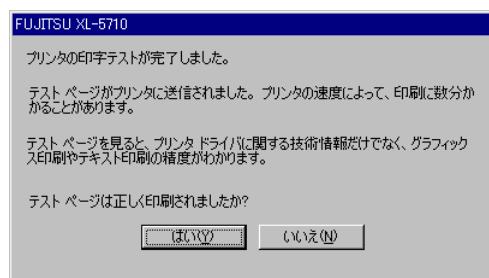


11 テストページを印刷するか、しないか選択して[完了]をクリックする
手順9で仮のポートを選択した場合は、[いいえ]を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、[プリンタ] フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「テストページを印刷しますか？」で“はい(推奨)”を選択した場合は以下の操作を行います。



12 テストページが正しく印刷されたら [はい] をクリックし、インストールを終了する

テス ト ペ ー ジ 印 刷 中 は Printianavi のステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

■ Plug & Play によるインストール

プリンタドライバのPlug & Playによるインストールは、次の手順で行います。

添付のCD-ROMを準備してください。



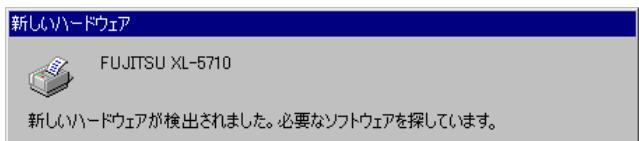
ご使用のパソコンにインストールされているWindows 98/95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

また、Plug & Playでプリンタが検出されない場合は、通常のインストールでプリンタドライバをインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「FJXLV31」フォルダにある「WIN9X.TXT」をお読みください。
- ・Windows 3.1で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows 98/95にアップグレードしている場合は、Windows 98/95の[プリンタ]フォルダから本プリンタを選択し、[ファイル]メニューの[削除]をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

▶ Windows 98 のとき



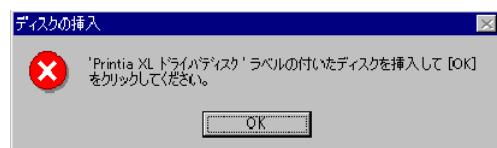
パソコン起動時に「FUJITSU XL-XXXX 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」(XL-XXXX はプリンタ名)と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバのインストールをしてください。

● **ガイド** Plug & Playはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。



1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 98 を起動する

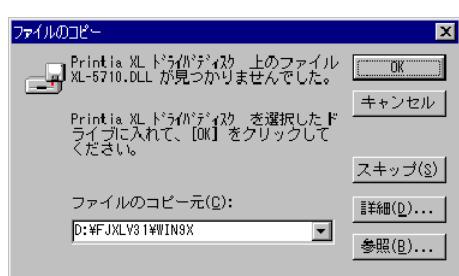
次の画面が表示されている場合は、[次へ]をクリックして4に進みます。



左の画面が表示されている場合は、[OK] をクリックして2に進みます。

2 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

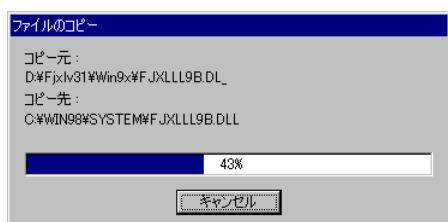


3 ファイルのコピー元に「D:\FJXLV31\WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLV31\WIN9X」を選択し、〔OK〕をクリックする(CD-ROMドライバがD:のとき)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



フロッピーディスクを使用する場合は、ファイルのコピー元に「A:\WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



ファイルのコピーが開始されます。

ファイルのコピーが終わると、インストールは自動的に終了します。



4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して〔次へ〕をクリックする

5 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライバにセットする

CD-ROMから作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



6 「CD-ROM ドライブ」と「検索場所の指定」をチェックして、検索場所を「D:\FJXLV31\WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLV31\WIN9X」を選択し(CD-ROM ドライブがD:のとき)〔OK〕をクリックする

検索場所の指定が終わったら、〔次へ〕をクリックします。

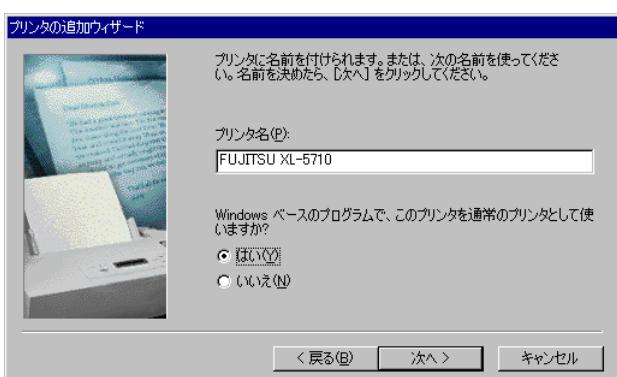


フロッピーディスクを使用する場合は、「フロッピーディスクドライブ」と「検索場所の指定」をチェックして、検索場所を「A:\WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブが A:のとき)



7 ドライバのある場所：が「D:\FJXLV31\WIN9X\FJXLV8.INF」と表示されていることを確認して、〔次へ〕をクリックする(CD-ROM ドライブがD:のとき)

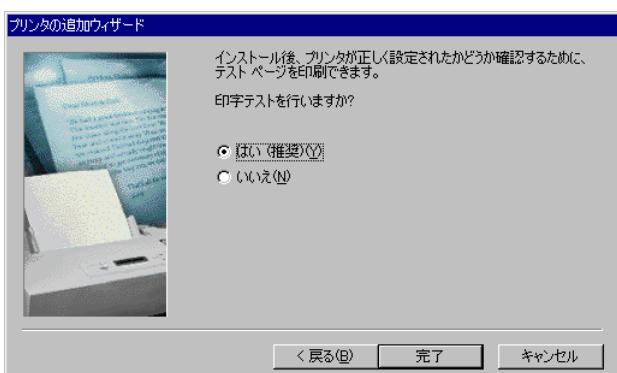
フロッピーディスクを使用する場合は、「A:\WIN9X\FJXLV8.INF」と表示されていることを確認して、〔次へ〕をクリックします。(フロッピーディスクドライブが A:のとき)



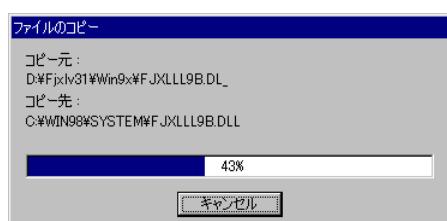
8 本プリンタに名前を付け、「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



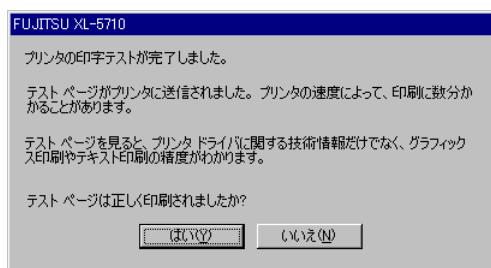
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。



9 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする



ファイルのコピーが開始されます。



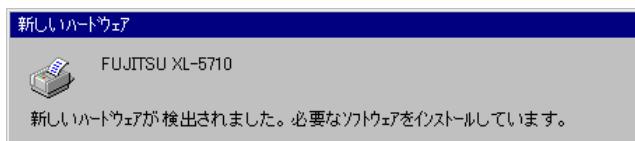
「テストページを印刷しますか？」で「はい(推奨)」を選択した場合は、テストページが正しく印刷されたことを確認して〔はい〕をクリックします。

テストページ印刷中は Printianavi のステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。



10 [完了] をクリックして、インストールを終了する

▶ Windows 95 のとき

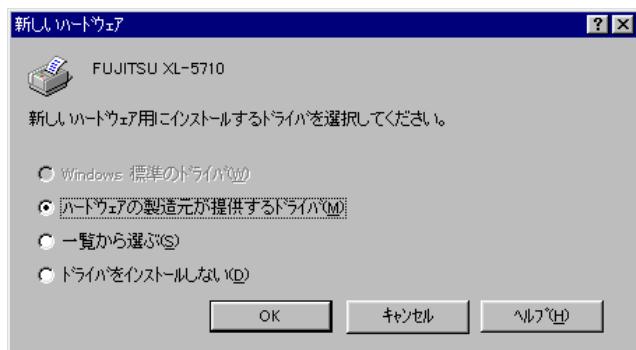


1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 95 を起動する

パソコン起動時に「FUJITSU XL-XXXX新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」(XL-XXXXはプリンタ名)と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバのインストールをしてください。

● **ガイド** Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

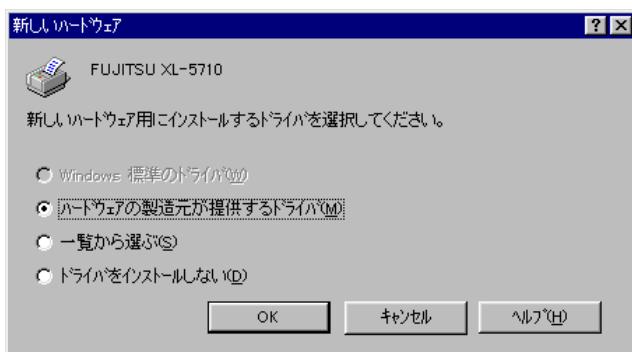
次の画面が表示されている場合は2に進みます。



次の画面が表示されている場合は5に進みます。



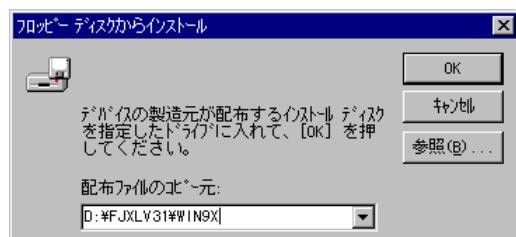
一度インストールしたドライバを削除した後で再インストールしたときは、この画面は表示されません。



2 “ハードウェアの製造元が提供するドライバ”をクリックして[OK]をクリックする

3 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROMから作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



4 配布ファイルのコピー元: に「D:\FJXLV31\WIN9X」と入力する、または[参照]をクリックして「D:\FJXLV31\WIN9X」を選択する(CD-ROMドライブがD:のとき)

入力が終わったら[OK]をクリックします。

10へ進んでください。



フロッピーディスクを使用する場合は、配布ファイルのコピー元: に「A:\WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



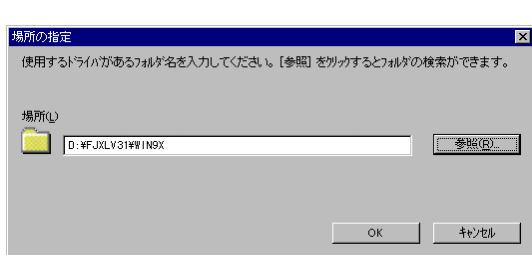
5 [次へ] をクリックする

6 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



7 [場所の指定] をクリックする



8 場所に「D:\FJXLV31\WIN9X」と入力する、または[参照]をクリックして「D:\FJXLV31\WIN9X」を選択する(CD-ROM ドライブがD:のとき)

入力が終わったら [OK] をクリックします。



フロッピーディスクを使用する場合は、配付ファイルのコピー元：に「A:\WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブが A: のとき)



9 [完了] をクリックする
左のようなダイアログボックス
が表示されたら、[完了] をク
リックします。

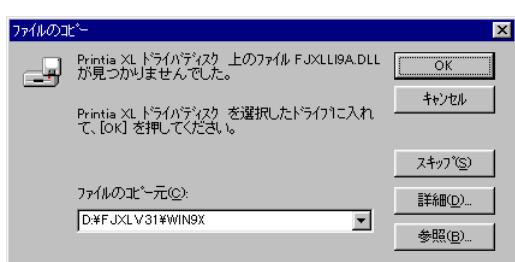


10 本プリンタに名前を付
け、「通常のプリンタ」に
設定する場合は、[はい]
を選択し、[次へ] をク
リックする

他にインストールされているプ
リンタがない場合は、自動的に
「通常のプリンタ」に設定され
ます。



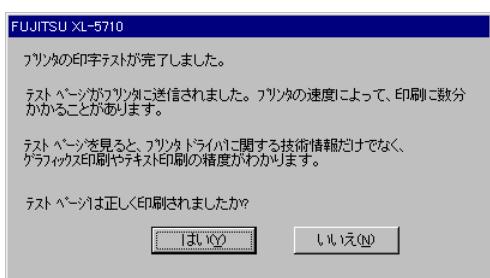
11 テストページを印刷する
か、しないか選択して
[完了] をクリックする
「ディスクの挿入」ダイアログ
ボックスが表示されたら、[OK]
をクリックします。



12 ファイルのコピー元に「*D:\FJXL V31\WIN9X*」と入力する、または[参照]をクリックして「*D:\FJXL V31\WIN9X*」を選択する(CD-ROM ドライブが*D:*のとき)

入力が終わったら[OK]をクリックします。

「テストページを印刷しますか？」で「はい(推奨)」を選択した場合は、以下の操作を行います。



13 テストページが正しく印刷されたら[はい]をクリックし、インストールを終了する

テストページ印刷中は Printianavi のステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

▼ Windows NT4.0 のとき

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「FJXLV31」フォルダにある「WINNT40.TXT」をお読みください。
- ・Windows NT3.51で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows NT4.0 にアップグレードしている場合は Windows NT4.0 の〔プリンタ〕フォルダからプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

- 1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックする



- 3 Windows の〔プリンタ〕フォルダの プリンタの追加 をダブルクリックする



4 [このコンピュータ]を選択して[次へ]をクリックする



[ネットワークプリンタサーバー]を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。詳細は、「代替ドライバとネットワークインストール」(67ページ)を参照してください。



5 プリンタを接続したポートを指定して[次へ]をクリックする

[利用可能なポート]から、プリンタを接続したポートを選択します。まだ、ポートを作成していない場合は、仮のポートを選択してください。ただし、この場合は正しいポートを設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。



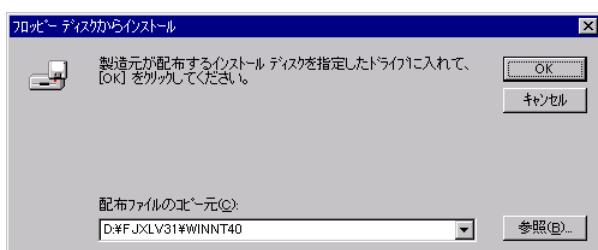
6 [ディスク使用]をクリックする

7 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



8

配布ファイルのコピー元: に「D:\FJXLV31\WINNT40」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLV31\WINNT40」を選択し、〔開く〕をクリックする (CD-ROM ドライブがD:のとき)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



フロッピーディスクを使用する場合は、配布ファイルのコピー元: に「A:\WINNT40」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



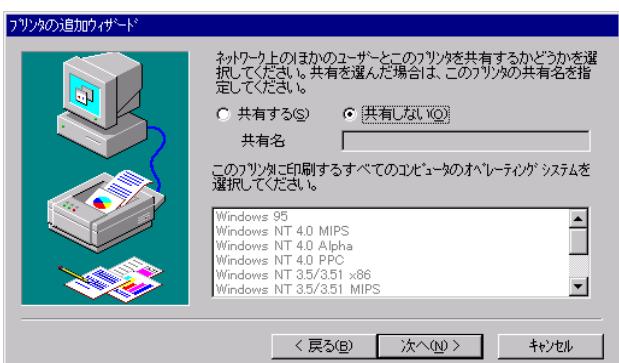
9

該当するプリンタをクリックして、〔次へ〕をクリックする



10 本プリンタに名前を付け、「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に「通常のプリンタ」に設定されます。

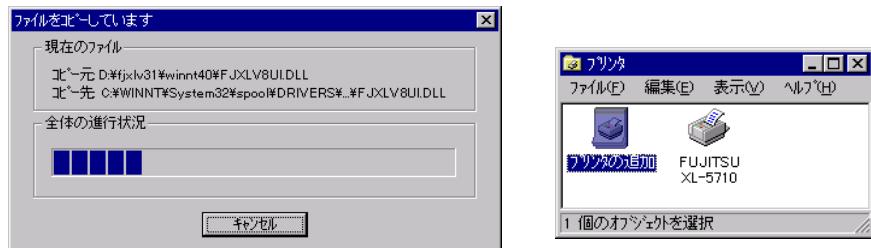


11 「共有しない」を選択し、〔次へ〕をクリックする
プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは、「共有しない」を選択します。

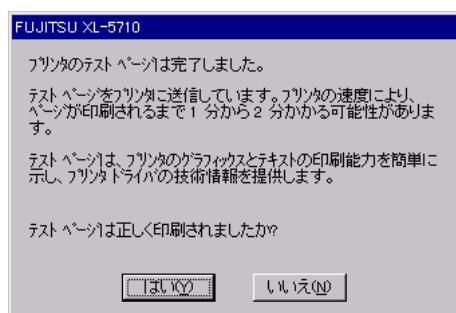


12 テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕をクリックする
手順5で仮のポートを選択した場合やLPRポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、[プリンタ] フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「テストページを印刷しますか？」で“はい(推奨)”を選択した場合には以下の操作を行います。



13 テストページが正しく印刷されたら [はい] をクリックし、インストールを終了する

テストページ印刷中は Printianavi のステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

▼ Windows 3.1 のとき

ここでは、Windows 3.1をご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 3.1のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

インストールの前に、メモ帳等により CD-ROM の FJXLV31 フォルダにある ¥WIN31.TXT をお読みください。

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

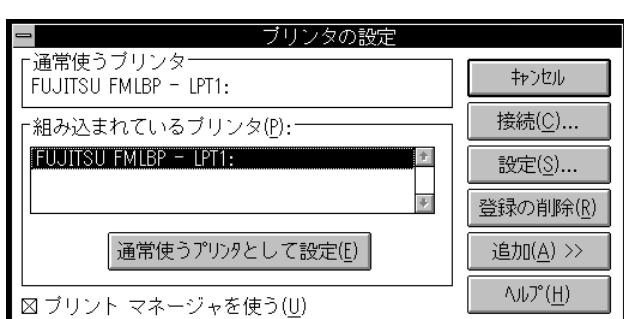
1 Windows 3.1 を起動する



2 [メイン] グループ中の
コントロールパネル
をダブルクリックする



3 コントロールパネル
中の プリンタ をダブ
ルクリックするか、また
は[設定]メニューの[プ
リンタ..]を選択する



4 [プリンタの設定] ダイ
アログボックスの [追
加] をクリックする

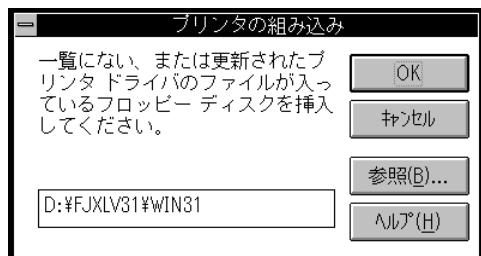


5 [組み込むプリンタの選択:]リストボックス中の「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選択し、[組み込み...]をクリックする

6 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

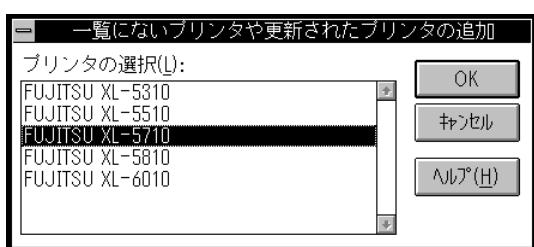
CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

7 [プリンタの組み込み]ダイアログボックスのテキストボックスに、「D:¥FJXLV31¥WIN31」と入力する(CD-ROM ドライブが D: のとき)
入力が終わったら [OK] をクリックします。



ガイド

フロッピーディスクを使用する場合は、配付ファイルのコピー元：に「A:¥WIN31」と指定します。(フロッピーディスクドライブが A: のとき)



8 [プリンタの選択:] リストボックスの中から、該当するプリンタをクリックして、[OK] をクリックする

[組み込まれているプリンタ:] に、選択したプリンタ名が表示されます。



[プリンタの選択:] リストボックスの表示内容は、プリンタドライバのバージョンによって多少異なる場合があります。



9 プリンタ名をクリックし、[通常使うプリンタとして設定] をクリックする

選択したプリンタが [通常使うプリンタ] に表示され、ドライバが有効になります。

10 [プリンタの設定] ダイアログボックスの [終了] をクリックし、インストールを終了する

プリンタを共有する

ここでは、プリンタドライバをインストールしたパソコン（サーバ）から印刷可能なプリンタを、他のパソコン（クライアント）からも印刷できるようにする（サーバ経由で印刷する）ために必要なサーバ側の設定について説明します。

●ガイド

Printianavi機能をクライアントから使用できるようにするためには、この他にPrintianaviネットワーク連携ユーティリティのインストールおよび設定が必要です。Printianaviネットワーク連携ユーティリティのインストールおよび設定方法については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。

▼ Windows 98/95 のとき

■ 設定の前に

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定することが必要です。

- 1 [スタート]から[設定][コントロールパネル]の順に選択し、[ネットワーク]をクリックする
- 2 [ファイル]メニューから、[開く]を選択する
- 3 [ファイルとプリンタの共有]をクリックし、[プリンタを共有できるようにする]を選択する

■ 設定方法

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
- 2 [ファイル]メニューから、[共有]を選択する
- 3 [共有する]を選択し、共有名と必要に応じてコメント、パスワードを入力する



共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

コメント プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。

パスワード 他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。

パスワードを使わないとときは、空白のままにします。

入力が終わったら、[OK]をクリックしてください。

▼ Windows NT4.0 のとき

■ 設定方法

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする
- 2 [ファイル]メニューから、[共有]を選択する
- 3 [共有する]を選択し、共有名を入力する



共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

入力が終わったら、[OK]をクリックしてください。

印刷先ポートの追加と変更

プリンタの接続方法を変更するときには、印刷先のポートを変更する必要があります。また、プリンタがLAN(TCP/IP)に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

ここでは、プリンタの印刷先ポートの追加および変更方法を説明します。

▼ Windows 98/95 のとき

1 [スタート]から、[設定][プリンタ]の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



2 [ファイル]メニューから、[プロパティ]を選択し、[詳細]タブをクリックする

3 [印刷先のポート]のをクリックして、一覧を表示する

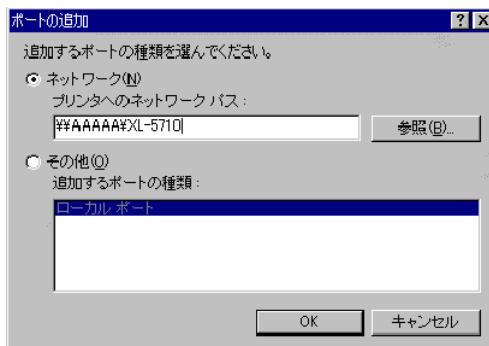
新しい印刷先に指定するポートが一覧にある場合は、選択して[OK]をクリックしてください。一覧にない場合は、手順4に進んでください

4 [ポートの追加] をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

▷ サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



「ネットワーク」を選択後、[参照] をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力して[OK] をクリックする

入力形式は「¥¥ サーバのネットワークコンピュータ名 ¥ プリンタの共有名」です。



NetWare で印刷する場合の入力形式は、「¥¥ ファイルサーバ名 ¥ プリントキュー名」です。

▶ LAN接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用して LAN (TCP/IP) に接続されたプリンタに直接印刷するときの設定です。



1 「その他」を選択後、「追加するポートの種類」で「Printianavi Network Port」を選択して〔OK〕をクリックする



「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianaviネットワークポートモニタのインストールを先に行ってください。Printianaviネットワークポートモニタのインストールおよび設定方法については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。



2 ポート名とプリンタのIPアドレスまたはホスト名を入力する

ポート名 半角の英数字で 8 文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。



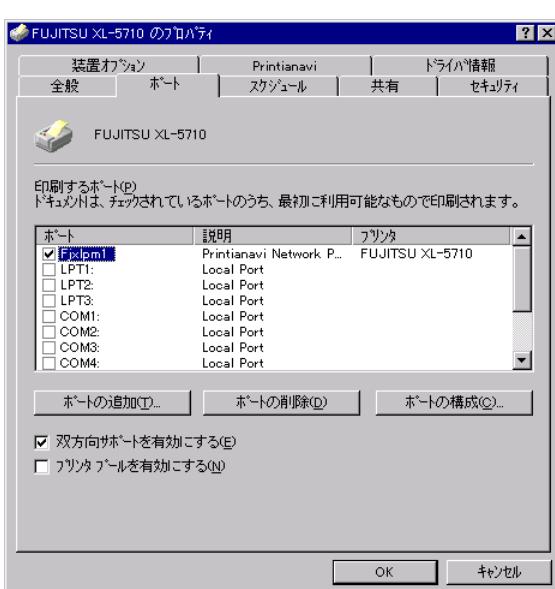
- ・〔ポートの設定〕についてのさらに詳しい説明は、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。
- ・プリンタLANカードXL-LN100で接続されたプリンタの場合は、〔追加するポートの種類〕で「XL-LN100」を選択してください。(設定の詳細はXL-LN100のマニュアルを参照してください。)

〔詳細〕ダイアログの〔印刷先のポート〕に新しく追加したポートが表示されていることを確認して、〔OK〕をクリックしてください。

▼ Windows NT4.0 のとき

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作をします。

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



- 2 [ファイル]メニューから、[プロパティ]を選択し、[ポート]タブをクリックする

- 3 「印刷するポート」の一覧から、新しい印刷ポートを選択する

一覧にある場合は、ポートの横をチェックして[OK]をクリックしてください。

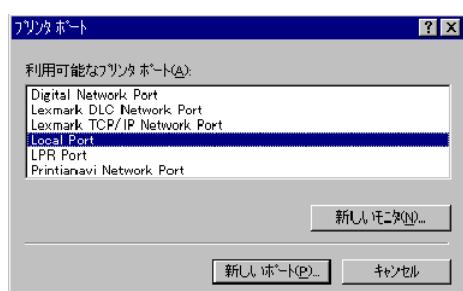
一覧にない場合は、手順4に進んでください

- 4 [ポートの追加]をクリックする

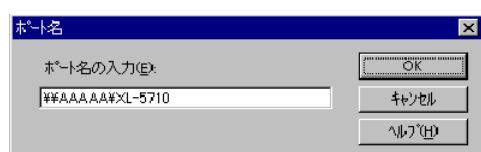
プリンタの接続方法(印刷方法)によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

▶ サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



1 [利用可能なプリンタポート] から「Local Port」を選択して [新しいポート] をクリックする



2 ネットワークパスを入力して [OK] をクリックする

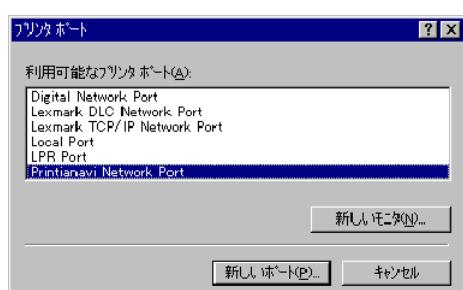
入力形式は「¥¥ サーバのネットワークコンピュータ名 ¥ プリンタの共有名」です。



NetWareで印刷する場合の入力形式は、「¥¥ ファイルサーバ名 ¥ プリントキュー名」です。

▶ LAN接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用して LAN (TCP/IP) に接続されたプリンタに直接印刷するときは次のように設定します。



1 [利用可能なプリンタポート] から「Printianavi Network Port」を選択して [新しいポート] をクリックする



「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianaviネットワークポートモニタのインストールを先に行ってください。Printianaviネットワークポートモニタのインストールおよび設定方法については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。



2 ポート名とプリンタのIPアドレスまたはホスト名を入力する
入力が終わったら、[OK] をクリックしてください。

ポート名 半角の英数字で 8 文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。



- ・[ポートの設定]についてのさらに詳しい説明は、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。
- ・プリンタLANカードXL-LN100で接続されたプリンタの場合は、[利用可能なポートの種類]で「XL-LN100」を選択してください。(設定の詳細はXL-LN100のマニュアルを参照してください)

[ポート]ダイアログの[印刷するポート]に新しく追加したポートが表示かつチェックされていることを確認して、[OK]をクリックしてください。



Windows 3.1 のとき

- 1 [メイン] グループ中の コントロールパネル をダブルクリックする
- 2 コントロールパネル 中の プリンタ をダブルクリックする
- 3 [プリンタの設定] ダイアログボックスの [組み込まれているプリンタ] で接続先を変更するプリンタを選択し、[接続] をクリックする
- 4 [プリンタの接続] ダイアログボックスの [接続先] リストから新しいポートを選択する、またはネットワークに接続する場合は[ネットワーク]をクリックして接続先を指定する

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。



Windows 98/95/NT4.0では、通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。「XXXX」が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

▼ Windows 98/95 のとき

- 1 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く
- 2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する



- 3 [はい]をクリックする
この後に、「このプリンタだけが使っていたファイルがいくつかあります。これらのファイルはもう必要ありません。削除しますか?」というメッセージが表示された場合は、[はい]をクリックします。
- 4 Windows 98/95 を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows 98/95を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(30ページ)の手順でインストールする
- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 98/95を再起動する

▼ Windows NT4.0 のとき

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作をします。

- 1 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタフォルダ〕を開く
- 2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する



- 3 〔はい〕をクリックする

- 4 Windows NT4.0 を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows NT4.0を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「インストール」の「Windows NT4.0 のとき」(46ページ)の手順でインストールする
- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows NT4.0 を再起動する

▼ Windows 3.1 のとき

- 1 コントロールパネルの〔プリンタ〕をダブルクリックする
〔プリンタの設定〕ダイアログボックスが表示されます。
- 2 〔プリンタの設定〕ダイアログボックスで、〔組み込まれているプリンタ〕から該当するプリンタをクリックし、〔登録の削除〕をクリックする
「FUJITSU XL-XXXXプリンタを削除しますか?」というダイアログボックスが表示されます。削除する場合は〔はい〕を、キャンセルする場合は〔いいえ〕をクリックします。

代替ドライバとネットワークインストール

プリンタを共有するサーバ（Windows NT4.0）に代替ドライバをインストールしておくと、クライアントのプリンタドライバのインストールが簡潔に行えるようになります。

例えば、Windows NT4.0 上の共有プリンタを Windows 98/95 のパソコンから利用したい場合に、Windows NT4.0 のパソコンにあらかじめ Windows 98/95 用のプリンタドライバを代替ドライバとしてインストールしておけば、Windows 98/95 のパソコンにプリンタドライバをインストールする際に添付の CD-ROM や作成したプリンタドライバのフロッピーディスクが不要となります。

 代替ドライバをインストールできるサーバは、Windows NT4.0 のみです。

▼ 代替ドライバのインストール (Windows NT4.0 のみ)

代替ドライバのインストールは、次の手順で行います。

添付の CD-ROM を準備してください。

ここでは、Windows NT4.0 上の共有プリンタに、Windows 98/95 の代替ドライバをインストールするときの手順を説明します。プリンタドライバのバージョンアップにより新しい代替ドライバに置き換える場合も同様です。

- 1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタフォルダ〕を開く
- 3 代替ドライバをインストールするプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する



4 [代替ドライバ] リストからクライアントのOSを選択する

クリックした部分が反転表示されます。



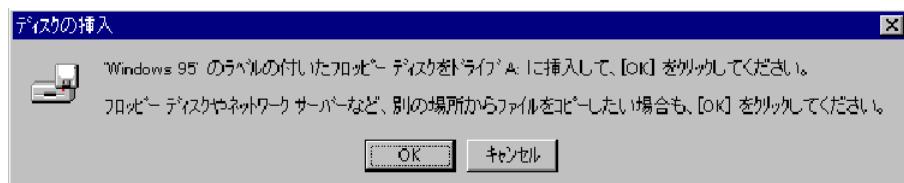
Windows 98 の代替ドライバをインストールするときも、[Windows 95] を選択します。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

5 [OK] をクリックする

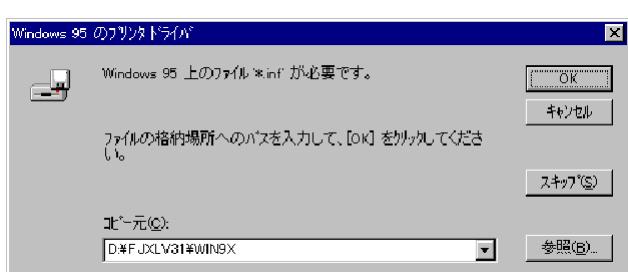
6 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクがある場合は、フロッピーディスクドライブにセットします。

セットしたら、[OK] をクリックします。



CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動したときは、[終了] を選択して画面を閉じてください。



7 コピー元：に「D:
¥FJXLV31¥WIN9X」と
入力する、または[参照]
をクリックして「D:
¥FJXLV31¥WIN9X」を
選択する(CD-ROM ドラ
イブがD:のとき)
入力が終わったら[OK]をク
リックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバ
のインストールは終了です。



フロッピーディスクを使用する場合は、コピー元：に「A:
¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:
のとき)

▼ ネットワークインストール

プリンタドライバのネットワークインストールは、次の手順で行います。



〔スタート〕から〔プログラム〕〔エクスプローラ〕の順に選択し、〔ネットワークコンピュータ〕からサーバに接続されたプリンタをダブルクリックしてインストールする方法もあります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。



ネットワークインストールを行う前に、サーバにクライアントのOSのプリンタドライバを代替インストールしてください。

■ Windows 98/95 のとき



ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98/95 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

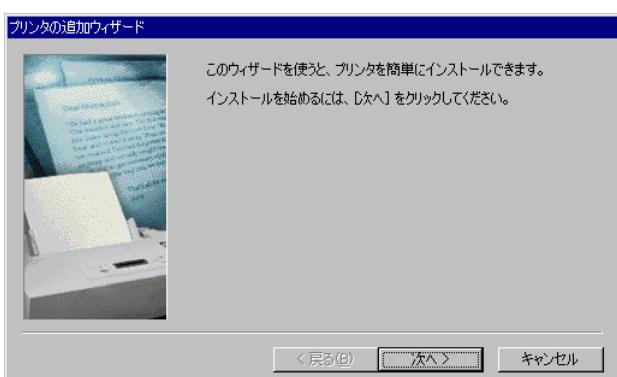


- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「WIN9X.TXT」をお読みください。
- ・Windows 3.1で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows 98/95にアップグレードしている場合は、Windows 98/95の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

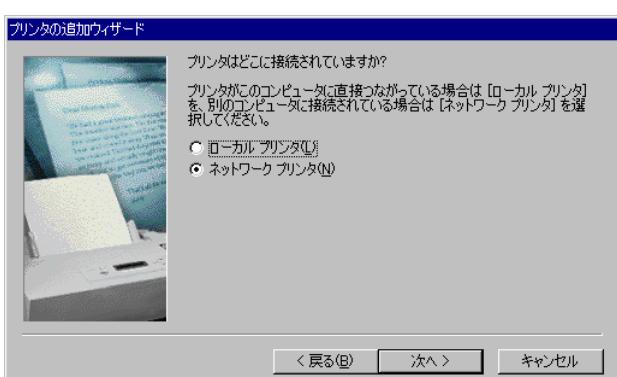
1 Windows 98/95を起動する



2 マイコンピュータの[プリンタ]をダブルクリックし、[プリンタの追加]をダブルクリックする



3 [次へ]をクリックする



4 ネットワークプリンタを選択して[次へ]をクリックする

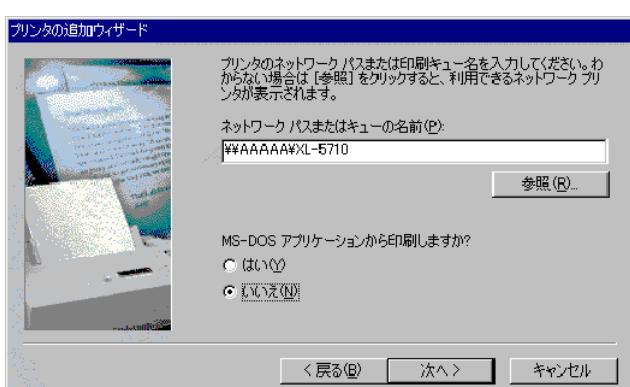
この画面はパソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

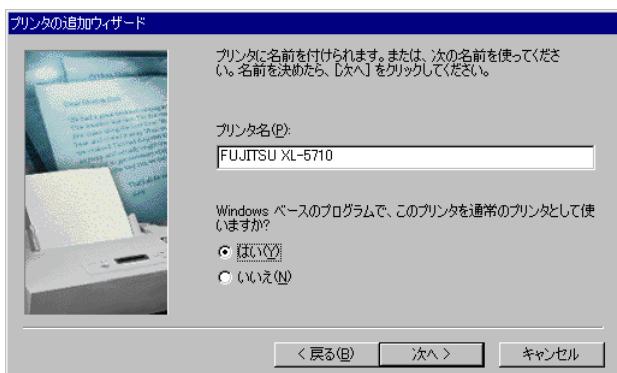
表示されないときは、[キャンセル]をクリックしてインストールを中断し、ネットワークの設定を確認してください。

5 [参照]をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力する

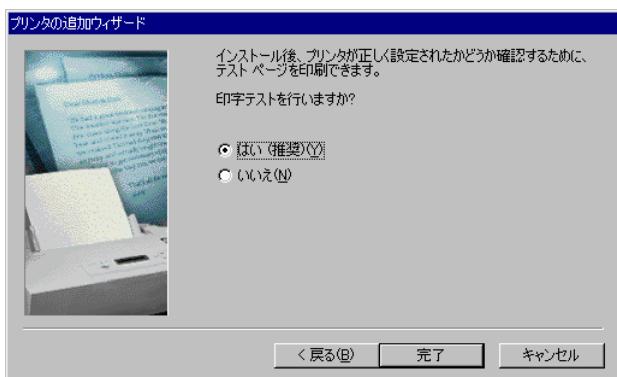
入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

入力が終わったら[次へ]をクリックします。

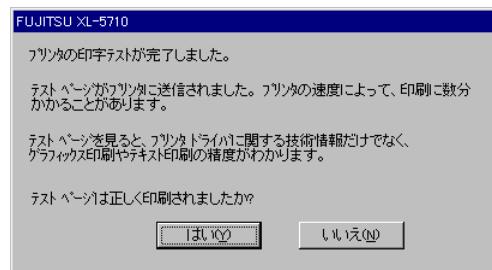




6 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



7 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする



「テストページを印刷しますか？」で「はい(推奨)」を選択した場合は、テストページが正しく印刷されたことを確認して〔はい〕をクリックします。テストページ印刷中は Printianavi のステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

Windows NT4.0 のとき



管理者権限でログオンしても、ネットワークインストールしたプリンタは同じパソコンにログオンした他のユーザからは使用できませんので、ユーザごとにインストールする必要があります。

- 1 Windows NT4.0 を起動する
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックする
- 3 〔プリンタ〕フォルダの 〔プリンタの追加〕 をダブルクリックする



- 4 〔ネットワークプリンタサーバー〕を選択して〔次へ〕をクリックする



- 5 〔共有プリンタ〕リストから接続する共有プリンタを選択する、または〔プリンタ〕にネットワークパスを入力する
入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



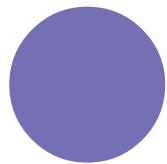
6 本プリンタを「通常使うプリンタ」に設定する場合は〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



7 〔完了〕をクリックする

第3章

プリンタドライバの設定



この章では、プリンタドライバ（Printia XL ドライバ）の設定項目および設定方法について説明します。

設定画面について 76

Windows 98/95 の設定画面 76

Windows NT4.0 の設定画面 80

Windows 3.1 の設定画面 87

設定の詳細 90

用紙の設定 90

N-up 印刷（Windows 98/95/NT4.0） 94

プリンタドライバの設定でできる印刷例

（Windows 98/95/NT4.0） 95

きれいに印刷する 99

高速に印刷する 103

両面印刷をする（両面印刷対応プリンタのみ） 105

Printianavi の設定（Windows 98/95/NT4.0） 107

プリンタドライバの情報を確認する 113

オプション機能を設定する 114

設定項目一覧 117

Windows 98/95 の設定項目一覧 117

Windows NT4.0 の設定項目一覧 123

Windows 3.1 の設定項目一覧 129

設定画面について

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

▼ Windows 98/95 の設定画面

Windows 98/95 でのプリンタドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。

プリンタのプロパティを表示するには、次の2つの方法があります。
表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定(プリンタドライバの設定を含む)を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

■ アプリケーションソフトからの設定画面 (プリンタ設定のプロパティ)



アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。

用紙サイズや解像度などを印刷時に設定できます。

▷ ダイアログの種類

- 〔用紙〕ダイアログ 用紙サイズや用紙方向、給紙口などを設定します。
- 〔レイアウト〕ダイアログ N-up 印刷に関する設定を行います。
- 〔両面印刷〕ダイアログ 両面印刷に関する設定を行います。
(両面印刷対応プリンタのみ)
- 〔グラフィックス〕ダイアログ 解像度やディザパターンなどを設定します。
- 〔印刷オプション〕ダイアログ その他、印刷に関する設定を行います。

▷ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

〔スタート〕からの設定画面（プリンタのプロパティ）



プリンタドライバやポートの選択、Printianavi 機能の設定が行えます。また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。

アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

▷ ダイアログの種類

〔全般〕(または〔情報〕) ダイアログ プリンタのコメントの入力やテストページの印刷などを行います。

〔詳細〕 ダイアログ ポートに関する設定やドライバの選択を行います。

〔共有〕 ダイアログ プリンタを他のパソコンと共有するかどうかを設定します。(ネットワークの設定でプリンタを共有できる設定にしていないときは、表示されません。)

〔用紙〕 ダイアログ 用紙サイズや用紙方向、給紙口などを設定します。

〔レイアウト〕 ダイアログ N-up 印刷に関する設定を行います。

〔グラフィックス〕 ダイアログ 解像度やディザパターンなどを設定します。

〔両面印刷〕ダイアログ 両面印刷に関する設定を行います。

（両面印刷対応プリンタのみ）

〔Printianavi〕ダイアログ Printianaviに関する設定を行います。

〔印刷オプション〕ダイアログ その他、印刷に関する設定を行います。

〔装置オプション〕ダイアログ プリンタに搭載されているメモリに関する設定を行います。

〔ドライバ情報〕ダイアログ ドライバに関する情報を表示します。

▷ 設定画面の表示と設定の変更

1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2 プリンタのプロパティを表示する

次の3つの方法があります。

- ・該当するプリンタのアイコンをクリックして反転させ、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択します。
- ・該当するプリンタのアイコン上で右クリックし、表示されるメニューから〔プロパティ〕を選択します。
- ・該当するプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリントスプーラを開き、〔プリンタ〕メニューから〔プロパティ〕を選択します。

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。



Windows NT4.0 の設定画面

Windows NT4.0 でのプリンタドライバの設定は、次の 4 つのプロパティで行います。

プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



- 一般ユーザは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
- また、サーバ共有のプリンタのすべての設定値をクライアントから変更するには、サーバとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

■ アプリケーションソフトからの設定画面 (プリンタ設定のプロパティ)



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

▷ ダイアログの種類

- 〔用紙〕ダイアログ 用紙サイズや用紙方向、給紙口などを設定します。
- 〔レイアウト〕ダイアログ N-up 印刷に関する設定を行います。
- 〔両面印刷〕ダイアログ 両面印刷に関する設定を行います。
(両面印刷対応プリンタのみ)
- 〔グラフィックス〕ダイアログ 解像度やハーフトーンカラーの調整などを設定します。
- 〔印刷オプション〕ダイアログ その他、印刷に関する設定を行います。

▷ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

〔スタート〕からの設定画面 (ドキュメントの既定値プロパティ)



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

▷ ダイアログの種類

- 〔用紙〕ダイアログ 用紙サイズや用紙方向、給紙口などを設定します。
- 〔レイアウト〕ダイアログ N-up 印刷に関する設定を行います。
- 〔両面印刷〕ダイアログ 両面印刷に関する設定を行います。
(両面印刷対応プリンタのみ)
- 〔グラフィックス〕ダイアログ ... 解像度やハーフトーンカラーの調整などを設定します。
- 〔印刷オプション〕ダイアログ ... その他、印刷に関する設定を行います。

▷ 設定画面の表示と設定の変更

1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する

2 ドキュメントの既定値プロパティを表示する

次の3つの方法があります。

- ・該当するプリンタのアイコンをクリックして反転させ、[ファイル] メニューから [ドキュメントの既定値] を選択します。
- ・該当するプリンタのアイコン上で右クリックし、表示されるメニューから [ドキュメントの既定値] を選択します。
- ・該当するプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリントスプーラを開き、[プリンタ] メニューから [ドキュメントの既定値] を選択します。

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

[OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

[標準に戻す] のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択、Printianavi 機能の設定が行えます。

▷ ダイアログの種類

- 〔全般〕ダイアログ プリンタのコメントの入力やドライバの選択、テストページの印刷などを行います。
- 〔ポート〕ダイアログ ポートに関する設定を行います。
- 〔スケジュール〕ダイアログ .. プリンタの利用時間やスプールについて設定します。
- 〔共有〕ダイアログ プリンタを他のパソコンと共有するかどうかを設定します。
- 〔セキュリティ〕ダイアログ .. プリンタのアクセス権などについて設定します。
- 〔装置オプション〕ダイアログ ハーフトーンの設定およびプリンタに搭載されているメモリに関する設定を行います。
- 〔Printianavi〕ダイアログ Printianavi に関する設定を行います。
- 〔ドライバ情報〕ダイアログ .. ドライバに関する情報を表示します。

▷ 設定画面の表示と設定の変更

1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する

2 プリンタのプロパティを表示する

次の3つの方法があります。

- ・該当するプリンタのアイコンをクリックして反転させ、[ファイル]メニューから [プロパティ] を選択します。
- ・該当するプリンタのアイコン上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。
- ・該当するプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリントスプーラを開き、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

[OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

[標準に戻す] のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ プリントサーバーのプロパティ



用紙サイズの定義やポートの設定、スプーラに関する情報を設定します。

▷ ダイアログの種類

- 〔用紙〕ダイアログ 用紙サイズを定義します。
- 〔ポート〕ダイアログ ポートに関する設定を行います。
- 〔詳細設定〕ダイアログ スプーラのイベントなどに関する設定を行います。

▷ 設定画面の表示と設定の変更

1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2 プリントサーバーのプロパティを表示する

次の2つの方法があります。

- ・〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択します。
- ・〔プリンタ〕フォルダの中のプリンタのアイコン以外の場所で右クリックし、表示されるメニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択します。

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

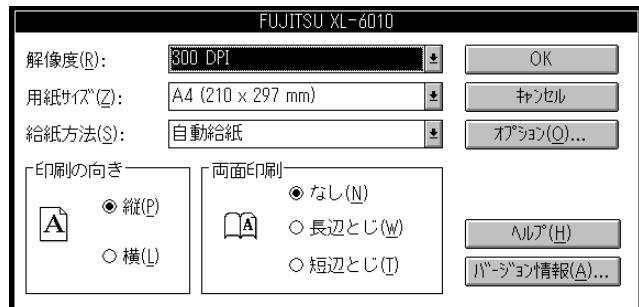
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

▼ Windows 3.1 の設定画面

Windows 3.1 での本プリンタドライバの設定は、次の 3 つのダイアログボックスで行います。

■ [FUJITSU XL-xxxx] ダイアログボックス



解像度や用紙に関する設定を行うダイアログボックスです。

▷ 設定画面の表示と設定の変更

1 [コントロールパネル] 中の [プリンタ] をダブルクリックするか、[設定] メニューの [プリンタ...] を選択する
〔プリンタの設定〕ダイアログボックスが表示されます。

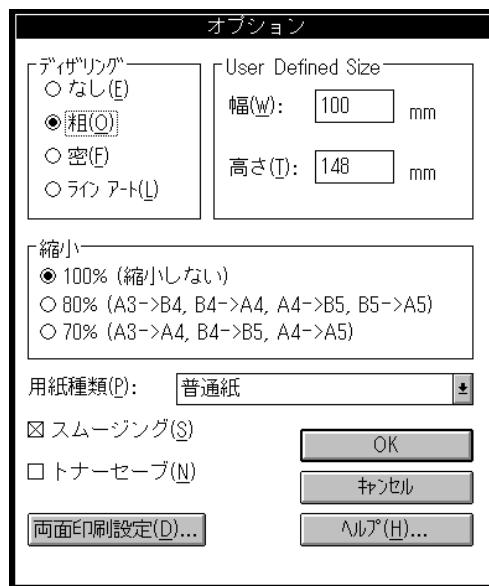
2 [プリンタの設定] ダイアログボックスで、〔組み込まれているプリンタ:〕から、本プリンタをクリックし、[設定...] をクリックする

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログボックスが表示されます。

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してダイアログを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでダイアログを終了します。

■ [オプション] ダイアログ



縮小印刷やトナーセーブなど、プリンタ固有の機能の設定を行います。

▷ 設定画面の表示と設定の変更

- 1 [FUJITSU XL-xxxx] プリンタのダイアログボックスで、[オプション] をクリックする
[オプション] ダイアログが表示されます。
[OK] をクリックすると、変更した設定を保存してダイアログを終了します。
[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでダイアログを終了します。

■ [両面印刷設定]ダイアログ (両面印刷対応プリンタのみ)



両面印刷に関する設定を行います。

▷ 設定画面の表示と設定の変更

1 [オプション]ダイアログボックスで、[両面印刷設定]をクリックする

[両面印刷設定]ダイアログが表示されます。

[OK]をクリックすると、変更した設定を保存してダイアログを終了します。

[キャンセル]をクリックすると、変更した設定を保存しないでダイアログを終了します。

設定の詳細

ここでは、プリンタドライバのおもな設定について機能および内容別に説明します。

▼ 用紙の設定

印刷する用紙のサイズや向き、拡大／縮小印刷は、次の画面で設定します。

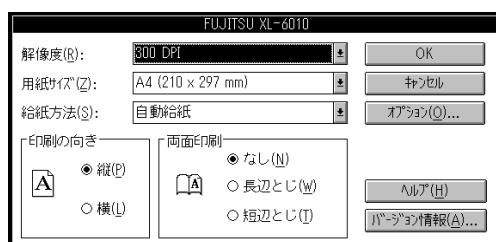
Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔用紙〕ダイアログ

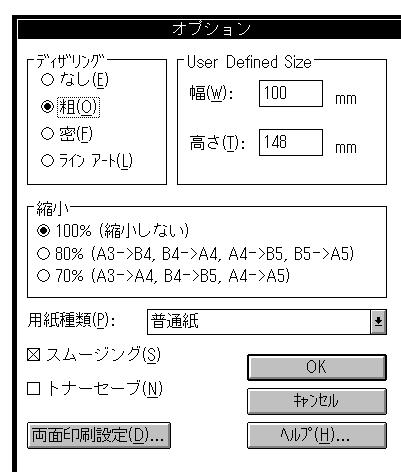


Windows 3.1

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



〔オプション〕ダイアログ



▷ 用紙サイズ

印刷する用紙サイズを指定します。



・不定形やはがきサイズの用紙に印刷するときは、[給紙方法] を「手差し」にし、「ユーザ定義サイズ」(Windows3.1 の場合は「User Defined Size」) または「はがき」を選択します。

・Windows 98/95/NT4.0 のとき

「ユーザ定義サイズ」を選択すると、用紙サイズを入力するダイアログボックスが表示されます。不定形用紙のサイズを入力して、[OK]をクリックしてください。このとき、[給紙方法] は「手差し」に、両面印刷(両面印刷対応プリンタの場合)は「なし」に限定されます。また、[出力用紙の選択] および [N-up 印刷] の設定は無効になります。

ただし、Windows NT4.0でユーザ定義サイズに定型サイズと同じサイズを指定したときは、その定型サイズと同様の設定が可能です。

「はがき」を選択すると、[給紙方法] は「手差し」に、[用紙種類] は「厚紙」に、[両面印刷](両面印刷対応プリンタの場合) は「なし」に限定されます。

・Windows 3.1 のとき

[給紙方法] の「手差し」を選択すると、「User Defined Size」または「はがき」が選択可能になります。「User Defined Size」を選択したときは、[オプション] をクリックして、[User Defined Size] で不定形用紙のサイズを入力し、[OK]をクリックしてください。(幅100 ~ 297mm、長さ 148 ~ 420mm の範囲で大きさを指定できます。) このとき、[両面印刷](両面印刷対応プリンタの場合) は「なし」に限定されます。

「はがき」を選択すると、[用紙種類] は「厚紙」に、[両面印刷](両面印刷対応プリンタの場合) は「なし」に限定されます。

・「出力用紙の選択」を「現在の用紙(100%)」以外に指定しているときや、[レイアウト] ダイアログで N-up 印刷を指定しているときは、プリンタドライバで拡大/縮小する前の用紙サイズを指定します。この場合、実際の出力用紙と異なることがあります。(Windows 98/95/NT4.0)

▶ 出力用紙の選択 (Windows 98/95/NT4.0)

出力する用紙を選択します。

「固定」を指定した場合、用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大 / 縮小率を自動的に設定します。この比率は、[イメージサイズの調整] で変更することができます。

▶ イメージサイズの調整 (Windows 98/95/NT4.0)

用紙に展開されたイメージの拡大 / 縮小率を、- 50 ~ + 50 % の範囲で設定します。この値を変更しても出力する用紙に影響はありません。調整値を + 方向に変更した場合、出力する用紙の印刷可能領域（用紙の内側 5mm の範囲）をはみだすことがあります。印刷可能領域からはみだしたイメージは印刷されないのでご注意ください。

▶ 縮小 (Windows 3.1)

縮小印刷について指定します。



縮小印刷は、次の用紙サイズのときに行われます。

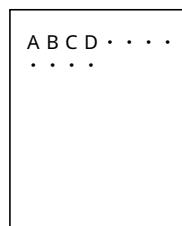
80 %縮小 A3、B4、A4 または B5 用紙

70 %縮小 A3、B4 または A4 用紙

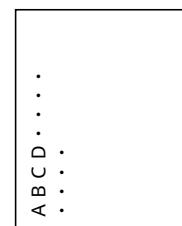
上記以外の用紙（A5、はがき、リーガル、レター、不定形用紙（User Defined Size）および 70 %縮小指定時の B5 用紙）を指定したときは縮小印刷を行いません。用紙サイズを確認の上、印刷してください。

▶ 用紙方向

用紙の長い方の辺に対して、印刷する向きを指定します。



用紙方向 縦
(ポートレイト)



用紙方向 横
(ランドスケープ)

▷ 用紙種類（用紙種類指定対応プリンタのみ）

用紙の種類を指定します。

普通紙 厚みが、60 ~ 90g/ m²の範囲内の用紙をお使いください。

給紙カセットおよび給紙トレイに用紙をセットできます。

厚紙 厚みが、90 ~ 135g/ m²の範囲内の用紙をお使いください。

印刷面を上にして、給紙トレイに用紙をセットしてください。

OHP フィルム ページプリンタ用のOHPフィルムをお使いください。

印刷面を上にして、給紙トレイに用紙をセットしてください。

Windows98/95/NT4.0では、「厚紙」「OHP フィルム」を指定すると、〔給紙方法〕は「手差し」に、〔両面印刷〕(両面印刷対応プリンタの場合)は「なし」に限定されます。

Windows3.1では、〔給紙方法〕が「手差し」に設定されたときのみ「厚紙」「OHP フィルム」を指定できます。また、「厚紙」「OHP フィルム」のときは〔両面印刷〕(両面印刷対応プリンタの場合)は「なし」に限定されます。

▷ 給紙方法

給紙方法を指定します。

▷ お願い

- ・はがきに印刷するときは、「手差し」を選択して、給紙トレイから給紙してください。
- ・不定形の用紙に印刷するときは、「手差し」を選択してから「ユーザ定義サイズ」(Windows 3.1の場合は「User Defined Size」)で用紙サイズを指定し、給紙トレイから給紙してください。

▷ 部数（Windows 98/95/NT4.0）

印刷する部数を、1 ~ 999 部の範囲で指定します。



用紙の設定とN-up印刷の組み合わせで可能な設定例は、「[プリンタドライバの設定でできる印刷例（95ページ）](#)」を参照してください。（Windows 98/95/NT4.0）



N-up 印刷 (Windows 98/95/NT4.0)

N-up 印刷は、1枚の用紙に複数のページを配置して印刷する機能です。
N-up 印刷を行うには、次の設定を行います。

Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔レイアウト〕ダイアログ



▷ N-up 印刷

N-up 印刷は、1枚の用紙に複数のページを配置して印刷する機能です。
N-up 印刷を行うときは、1up ~ 16up の中から1枚の用紙に印刷する
ページ数を選択します。

▷ ページ配置

N-up 印刷を行うときに、1枚の用紙上のページの配置のしかたを指定
します。

▷ レイアウト枠を付ける

通常の1ページに相当する部分に枠を付けるかどうかを設定します。
レイアウト枠を付ける場合は、チェックします。

● **ガイド**

- ・アプリケーションによっては、「N-up 印刷」や「出力用紙の選択」を使用して印刷結果を拡大／縮小した場合、まれに期待どおりに印刷されないことがあります。このようなときには、「イメージサイズの調整」で調整してください。
- ・解像度の違いによってN-up印刷で印刷されるページの位置が異なる（ページ間の余白が異なる）場合があります。
- ・N-up印刷と用紙の設定の組み合わせで可能な設定例は、次の「プリンタドライバの設定でできる印刷例」を参照してください。

▼ プリンタドライバの設定でできる印刷例 (Windows 98/95/NT4.0)

ここでは、用紙サイズ選択、拡大／縮小、N-up（複数ページを1枚の用紙に印刷する）の機能を、アプリケーションソフトの機能を使用せずに実現する例を示します。

● **ガイド**

これらの機能をサポートするアプリケーションでは、アプリケーション側の設定が優先される場合や、組み合わされる場合があります。

■ データにあわせた用紙サイズで印刷する（標準の印刷）

例

- ・A4サイズに収まるように作成したデータは、A4サイズの用紙に印刷
- ・B4サイズに収まるように作成したデータは、B4サイズの用紙に印刷

このようなときは、〔用紙〕ダイアログで次の設定をします。

用紙サイズ 印刷する用紙サイズを選択します。

出力用紙の選択 「現在の用紙（100%）」を選択します。

■ 印刷する用紙サイズを固定する

例

- ・A4 サイズに収まるように作成したデータは、A4 サイズの用紙に収まるように印刷
- ・B4 サイズに収まるように作成したデータは、縮小してA4 サイズの用紙に収まるように印刷
- ・A5 サイズに収まるように作成したデータは、拡大してA4 サイズの用紙に収まるように印刷

このようなときは、〔用紙〕ダイアログで次の設定をします。

用紙サイズ 拡大 / 縮小前の用紙サイズを選択します。

出力用紙の選択 「A4 固定」を選択します。

イメージサイズの調整 拡大 / 縮小した印刷結果がうまく収まらないときに調整します。

■ データを決まった拡大率または縮小率で印刷する

例 1

- ・A4 サイズに収まるように作成したデータを、125% 拡大してB4 サイズの用紙に印刷
- ・B4 サイズに収まるように作成したデータを、125% 拡大して A3 サイズの用紙に収まるように印刷

このようなときは、〔用紙〕ダイアログで次の設定をします。

用紙サイズ 拡大前の用紙サイズを選択します。

出力用紙の選択 「自動 125% 拡大」を選択します。

イメージサイズの調整 拡大 / 縮小した印刷結果がうまく収まらないときに調整します。

例2

- ・A4 サイズに収まるように作成したデータを、80% 縮小して B5 サイズの用紙に印刷
- ・B4 サイズに収まるように作成したデータを、80% 縮小して A4 サイズの用紙に収まるように印刷

このようなときは、[用紙] ダイアログで次の設定をします。

用紙サイズ 縮小前の用紙サイズを選択します。

出力用紙の選択 「自動 80%縮小」を選択します。

イメージサイズの調整 拡大または縮小した印刷結果がうまく収まっているときに調整してください。



[用紙] ダイアログの左上に、用紙サイズと印刷用紙の関係が表示されます。(「A4 B4」と表示されているときは、A4 サイズのデータを B4 に拡大し、B4 サイズの用紙に印刷します。)

印刷結果の拡大 / 縮小した結果が、印刷可能な用紙サイズにならないときは、自動的に印刷可能な用紙サイズの範囲内に設定します。この場合、拡大 / 縮小率も変更されます。

複数ページのデータを 1 ページ内に印刷する

例1

A4 サイズに収まるように作成した 24 ページのデータを、A4 サイズの用紙 1 枚に 4 ページ分ずつ、合計 6 枚に収まるように縮小し、左上 右上 左下 右下 の配置で印刷

このようなときは、[レイアウト] ダイアログで次の設定をします。

N-up 印刷 「4 up」を選択します。

ページ配置 「右下」を選択します。

レイアウト枠をつける 通常の 1 ページ分に相当する部分に枠をつける場合は、チェックします。

また、[用紙] ダイアログで、次の設定を行います。

用紙サイズ A4 サイズを選択します。

例2

A5 サイズに収まるように作成した 6 ページのデータを、A4 サイズの用紙 1 枚に 2 ページ分ずつ、合計 3 枚に収まるようにし、右 左の配置で印刷

このようなときは、〔レイアウト〕ダイアログで次の設定をします。

N-up 印刷 「2 up」を選択します。

ページ配置 「左下」を選択します。

レイアウト枠をつける 通常の 1 ページ分に相当する部分に枠をつける場合は、チェックします。

また、〔用紙〕ダイアログで、次の設定を行います。

用紙サイズ A5 サイズを選択します。

出力用紙の選択 「A4 固定」を選択します。

イメージサイズの調整 印刷結果がうまく収まっていないときに調整してください。

▼ きれいに印刷する

文字やグラフィックをきれいに印刷するための設定について説明します。

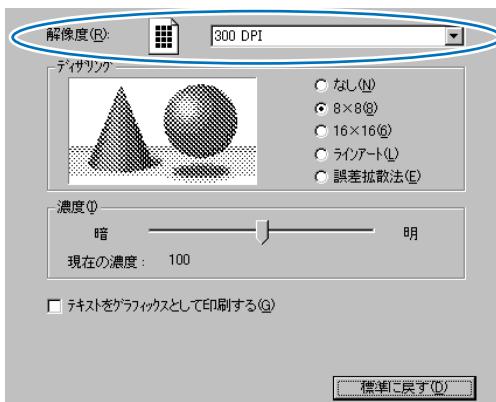
解像度

グラフィックは解像度を上げると鮮明に印刷できます。

解像度は、次の画面で設定します。

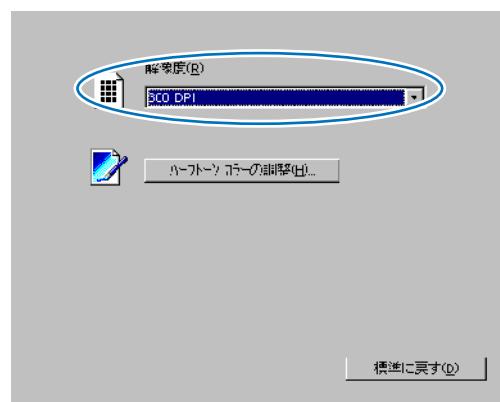
Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



いずれの画面でも、プリンタの解像度を、1インチあたりのドット数で指定します。

値の大きい方が細かいドットで印刷できますが、印刷に時間がかかることがあります。

ガイド

解像度が600dpiの場合、印刷する用紙サイズや方法によってはプリンタRAMモジュールの増設が必要ですのでご注意ください。

	XL-5710/5310	XL-6010
プリンタRAMモジュールの増設が必要な場合	A3、B4、リーガル、ユーザ定義(不定形)用紙に600dpiで印刷するとき	A3、B4、リーガル用紙に600dpiで両面印刷するとき
増設なしに印刷を行ったときの動作と対処(Printianavi有効時)	パソコンに「メモリ不足」のエラーメッセージが表示され、印刷が打ち切れます。 エラーメッセージを確認後、[OK]をクリックしてください。	自動的に片面印刷で続行します。
増設なしに印刷を行ったときの動作と対処(Printianavi無効時)	プリンタの液晶画面にRAM不足のメッセージが表示されます。 プリンタのリセットスイッチを2回押してプリンタを初期化した後、オンラインにしてください。	プリンタの液晶画面にRAM不足のメッセージが表示されます。 プリンタの何かのスイッチを押すと片面印刷で印刷を続行します。 また、プリンタのセットアップモードの環境設定で、「メモリ不足解除」を「スル」に設定している場合は3秒経過すると自動的に片面印刷で印刷を続行します。
再度印刷するときは	解像度の設定を300dpiに変更するか、A4サイズの用紙に収まるように縮小設定にして印刷し直してください。	

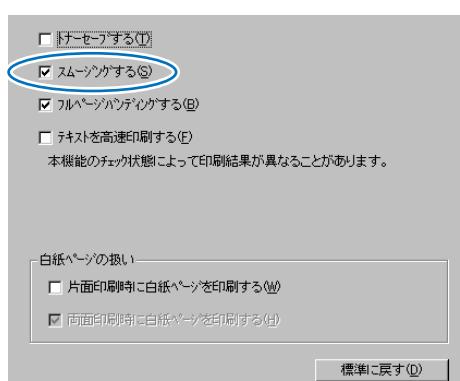
スムージング

文字や図形のギザギザ(ジャギー)をなめらかに印刷するかどうかを設定できます。

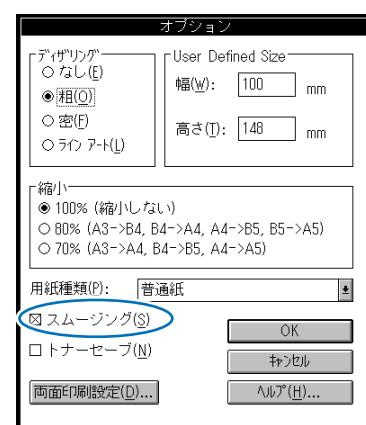
スムージングは、次の画面で設定します。

Windows 98/95/NT4.0のとき Windows 3.1のとき

[印刷オプション] ダイアログ



[オプション] ダイアログ



スムージングするときは、チェックします。



600dpiで写真などをグラフィック印刷する場合、スムージングをしない設定の方がきれいな印刷結果を得られる場合があります。

■ ディザリング、濃度、ハーフトーンカラー

以下の設定で、必要に応じてカラーのデータをモノクロで印刷したときの階調や濃度の調整を行うことができます。(通常は変更する必要はありません。)

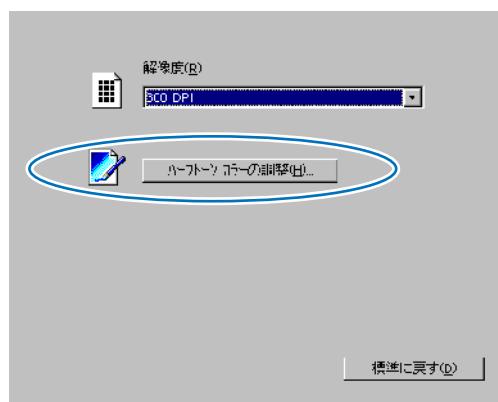
Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



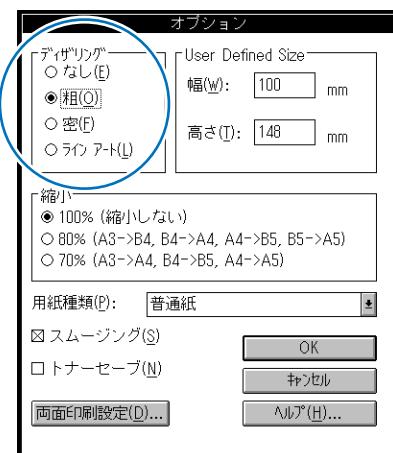
Windows NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔オプション〕ダイアログ



▶ **ディザリング (Windows 98/95/3.1)**

グラフィックスを印刷するときに、カラーの部分をモノクロのディザパートーンに置き換えて階調をつけます。

▶ **濃度 (Windows 98/95)**

グラフィックスを印刷する濃度を指定します。

▶ **ハーフトーンカラーの調整 (Windows NT4.0)**

ハーフトーンの階調を設定します。



Windows NT4.0 のとき、プリンタが使用するハーフトーンの選択は、[装置オプション] ダイアログで行います。

▼ 高速に印刷する

印刷を速くしたい場合は、次の設定を行います。

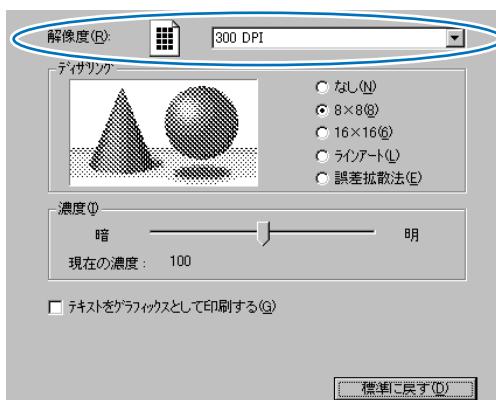
解像度

解像度を下げるとき、印刷が速くなります。

解像度は、次の画面で設定します。

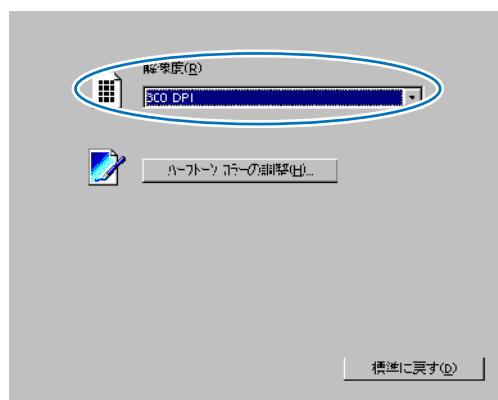
Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



プリンタの解像度を、1インチあたりのドット数で指定します。

値が小さい方が高速に印刷できますが、写真などのデータはドットが粗くなります。

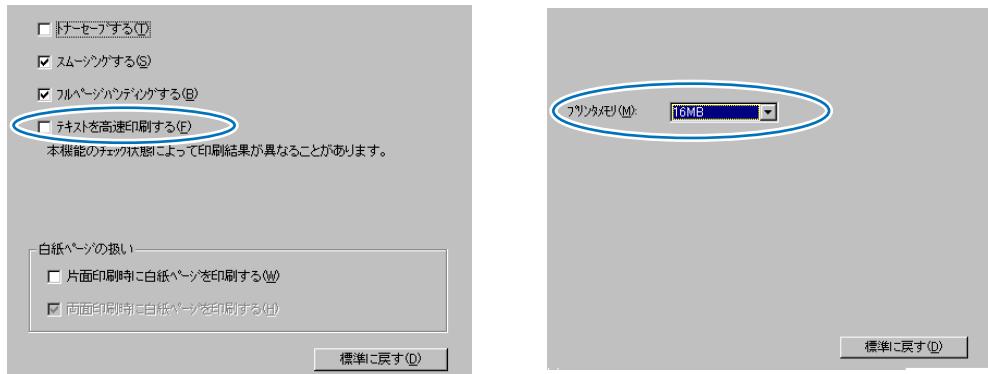
■ テキストを高速印刷する / プリンタメモリ (Windows 98/95/NT4.0)

Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔印刷オプション〕ダイアログ

〔装置オプション〕ダイアログ

(画面の例は Windows 98/95 の場合)



文書中に使用されている文字をプリンタに登録することによって、文字データを高速印字します。

テキストを高速印刷するときは、〔装置オプション〕ダイアログでプリンタメモリの設定を行ってから、〔印刷オプション〕ダイアログで「テキストを高速印刷する」をチェックします。



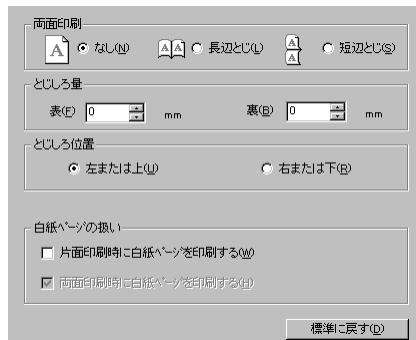
- ・XL-5710/5310で「テキストを高速印刷する」機能を使用するには、プリンタメモリが16MB以上必要です。プリンタメモリ（プリンタRAMモジュール）を増設し、〔装置オプション〕ダイアログでプリンタメモリの設定を行ってください。
- ・「テキストを高速印刷する」機能は、フルページバンディングのときのみ有効です。「フルページバンディングする」をチェックしてから「テキストを高速印刷する」をチェックしてください。
- ・「テキストを高速印刷する」を設定したときに特に効果があるのは、同一文字が何度も使用されていて、文字以外のデータが少ないデータです。
- 印刷するデータによっては、期待された効果がでないことがや、グラフィックスと文字が重なっている部分の印刷結果が異なることがあります。このようなときは、チェックをはずして使用してください。
- ・「テキストを高速印刷する」をチェックすると、〔グラフィックス〕ダイアログの「テキストをグラフィックスとして印刷する」設定は無効になります。(Windows 98/95 のみ)

▼ 両面印刷をする（両面印刷対応プリンタのみ）

両面印刷対応プリンタで両面印刷を行うには、次の設定を行います。

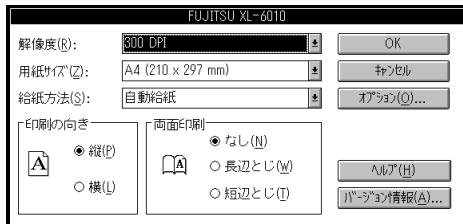
Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔両面印刷〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



〔両面印刷設定〕ダイアログ



▷ 両面印刷

片面印刷か、両面印刷かを設定します。また、両面印刷を長い辺でとじるか短い辺でとじるかを設定します。

なし 片面印刷をします。

長辺とじ 用紙の長い辺でとじるように両面印刷します。

短辺とじ 用紙の短い辺でとじるように両面印刷します。

 ガイド

- ・[用紙サイズ]で「ユーザ定義サイズ」(Windows3.1の場合は「User Defined Size」)または「はがき」を選択しているときは、両面印刷は行えません。[用紙サイズ]を「ユーザ定義サイズ」および「はがき」以外に設定してから両面印刷の設定をしてください。
ただし、Windows NT4.0で「ユーザ定義サイズ」に「はがき」以外の定型サイズと同じサイズを指定したときは、両面印刷の設定が可能です。
- ・XL-6010でA3、B4、リーガルの用紙に600dpiで両面印刷を行うには、プリンタRAMモジュールの増設が必要です。詳細は、「きれいに印刷する」のガイド(100ページ)を参照してください。

▶ とじしろ量

両面印刷時のとじしろ量を、0～30mmの範囲で、用紙の裏と表を別々に設定します。

▶ とじしろ位置

両面印刷時のとじしろ位置を設定します。

▶ 白紙ページの扱い(Windows 98/95/NT4.0のみ)

印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷(出力)するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。

片面、両面それぞれの場合について設定できます。

 ガイド

- ・[レイアウト]ダイアログで「レイアウト枠を付ける」をチェックした場合は、この設定は無効です。
- ・[印刷オプション]ダイアログでも設定できます。

▶ 白紙ページ印刷(Windows 3.1のみ)

両面印刷時に印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷(出力)するかどうかを設定します。

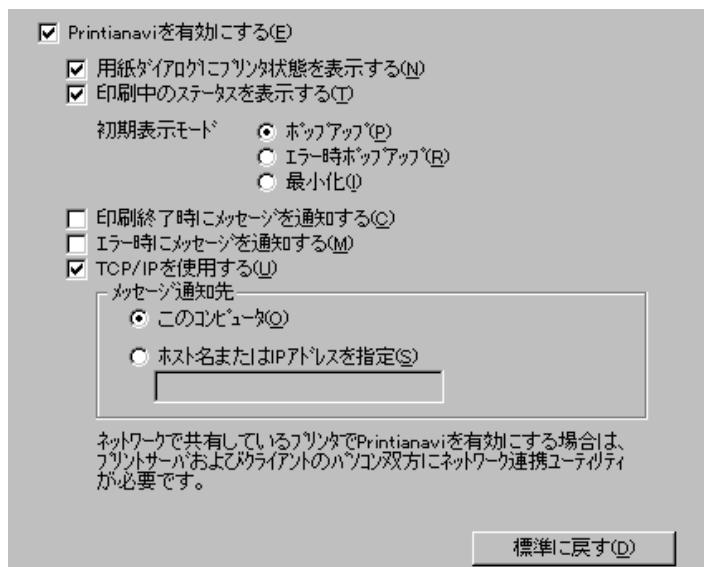
白紙のページを印刷するときは、チェックします。

▼ Printianavi の設定 (Windows 98/95/NT4.0)

印刷中のプリンタの状態を見たり、エラー時のメッセージの表示方法などを設定したりするには、Printianavi の設定を行います。

Windows 98/95/NT4.0

〔Printianavi〕ダイアログ



▶ Printianavi を有効にする

Printianaviを有効にするかどうかを設定します。Printianaviを有効にするときは、チェックします。

▶ 用紙ダイアログにプリンタ状態を表示する

〔用紙〕ダイアログにプリンタの状態と〔ステータス表示〕を表示するかどうかを設定します。

〔用紙〕ダイアログにプリンタ状態を表示するときは、チェックします。



プリントサーバとプリンタが WAN 経由で接続されているときにクライアントで〔用紙〕ダイアログを開くと、サーバとプリンタ間で通信するために、課金される場合があります。その場合は、ここのチェックをはずしてください。

▷ 印刷中のステータスを表示する

印刷中のステータスを表示するかどうかを指定します。印刷中のステータスを表示するときはチェックし、表示方法を選択します。表示されるアイコンやメッセージの詳細は、[付録の「メッセージ一覧」](#)を参照してください。

ステータスの表示方法には、次の2つがあります。

ポップアップ表示



表示をやめるときは、[OK]をクリックします。

印刷を中断するときは、[印刷中止]をクリックします。

また、最小化ボタン(-)をクリックすると、アイコン表示になります。

アイコン表示



プリンタのアイコンが表示されているときにマウスカーソルをアイコン上に移動すると、簡単な状態情報を表示します。

表示中にアイコンをダブルクリックすると、ポップアップ表示になります。

また、アイコンを右クリックし、表示されるメニューを選ぶと、次の操作ができます。

元のサイズに戻す ダイアログ表示になります。

印刷中止 印刷を中止します。

ステータス表示の終了 表示を終了します。

▷ 初期表示モード

ポップアップ表示とアイコン表示の切り替え方を設定します。

ポップアップ 印刷中のステータスを、常にポップアップ表示します。

エラー時ポップアップ 印刷中のステータスを、通常はタスクトレイにアイコン表示し、エラー発生時のみポップアップ表示します。

最小化 印刷中のステータスを、常にタスクトレイにアイコン表示します。

▷ 印刷終了のメッセージ通知

印刷終了のメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックします。

印刷終了のメッセージ例

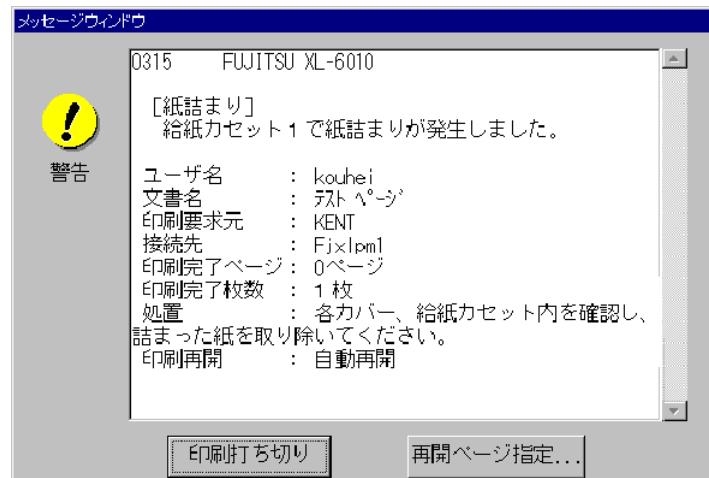


表示を終了するには、[OK] をクリックします。

▶ エラー時のメッセージ通知

印刷時にエラーが発生した場合にステータス表示とは別にエラーメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックします。

エラー時のメッセージ通知例



印刷を中断するときは、[印刷打ち切り] をクリックします。
[再開ページ指定] をクリックすると、エラー解除後に何ページ目から印刷し直すかを指定することができます。（再開ページ指定が可能なエラーの場合のみ表示されます。）



エラー時のメッセージ通知には、「警告」（リカバリ可能なエラー）と「停止」（リカバリ不可能なエラー）の2種類があります。これらはメッセージウィンドウの左側にアイコンと文字で表示されます。また、次のエラーは〔エラー時のメッセージ通知〕の設定に関係なくエラーメッセージを通知します。

「停止」エラー：必ず通知します。

「警告」エラー：Printianavi ネットワーク連携ユーティリティでサーバ共有のプリンタに対して Printianavi機能を使用している場合は通知します。

▷ TCP/IP を使用する

通信(メッセージの通知)にTCP/IPを使用するかどうかを指定します。LAN (TCP/IP) で接続されたプリンタ、またはサーバの共有プリンタで印刷するときはチェックします。

チェックすると、Printianaviが通知するメッセージをどのパソコンで表示するかを指定することができます。

通常は、[このコンピュータ]を選択します。現在設定操作をしているパソコン以外に表示させたい場合は、[ホスト名またはIPアドレスを指定]に、表示先のホスト名またはIPアドレスを指定します。

▷ ステータス表示

Printianaviが有効で、双方向通信が可能な場合は、[用紙]ダイアログの左下にプリンタのピットマップが表示されます。さらに、[ステータス表示]をクリックすると、プリンタの状態を示すステータスウィンドウが表示されます。この表示は印刷中だけでなく、いつでも見ることができます。

Windows 98/95/NT4.0

[用紙] ダイアログ



- ・サーバ共有のプリンタのステータスを表示するには、Printianavi連携ユーティリティをクライアントとサーバの両方にインストールしてください。
- ・[用紙] ダイアログのプリンタのピットマップおよび[ステータス表示]は、機種によっては表示されません。

ステータスウィンドウで表示される内容は、次のとおりです。



プリンタ名 プリンタにつけた名前 ([全般] または [情報] ダイアログに表示される名前) を表示します。

プリンタモデル名 /

ファームウェアバージョン プリンタ本体のモデル名とファームウェアのバージョンを表示します。

プリンタメモリ プリンタに搭載されているメモリ容量を表示します。

プリンタ情報ビットマップ プリンタモデルや給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

オプション情報 プリンタに装着されているオプションの情報を表示します。

ステータスアイコン プリンタの状態をアイコンで表示します。

プリンタ状態 プリンタの状態を文字で表示します。

エラー詳細 プリンタ状態の詳細やトナーの残りが少ないなどの警告、エラーの対処方法を表示します。

給紙情報 / 印刷枚数 給紙カセット情報、総印刷枚数、および電源投入後の印刷枚数を表示します。

ステータスウィンドウを閉じるには、[OK] をクリックします。

表示されるメッセージやアイコンの詳細については、[付録の「メッセージ一覧」](#) を参照してください。



ステータスウィンドウで「給紙トレイ」と表示される給紙口は、[用紙] ダイアログの「給紙方法」の「手差し」と対応しています。

▼ プリンタドライバの情報を確認する

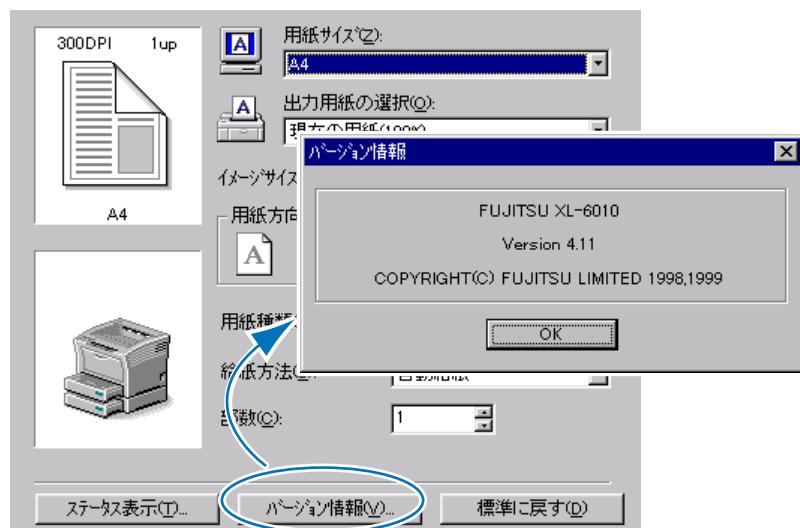
プリンタドライバの情報を確認するには、次の2つの方法があります。

▷ バージョン情報

プリンタドライバの情報は、次の画面で〔バージョン情報〕をクリックすると確認できます。

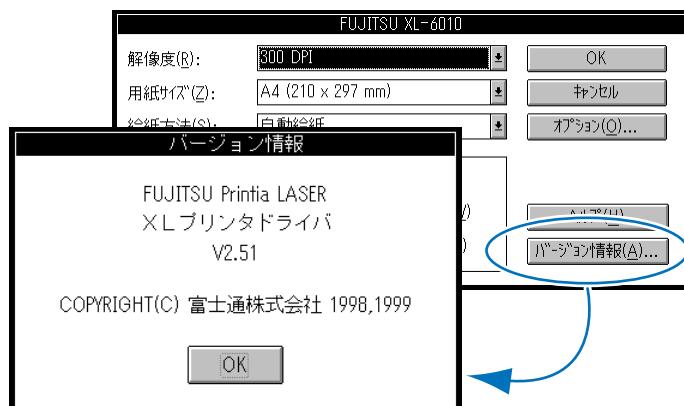
Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔用紙〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



▶ [ドライバ情報] ダイアログ (Windows 98/95/NT4.0)



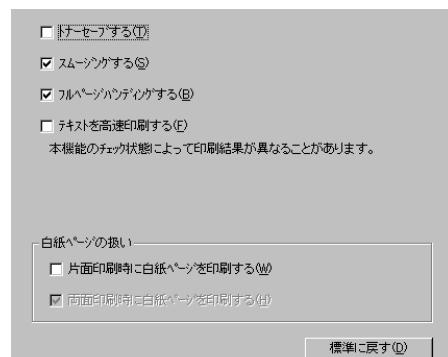
プリンタドライバに関する情報が表示されます。

▼ オプション機能を設定する

ここでは、これまでに説明した機能以外の設定方法を説明します。

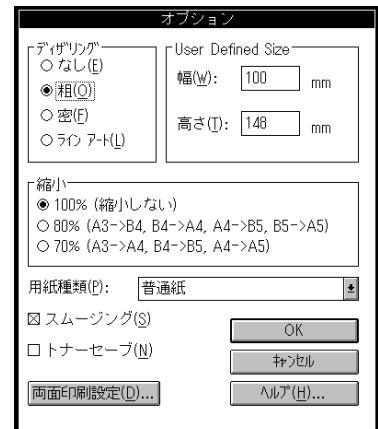
Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔印刷オプション〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔オプション〕ダイアログ



▶ トナーセーブする (トナーセーブ)

印刷時のトナーの量を少なくし、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

トナーセーブするときは、チェックします。

▷ フルページパンディングする (Windows 98/95/NT4.0)

用紙サイズ1枚分のイメージデータを展開するメモリを、パソコン側に確保して印刷するかどうかを設定します。

フルページパンディングするときは、チェックします。



- ・一部のアプリケーションで正しく印刷できない場合にチェックすると、正しく印刷される場合があります。
- ・「フルページパンディングする」のチェックをはずすと、「テキストを高速印刷する」機能は無効になります。
- ・メモリ搭載量が少ないパソコンをご使用の場合、「フルページパンディングする」がチェックされていると、印刷開始までに時間がかかる場合があります。

▷ 白紙ページの扱い (Windows 98/95/NT4.0)

印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷（出力）するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。

両面印刷対応プリンタの場合、片面、両面のそれぞれの場合について設定できます。



- ・[レイアウト]ダイアログで「レイアウト枠を付ける」をチェックした場合は、この設定は無効です。
- ・両面印刷対応プリンタの場合、[両面印刷]ダイアログでも設定できます。

▶ テキストをグラフィックスとして印刷する(Windows 98/95)
[グラフィックス] ダイアログ



文字データをグラフィックスとして扱います。
テキストをグラフィックスとして印刷するときは、チェックします。



[印刷オプション] ダイアログで「テキストを高速印刷する」
をチェックした場合は、この設定は無効です。

設定項目一覧



Windows 98/95 の設定項目一覧

設定項目	設定内容	説明	備考
全般	コメント	プリンタに関するコメントを入力する	
(情報)(*1)	区切りページ なし	印刷する文書を区切るページを挿入しない	
	簡易ページ	文字だけの区切りページを挿入する	
	標準ページ	グラフィックスの入っている区切りページを挿入する	
	印字テスト	テストページを印刷する	
詳細(*1)	印刷先のポート	プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスを表示する	「 印刷先ポートの追加と変更 」参照
	ポートの追加	ポートを追加する	
	ポートの削除	ポートを削除する(*3)	
	印刷に使用するドライバ	プリンタの種類を表示する	
	ドライバの追加	プリンタドライバを更新または変更する	
	プリンタポートの割り当て	ネットワークドライブにポートを割り当てる	
	プリンタポートの解除	ネットワークドライブに割り当てられているポートを解除する	
	タイムアウト設定 未選択時	プリンタがオンラインになるまで待つ時間を秒単位で指定する	
	送信の再試行時	プリンタで印刷の準備ができるまで待つ時間を秒単位で指定する	
	(*4)		

*1 : アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*2 : 区切りページを使用できるのは、自分のパソコンにプリンタが直接接続されている場合だけです。

また、B5よりも小さい用紙を使用すると、周囲の一部が欠けて印刷されます。

*3 : 設定中のプリンタドライバや他のプリンタで使用しているポートは削除できません。

なお、ポート削除後に同じ名前のポートを作成する場合は、パソコンを再起動してください。

*4 : 大きいサイズのデータを印刷するときに問題が起こる場合は、この値を大きくしてください。

設定項目	設定内容	説明	備考
詳細(*1)	スプールの設定	アプリケーションからプリンタに印刷データを送る方法を指定する	
	印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う	ドキュメントの最終ページがスプールされるまで待ってから印刷を開始するか、ドキュメントの先頭ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始するかを選択する	
	プリンタに直接印刷データを送る	ドキュメントをスプールせずに直接プリンタにデータを送る	
	このプリンタの機能をサポートする	パソコンとプリンタの間で情報をやりとりで双方向通信できるようにする(*5)	
	このプリンタの機能をサポートしない	パソコンとプリンタの間で情報をやりとりしない	
ポートの設定		プリンタポートの設定を変更する	
共有(*1) (*6)	共有しない 共有する	プリンタを共有しない プリンタを共有するときの名前を指定する	「プリンタを共有する」参照
	コメント パスワード	プリンタに関するコメントを入力する プリンタを共有するときのパスワードを指定する	

*1 : アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*5 : Printianaviを使用するときは、双方向通信機能をサポートする設定にしてください。

*6 : ネットワークの設定でプリンタを共有にしたときにのみ設定できます。

設定項目	設定内容	説明	備考	
用紙 (*1)	用紙サイズ	A3(297 x 420mm) A4(210 x 297mm) A5(148 x 210mm) B4(257 x 364mm) B5(182 x 257mm) Letter(8.5 x 11インチ) Legal(8.5 x 14インチ) はがき(100 x 148mm) ユーザ定義サイズ	A3 サイズの用紙に印刷する A4 サイズの用紙に印刷する A5 サイズの用紙に印刷する B4 サイズの用紙に印刷する B5 サイズの用紙に印刷する レター サイズの用紙に印刷する リーガル サイズの用紙に印刷する はがきに印刷する 不定形の用紙に印刷する 幅 : 100 ~ 297mm 長さ : 148 ~ 420mm	「用紙の設定」参照
出力用紙の選択 (*7)	A3 固定	用紙サイズの指定に関わらず A3 用紙に印刷する		
	A4 固定	用紙サイズの指定に関わらず A4 用紙に印刷する		
	A5 固定	用紙サイズの指定に関わらず A5 用紙に印刷する		
	B4 固定	用紙サイズの指定に関わらず B4 用紙に印刷する		
	B5 固定	用紙サイズの指定に関わらず B5 用紙に印刷する		
	Letter 固定	用紙サイズの指定に関わらずレター用紙に印刷する		
	Legal 固定	用紙サイズの指定に関わらずリーガル用紙に印刷する		
	自動 145% 拡大	145% 拡大して印刷する (A5 A4、B5 B4、A4 A3、 B4 A3、Legal A3、Letter A3)		
	自動 125% 拡大	125% 拡大して印刷する (A5 B5、B5 A4、A4 B4、 B4 A3、Legal A3、Letter B4)		
	現在の用紙(100%)	拡大・縮小せず、用紙サイズで指定した用紙に印刷する		
	自動 94% 縮小	94% 縮小して印刷する (Letter A4、A4 Letter)		
	自動 80% 縮小	80% 縮小して印刷する (A3 B4、B4 A4、A4 B5、 B5 A5、Legal A4、Letter B5)		
	自動 70% 縮小	70% 縮小して印刷する (A3 A4、B4 B5、A4 A5、 Legal B5、Letter A5)		
イメージサイズの調整	- 50% ~ + 50%	イメージの拡大・縮小率を % で設定する		
用紙方向	縦	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する(ポートレイト)		
	横	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する(ランドスケープ)		

*1 : アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*7 : 用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」のとき、本設定は無効です。

設定項目	設定内容	説明	備考
用紙 (*1)	用紙種類	普通紙 普通紙に印刷する	「用紙の設定」参照
	(*10) 厚紙	厚紙に印刷する	
	OHP フィルム	OHP フィルムに印刷する	
給紙方法	自動給紙	指定の用紙サイズと一致した用紙が入っている給紙口を自動的に選択して印刷する	
(*11)	手差し	給紙トレイから給紙する	
	給紙カセット 1	1段目の給紙カセットから給紙する	
	給紙カセット 2	2段目の給紙カセットから給紙する	
	給紙カセット 3	3段目の給紙カセットから給紙する	
部数	1 ~ 999	印刷部数を指定する	
ステータス表示		双方向通信が可能なときに、プリンタの状態を表示する	「Printianavi の設定」参照
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する	「プリンタドライバの情報を確認する」参照
レイアウト	N-up印刷 (*7)	通常の印刷を行う	「N-up印刷」参照
	2up	1枚の用紙に2ページ分のデータを印刷する	
	4up	1枚の用紙に4ページ分のデータを印刷する	
	8up	1枚の用紙に8ページ分のデータを印刷する	
	16up	1枚の用紙に16ページ分のデータを印刷する	
ページ配置	右下	用紙の左上から右下にページを配置する	
	左下	用紙の右上から左下にページを配置する	
	下右	用紙の左上から下右にページを配置する	
	下左	用紙の右上から下左にページを配置する	
レイアウト	枠を付ける	N-up印刷のときに、ページごとに枠を付ける	
両面印刷	両面印刷	なし 片面で印刷する	「両面印刷をする」参照
(*8)		長辺とじ 用紙の長い辺でとじるように両面印刷する	
		短辺とじ 用紙の短い辺でとじるように両面印刷する	
とじしろ量	表	両面印刷時の表面ページのとじしろ量を、mm単位で設定する(0 ~ 30mm)	
	裏	両面印刷時の裏面ページのとじしろ量を、mm単位で設定する(0 ~ 30mm)	
とじしろ位置	左または上	両面印刷時のとじしろ位置を、左または上に設定する	
	右または下	両面印刷時のとじしろ位置を、右または下に設定する	

*1 : アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*7 : 用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」のとき、本設定は無効です。

*8 : 両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

*10 : 用紙サイズが「はがき」のときは、「厚紙」に限定されます。

(用紙種類指定対応プリンタのみ設定が可能です。)

*11 : 用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」または「はがき」のときは、「手差し」に限定されます。

設定項目	設定内容	説明	備考
両面印刷 (*)8	白紙ページ の扱い	片面印刷時に 白紙ページを 印刷する	「両面印刷をする」 参照
		両面印刷時に 白紙ページを 印刷する	
グラフィックス	解像度	300DPI 600DPI	300DPIで印刷する 600DPIで印刷する
			「高速に印刷する」 参照 「きれいに印刷す る」参照
デイザリング	なし 8×8 16×16	デイザパターンによる階調づけをしない 8×8 ドットのパターンで階調をつける 16×16 ドットのパターンで階調をつける	
	ラインアート	黒・白・グレイの間にはっきりとした境 界線があるイメージを印刷する	
	誤差拡散法	輪郭のない写真や絵を印刷する	
濃度	暗～明 (0～200%)	グラフィックスを印刷する濃度を指定する	
テキストを グラフィッ クスとして 印刷する		文字データをグラフィックスとして扱う	「オプション機能を 設定する」参照
Printianavi (*)1	Printianavi を 有効にする	Printianavi を有効にする	「Printianavi の設 定」参照
	用紙ダイアロ グにプリンタ 状態を表示す る	用紙ダイアログの左下のプリンタ状態お よびステータス表示ボタンを表示する	
	印刷中のステ ータスを表示 する	印刷中のステータスを表示する	
	初期表示モード	ポップアップ エラー時 最小化	ポップアップウィンドウで表示する エラー時のみポップアップウィンドウで 表示する アイコンで表示する(タスクバーに登録)
	印刷終了時 にメッセージ を通知する		印刷終了のメッセージを通知する
	エラー時に メッセージを 通知する		エラー時のメッセージを通知する
	TCP/IP を 使用する		通信(メッセージの通知)にTCP/IPを 使用する

*1：アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*8：両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

設定項目	設定内容	説明	備考
Printianavi (*)1	メッセージ通知先 ホスト名または IP アドレスを指定	このコンピュータ 現在設定を行っているパソコンに通知する 特定のパソコンに通知する	「Printianavi の設 定」参照
印刷オプション	トナーを節約する スムージングする フルページ パンディング する テキストを 高速印刷する (*)9 白紙ページの扱い	トナーの消費量を節約する 文字や図形のギザギザ（ジャギー）を 滑らかに印刷する パソコン側でイメージデータを展開す るメモリを確保して印刷する 文字をプリンタに登録することにより テキストデータを高速に印刷する 片面印刷時に 白紙ページを 印刷する 両面印刷時に 白紙ページを 印刷する	「オプション機能を 設定する」参照 「きれいに印刷す る」参照 「オプション機能を 設定する」参照 「高速に印刷する」 参照 「オプション機能を 設定する」参照
装置オプション (*)1 ドライバ情報	プリンタメモリ	プリンタに搭載されているメモリの 量 (MB) を指定する	「高速に印刷する」 参照 「プリンタドライバ の情報を確認する」 参照

*1 : アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*9 : XL-5710/5310 では、プリンタメモリの増設が必要です。

▼ Windows NT4.0 の設定項目一覧

■ アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティ ドキュメントの既定値プロパティ

設定項目	設定内容	説明	備考	
用紙	用紙サイズ	A3 A4 A5 B4(JIS) B5(JIS) Legal Letter はがき ユーザ定義サイズ	A3 サイズの用紙に印刷する A4 サイズの用紙に印刷する A5 サイズの用紙に印刷する B4 サイズの用紙に印刷する B5 サイズの用紙に印刷する リーガルサイズの用紙に印刷する レターサイズの用紙に印刷する はがきに印刷する 不定形の用紙に印刷する 幅 : 100 ~ 297mm 長さ : 148 ~ 420mm	「用紙の設定」参照
出力用紙の選択 (*1)	A3 固定 A4 固定 A5 固定 B4 固定 B5 固定 Letter 固定 Legal 固定 自動 145% 拡大 自動 125% 拡大 現在の用紙(100%) 自動 94% 縮小 自動 80% 縮小 自動 70% 縮小	用紙サイズの指定に関わらず A3 用紙に印刷する 用紙サイズの指定に関わらず A4 用紙に印刷する 用紙サイズの指定に関わらず A5 用紙に印刷する 用紙サイズの指定に関わらず B4 用紙に印刷する 用紙サイズの指定に関わらず B5 用紙に印刷する 用紙サイズの指定に関わらずレター用紙に印刷する 用紙サイズの指定に関わらずリーガル用紙に印刷する 145% 拡大して印刷する A5 A4、B5 B4、A4 A3、 B4 A3、Legal A3、Letter A3) 125% 拡大して印刷する (A5 B5、B5 A4、A4 B4、 B4 A3、Legal A3、Letter B4) 拡大・縮小せず、用紙サイズで指定した用紙に印刷する 94% 縮小して印刷する (Letter A4、A4 Letter) 80% 縮小して印刷する (A3 B4、B4 A4、A4 B5、 B5 A5、Legal A4、Letter B5) 70% 縮小して印刷する (A3 A4、B4 B5、A4 A5、 Legal B5、Letter A5)		

*1 : 用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」のとき、本設定は無効です。
(「ユーザ定義サイズ」で設定された用紙サイズが、定型サイズと一致する場合は有効です。)

設定項目	設定内容	説明	備考
用紙 イメージサ イズの調整	- 50% ~ + 50% イメージの拡大・縮小率を % で設定する	「用紙の設定」参照	
用紙方向	縦	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する（ポートレイト）	
	横	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する（ランドスケープ）	
用紙種類 (*4)	普通紙	普通紙に印刷する	
	厚紙	厚紙に印刷する	
	OHP フィルム	OHP フィルムに印刷する	
給紙方法 (*5)	自動給紙	指定の用紙サイズと一致した用紙が入っている給紙口を自動的に選択して印刷する	
	手差し	給紙トレイから給紙する	
	給紙カセット 1	1 段目の給紙カセットから給紙する	
	給紙カセット 2	2 段目の給紙カセットから給紙する	
	給紙カセット 3	3 段目の給紙カセットから給紙する	
部数	1 ~ 999	印刷部数を指定する	
ステータス表示		双方向通信が可能なときに、プリンタの状態を表示する	「Printianavi の設定」参照
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する	「プリンタドライバの情報を確認する」参照
レイアウト N-up印刷 (*1)	1up	通常の印刷を行う	「N-up 印刷」参照
	2up	1 枚の用紙に 2 ページ分のデータを印刷する	
	4up	1 枚の用紙に 4 ページ分のデータを印刷する	
	8up	1 枚の用紙に 8 ページ分のデータを印刷する	
	16up	1 枚の用紙に 16 ページ分のデータを印刷する	
ページ配置	右下	用紙の左上から右 下にページを配置する	
	左下	用紙の右上から左 下にページを配置する	
	下右	用紙の左上から下 右にページを配置する	
	下左	用紙の右上から下 左にページを配置する	
レイアウト 枠を付ける		N-up 印刷のときに、ページごとに枠を付ける	

*1 : 用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」のとき、本設定は無効です。
(「ユーザ定義サイズ」で設定された用紙サイズが、定型サイズと一致する場合は有効です。)

*4 : 用紙サイズが「はがき」(「ユーザ定義サイズ」で「はがき」と同じサイズを指定したときを含む)のときは、「厚紙」に限定されます。(用紙種類指定対応プリンタのみ、設定が可能です。)

*5 : 用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」または「はがき」のときは、「手差し」に限定されます。(「ユーザ定義サイズ」で設定された用紙サイズが、「はがき」以外の定型サイズと一致する場合は他の給紙方法の設定が可能です。)

設定項目	設定内容	説明	備考
両面印刷 (*2)	両面印刷 なし 長辺とじ 短辺とじ とじしろ量 表 裏 とじしろ位置 左または上 右または下 白紙ページ の扱い 白紙ページを 印刷する 両面印刷時に 白紙ページを 印刷する	片面で印刷する 用紙の長い辺でとじるように両面印刷する 用紙の短い辺でとじるように両面印刷する 両面印刷時の表面ページのとじしろ量 を、mm単位で設定する(0~30mm) 両面印刷時の裏面ページのとじしろ量 を、mm単位で設定する(0~30mm) 両面印刷時のとじしろ位置を、左または上に設定する 両面印刷時のとじしろ位置を、右または下に設定する 片面印刷時に白紙ページを印刷する	「両面印刷をする」 参照
グラフィックス	解像度 300DPI 600DPI ハーフトーン カラーの調整	300DPIで印刷する 600DPIで印刷する ハーフトーンの階調を設定する	「高速に印刷する」 参照 「きれいに印刷する」 参照
印刷オプション (*3)	トナーセーブする スムージングする フルページパン ディングする テキストを高速 印刷する	トナーの消費量を節約する 文字や図形のギザギザ(ジャギー)を 滑らかに印刷する パソコン側でイメージデータを展開す るメモリを確保して印刷する 文字をプリンタに登録することにより テキストデータを高速に印刷する	「オプション機能を 設定する」 参照 「きれいに印刷す る」 参照 「オプション機能を 設定する」 参照 「高速に印刷する」 参照
白紙ページの扱い	片面印刷時 に白紙ペー ジを印刷する 両面印刷時 に白紙ペー ジを印刷する	片面印刷のときに白紙のページを印刷 する 両面印刷のときに白紙のページを印刷 する	「オプション機能を 設定する」 参照

*2：両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

*3：XL-5710/5310では、プリンタメモリの増設が必要です。

■ プリンタのプロパティ

設定項目	設定内容	説明	備考
全般	コメント	プリンタに関するコメントを入力する	
	場所	プリンタの設置場所を入力する	
	ドライバ	使用しているプリンタドライバを表示する	
	新しいドライバ	プリンタドライバを追加または変更する	
	区切りページ	区切りページを指定する(*1)	
	プリントプロセッサ	プリントプロセッサとスプールデータの種類を指定する	
	テストページの印刷	テストページを印刷する	
ポート	印刷するポート	プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスを表示する	「 印刷先ポートの追加と変更 」参照
	ポートの追加	ポートを追加する	
	ポートの削除	ポートを削除する	
	ポートの構成	ポートの設定を変更する	
	双方向	パソコンとプリンタの間で情報をやりとりできるようにする(*2)	
	サポートを有効にする		
	プリンタプールを有効にする	プリンタプールを利用できるようにする	
スケジュール	利用可能時間	常に	プリンタを常に利用できるようにする
		開始 / 終了	プリンタを特定の時間だけ利用できるようにする
	優先順位	1 ~ 99	ドキュメントの規定の優先度を指定する
	印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う	全ページ分のデータをスプールしてから、印 刷データをプリンタに送る	ドキュメントの最終ページがスプールされるまで待ってから印刷を開始する
		すぐに印刷データをプリントに送る	ドキュメントの先頭ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始する
	プリンタに直接印刷データを送る		ドキュメントをスプールせずに直接プリンタにデータを送る

1: 本プリンタは、Windows NT4.0 の区切りページファイル(.sep)の印刷をサポートしていません。

*2: Printianavi を使用するときは、双方向サポートを有効にしてください。

設定項目	設定内容	説明	備考
スケジュール	一致しない ドキュメント を保留する(*3) スプールされた ドキュメントを 最初に印刷 する 印刷後ドキュメント を残す	設定がプリンタと一致しないドキュメントを保留する スプールが完了したドキュメントから印刷を開始する 印刷が終了したあともスプールを削除しない	
共有	共有しない 共有する 共有名 代替ドライバ	プリンタを共有しない プリンタを共有するときの名前を指定する 異なるOSで使用するドライバをインストールする	「プリンタを共有する」参照 「代替ドライバのインストール」参照
セキュリティ	アクセス権 監査 所有権	プリンタのアクセス権を設定する プリンタの使用状況を監査する プリンタの所有権を表示または取得する	
装置オプション	ハーフトーンセットアップ プリンタメモリ	プリンタが使用するハーフトーンを設定する プリンタに搭載されているメモリの量(MB)を指定する	「高速に印刷する」参照
Printianavi	Printianavi を 有効にする 用紙ダイアログに プリンタ状態 を表示する 印刷中のステータス を表示する 初期表示モード 印刷終了時に メッセージを 通知する エラー時にメッセージ を通知する TCP/IP を 使用する メッセージ通知先	Printianavi を有効にする 用紙ダイアログの左下のプリンタ状態およびステータス表示ボタンを表示する 印刷中のステータスを表示する ポップアップ ポップアップウィンドウで表示する エラー時ポップアップ エラー時のみポップアップウィンドウで表示する 最小化 アイコンで表示する(タスクバーに登録) 印刷終了のメッセージを通知する エラー時のメッセージを通知する 通信(メッセージの通知)にTCP/IPを使用する このコンピュータ 現在設定を行っているパソコンに通知する ホスト名または IPアドレスを指定	「Printianaviの設定」参照 「Printianaviの設定」参照
ドライバ情報		プリンタドライバの情報を表示する	「プリンタドライバの情報を確認する」参照

*3 : 本プリンタでは、この設定は無効です。

■ プリントサーバーのプロパティ

設定項目	設定内容	説明	備考
用紙	用紙	サーバで使用可能な用紙の種類を表示する	
	用紙の説明	新しい用紙を新しく用紙を作成する場合にチェックする	
	作成する		
ポート	寸法	用紙のサイズを指定する	
	このサーバー	このサーバ上にあるポートを表示する	
	上のポート		
	ポートの追加	ポートを追加する	
詳細設定	ポートの削除	ポートを削除する	
	ポートの構成	ポートの設定を変更する	
	スプールフォルダ	スプールファイルを格納するフォルダを指定する	
スプーラのエラーアイベント	スプーラのエラーアイベント	印刷関連のエラーをシステムログに書き込む	
	のログを収集する		
	スプーラの警告イベント	印刷関連の警告をシステムログに書き込む	
スプーラの情報イベント	のログを収集する	印刷関連の情報をシステムログに書き込む	
	リモートドキュメントエラーが	エラーが発生したときに警告音を鳴らす	
	発生したら音を鳴らす		
リモートドキュメントの印刷	リモートドキュメントの印刷	印刷の完了をクライアントに通知する	
	が終了したら通知する		

▼ Windows 3.1 の設定項目一覧

設定項目	設定内容	説明	備考
解像度	300DPI	300DPIで印刷する	「高速に印刷する」 参照
	600DPI	600DPIで印刷する	「きれいに印刷する」 参照
用紙サイズ	A3(297 × 420mm) A4(210 × 297mm) A5(148 × 210mm) B4(257 × 364mm) B5(182 × 257mm) Letter(8.5 × 11 インチ) Legal(8.5 × 14 インチ) はがき(100 × 148mm) (*1)	A3 サイズの用紙に印刷する A4 サイズの用紙に印刷する A5 サイズの用紙に印刷する B4 サイズの用紙に印刷する B5 サイズの用紙に印刷する レターサイズの用紙に印刷する リーガルサイズの用紙に印刷する はがきに印刷する	「用紙の設定」参照
給紙方法	User Defined Size (*1)	不定形の用紙に印刷する 幅 : 100 ~ 297mm 長さ : 148 ~ 420mm	
	給紙カセット 1 給紙カセット 2 給紙カセット 3 自動給紙 手差し	1 段目の給紙カセットから給紙する 2 段目の給紙カセットから給紙する 3 段目の給紙カセットから給紙する 指定の用紙サイズと一致した用紙が入 っている給紙口を自動的に選択して印 刷する 給紙トレイから給紙する	
印刷の向き	縦	用紙の長い方の辺に対して、垂直に 印刷する (ポートレイト)	
	横	用紙の長い方の辺に対して、平行に 印刷する (ランドスケープ)	
両面印刷 (*2)	なし	片面で印刷する	「両面印刷をする」 参照
	長辺とじ	用紙の長い辺でとじるように両面印刷する	
	短辺とじ	用紙の短い辺でとじるように両面印刷する	

*1 : 給紙方法で手差しを選択したときのみ、設定が可能です。

*2 : 両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

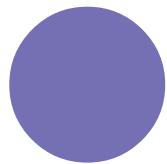
設定項目	設定内容	説明	備考
オプション	ディザリング なし	ディザパターによる階調づけをしない	「きれいに印刷する」参照
	粗	粗いパターンで階調をつける	
	密	細かいパターンで階調をつける	
	ラインアート 黒・白・グレイの間にはっきりとした境界線があるイメージを印刷する		
User Defined	幅	不定形の用紙の幅を mm 単位で設定する (100 ~ 297mm)	「用紙の設定」参照
Size	高さ	不定形の用紙の高さ (長さ) を mm 単位で設定する (148 ~ 420mm)	
縮小	100%(縮小しない) 縮小せずに印刷する		
	80%(A3 B4、B4 A4、80% 縮小して印刷する A4 B5、B5 A5)		
	70%(A3 A4、B4 B5、70% 縮小して印刷する A4 A5)		
用紙種類	普通紙	普通紙に印刷する	
(*3)	厚紙	厚紙に印刷する	
	OHP フィルム	OHP フィルムに印刷する	
スムージング		文字や図形のギザギザ (ジャギー) を滑らかに印刷する	「きれいに印刷する」参照
トナーセーブ		トナーの消費量を節約する	「オプション機能を設定する」参照
両面印刷設定	とじしろ量 表	両面印刷時の表面ページのとじしろ量を、mm 単位で設定する(0 ~ 30mm)	「両面印刷をする」参照
(*2)	裏	両面印刷時の裏面ページのとじしろ量を、mm 単位で設定する(0 ~ 30mm)	
とじしろ位置	左または上	両面印刷時のとじしろ位置を、左または上に設定する	
	右または下	両面印刷時のとじしろ位置を、右または下に設定する	
白紙ページ		両面印刷時に白紙ページを印刷する	
印刷			

*2 : 両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

*3 : 用紙種類指定対応プリンタで、給紙方法を「手差し」にしたときのみ、設定が可能です。(用紙サイズが「はがき」のときは、「厚紙」に限定されます。)

第4章

Printianavi ネットワークポートモニタ



Printianavi ネットワークポートモニタは、LAN (TCP/IP) に接続したプリンタに、パソコンから直接印刷できるようにします。この章では、プリンタの設定と Printianavi ネットワークポートモニタの使いかたについて説明します。

本章の中では、Printianavi ネットワークポートモニタを「ネットワークポートモニタ」または「本ユーティリティ」と呼びます。

プリンタを LAN に直接接続する (管理者のみ).....	132
DHCP によるアドレス自動取得	134
IP アドレス設定ユーティリティによる設定	135
ネットワークポートモニタをインストールする	141
インストール	141
アンインストール	145
ネットワークポートモニタを設定する	147
ネットワークポートモニタを起動する	147
ポートに関する設定項目	153

プリンタを LAN に直接接続する（管理者のみ）

プリンタをネットワークケーブルで LAN に直接接続して印刷を行えるようにするには、まずプリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境を設定する必要があります。

TCP/IP 動作環境の設定方法

プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境を設定する方法は次の 5 つの方法があります。

・ DHCP によるアドレス自動取得

DHCPサーバからアドレスを自動的に取得します。

・ IP アドレス設定ユーティリティによる設定 (Windows 98/95/NT4.0)

管理者のパソコンからアドレスを割り当てる方法です。

割り当てを行うパソコン（またはサーバ）から印刷を行い、Printianaviマネージャを使用して管理をする場合は、プリンタのパネル操作よりも簡単に行えます。

・ プリンタのパネル操作によるアドレス設定

プリンタ側で設定を行います。

プリンタ編の説明を参照してください。

・ ネットワーク設定ユーティリティによる設定

NetWare環境で使用しているプリンタの設定をネットワーク設定ユーティリティで行っている場合は、TCP/IPの設定の追加・変更も行うことができます。

「[第7章 Printianaviネットワーク設定ユーティリティ](#)」の「ネットワーク設定の詳細」（219ページ）を参照してください。

・ Printianavi マネージャによる設定 (Windows 98/95/NT4.0)

LAN接続されているプリンタのTCP/IP設定を変更する場合や、プリンタをセントロ接続から LAN 接続に変更する場合は、Printianavi マネージャの管理者機能を使用して TCP/IP の設定の追加・変更を行うことができます。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第6章 Printianavi マネージャ](#)」を参照してください。

ここでは、「DHCP によるアドレス自動取得」と「IP アドレス設定ユーティリティによる設定」について説明します。また、「IP アドレス設定ユーティリティによる設定」では、プリンタ側の設定だけでなく、設定を行ったパソコンから印刷するためのポートの作成と印刷設定、Printianaviマネージャによる設定の保存までを、一連の手順で説明します。

■ 準 備

次の 3 つは、TCP/IP 動作環境を設定する際に必要な情報です。

- **MAC アドレス**

プリンタ LAN ポート固有（一意）のアドレスで、プリンタごとに異なります。

- **TCP/IP 設定**

工場出荷時の初期値は「有効」になっています。

- **DHCP 自動取得**

工場出荷時の初期値は「設定」になっています。

プリンタの電源を投入し、LAN ポートの設定内容の印刷（メニュー印刷）を行うと、プリンタ LAN ポートの現在の設定が確認できます。

操作方法は、プリンタ編の説明を参照してください。

▼ DHCP によるアドレス自動取得

■ プリンタ側の設定

次の設定にします。

項目	設定	工場出荷時の初期値(参考)
TCP/IP 設定	有効	有効
DHCP 自動取得	設定	設定

設定方法については、プリンタ編の説明を参照してください。

■ DHCP サーバ側の設定

DHCP マネージャを開いて〔スコープ〕の〔作成〕を選択し、次の項目を設定します。

- ・開始アドレス
- ・終了アドレス
- ・サブネットマスク
- ・リース期間（無期限を推奨）

設定が終わったら、〔スコープ〕をアクティブにします。

さらに、獲得するIPアドレスを固定するために、次の設定を行うことをお勧めします。

〔スコープ〕の〔予約の追加〕を選択し、次の項目を設定します。

- IP アドレス 設定したいIPアドレス
- 一意の ID MAC アドレス
- クライアント名 任意の名前

設定が終わったら、〔追加〕を選択して終了します。

両方の設定が終わったら、プリンタがネットワークケーブルで接続されていることを確認して、プリンタの電源を再度入れ直してください。



プリンタのMACアドレスは、プリンタから LAN ポートの設定内容の印刷（メニュー印刷）を行って確認できます。その際は、印刷されたMACアドレスの「:」を省き、半角英数字12文字で入力してください。

▼ IP アドレス設定ユーティリティによる設定

1 ネットワークケーブルを外した状態でプリンタの電源を入れる

2 プリンタの設定値を次のようにする

項目	設定	工場出荷時の初期値(参考)
TCP/IP 設定	有効	有効
DHCP 自動取得	設定	設定

設定方法については、プリンタ編の説明を参照してください。

3 プリンタの電源を切って、ネットワークケーブルを接続する

4 管理者のパソコンに、IP アドレス設定ユーティリティとネットワークポートモニタをインストールする

インストールの手順については、「[ネットワークポートモニタをインストールする](#)」(141 ページ) を参照してください。

すでにインストール済みの場合は、手順 5 に進みます。

▶ お願い

・以前のバージョンのネットワークポートモニタがインストールされている場合は、Windows 起動後、何も印刷しない状態で、新しいバージョンのネットワークポートモニタを上書きインストールしてください。その際、Printianavi Network Portを印刷先に指定しているプリンタがある場合は、印刷先を別のポートに変更してください。

・DHCP サーバが起動しているパソコンでは、IP アドレス設定ユーティリティは使用できません。IP アドレス設定ユーティリティは、DHCP サーバ以外のパソコンで使用してください。また、管理者のパソコン(設定用のパソコン)とプリンタは、同一ゲートウェイ内に接続してください。

5 [スタート] [プログラム] [Printianavi V3.1] [Printianaviネットワークポートモニタ] [IPアドレス設定ユーティリティ] の順に選択し、IP アドレス設定ユーティリティを起動する



6 [次へ] をクリックする



7 プリンタに割り当てるアドレスを入力する

- IP アドレス プリンタに割り当てるIP アドレスを半角数字「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。省略はできません。
- サブネットマスク プリンタに割り当てるサブネットマスクを半角数字「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。(省略可能)
- ゲートウェイ プリンタに割り当てるゲートウェイアドレスを半角数字「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。(省略可能)
- MAC アドレス プリンタに設定されている MAC アドレスを半角英数字で入力します。確実に設定するために、入力することをお勧めします。



プリンタのMACアドレスは、オペレータパネルからメニュー印刷(LANの印刷)を実行すると確認できます。上の画面でMACアドレスを入力するときは、印刷されたMACアドレスの「:」を省き、半角英数字12文字で入力してください。

入力が終わったら、[次へ] をクリックします。



8 プリンタの電源を入れる
「プリンタ装置の電源を投入してください」と画面に表示されたら、プリンタがネットワークケーブルで接続されていることを確認して、プリンタの電源を入れてください。

[ステータス] 欄に、現在のプリンタとの通信状況が表示されます。
受け付け中：プリンタからのIPアドレス割り当て要求を待っています。
通信中：プリンタにIPアドレスを割り当て中です。



9 ポートの作成を行うときは[作成する]を、行わないときは[完了]をクリックする

IPアドレスの割り当てを行ったプリンタに印刷するには、ポートの作成が必要です。



- ・[完了]をクリックすると、ポートの作成は行わずに終了します。
- ・割り当てたIPアドレスのポートをすでに作成してある場合は、[完了]をクリックしてください。
- ・ポートは、後で作成することもできます。

〔作成する〕をクリックすると、ポートの作成画面が表示されます。



ポート名 半角の英数字 8 文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

 [ポートの設定]についてのさらに詳しい説明は、「[ポートに関する設定項目](#)」(153 ページ)を参照してください。



10 〔OK〕をクリックして、IPアドレス設定ユーティリティを終了する



IPアドレス設定ユーティリティで設定したIPアドレスは、プリンタの電源を切ると消えてしまいます。この設定を保持するためには、引き続きこのパソコンからの印刷設定(プリンタドライバのインストール)を行い、Printianavi マネージャのTCP/IP 設定で、「IP アドレスを指定」を選択してください。

11 設定を行ったパソコンから印刷ができるように設定する
「インストールの手順と設定の概要」の「LAN接続の印刷設定」(24ページ)と同等の作業を行います。

「第2章 プリンタドライバのインストール」(29ページ)にしたがって、プリンタドライバをインストールしてください。

・**プリンタに割り当てたIPアドレスのポートが作成済の場合**
(9でポートの作成を行った場合など)

印刷先のポートは作成したポートを指定してください。

・**ポートをまだ作成していない場合**

ここでは印刷先のポートは仮のポート(ローカルポート:LPT1など)を指定しておきます。(テストページ等の印刷はまだ行わないでください。)

プリンタドライバのインストールが終わったら、「**印刷先ポートの追加と変更**」(57ページ)で、印刷先ポートの追加と変更を行ってください。(「LAN接続プリンタに印刷する場合」)

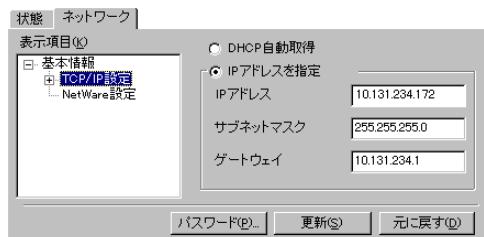
12 Printianavi マネージャでアドレスを確定する

Printianavi マネージャでアドレスを確定するには、Printianavi マネージャを管理者機能付きでインストールする必要があります。

Printianavi マネージャをインストールしていない場合は、「[第6章 Printianavi マネージャ](#)」(177 ページ) を参照し、管理者機能付きでインストールしてください。

Printianavi マネージャをインストール後の管理者機能の追加は、「[管理者機能の追加・削除](#)」(183 ページ) で行います。

- 1 [スタート] から [プログラム] [Printianavi V3.1] [Printianavi マネージャ] [Printianavi マネージャ] の順に選択し、Printianavi マネージャを起動します。
- 2 プリンター一覧から、アドレスを割り当てたプリンタを選択し、[ネットワーク] タブをクリックします。
- 3 表示項目の [TCP/IP 設定] を選択して、[更新] をクリックします。



「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」に、IP アドレス設定ユーティリティで設定した値が表示されます。「IP アドレスを指定」を選択して、[更新] をクリックします。

- 4 [はい] をクリックします。
[はい] をクリックすると、3 で表示された設定値を確定（プリンタの電源を切っても消えないように）します。



- ・設定を変更するには、プリンタに設定したパスワードの入力が必要です。工場出荷時の初期設定では、パスワードは設定されていませんので、何も入力しないで[OK]をクリックしてください。
- ・その他の設定も行う場合は、「[第6章 Printianavi マネージャ](#)」(177 ページ) を参照してください。

ネットワークポートモニタをインストールする

ネットワークポートモニタは、Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。



上書きインストールは、通常のインストールと同じ手順で行いますが、次の点に注意してください。

- Printianavi Network Portを印刷先に指定しているプリンタがある場合は、印刷先を別のポートに変更してください。
- Windows 起動後、何も印刷をしていない状態からネットワークポートモニタをインストールしてください。



同一ネットワーク上で本プリンタと旧 Printianavi 対応プリンタを混在運用する場合は、付録の「Printianavi トラブルシューティング」の「旧バージョン・レベルとの混在運用について」をお読みください。



インストール

Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンに、ネットワークポートモニタをインストールする操作について説明します。



インストールの前に、起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

1

Windows 98/95/NT4.0 を起動する

Windows NT4.0 の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

2

添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする
インストーラが自動的に起動します。



3 [ネットワークポートモニタ]をクリックする



4 内容を確認し、[次へ]をクリックする



5 表示されたディレクトリにネットワークポートモニタをインストールしてよければ、[次へ]をクリックする

他のディレクトリにインストールするときは、[参照]をクリックして指定します。



6 ネットワークポートモニタのみインストールするときは「インストール」を、IPアドレス設定ユーティリティもインストールするときは「フルインストール」を選択し、「次へ」をクリックする

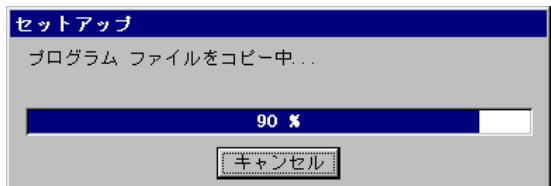
IPアドレス設定ユーティリティは、プリンタにIPアドレスを一時的に設定する管理者用のユーティリティです。(「IPアドレス設定ユーティリティによる設定」(135ページ)を参照してください。)



7 表示されたプログラムフォルダにネットワークポートモニタをインストールしてよければ「次へ」をクリックする

手順6でフルインストールを選択したときは、IPアドレス設定ユーティリティも指定したフォルダにインストールされます。プログラムフォルダを変更するときは、その名前を入力します。

ファイルのコピーが開始されます。





8 ポートに関する設定をする

ここでは、[プリンタのIPアドレスまたはホスト名]に、プリンタのIPアドレス（半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式）またはホスト名（半角英数字8文字以内）を入力します。

設定項目の詳細については、
[「ポートに関する設定項目」](#)
(153ページ)を参照してください。

インストールが終わってから設定することもできます。



9 [OK] をクリックする

▼ アンインストール

Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンから、ネットワークポートモニタをアンインストールする操作について説明します。

▶ お願い

- ・ネットワークポートモニタのポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ネットワークポートモニタのアンインストールは行えません。アンインストールの前に、他の印刷先ポートに変更してください。
- ・アンインストールの前に、起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了してください。

1 Windows 98/95/NT4.0 を起動する

Windows NT4.0の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

2 アンインストールプログラムを実行する

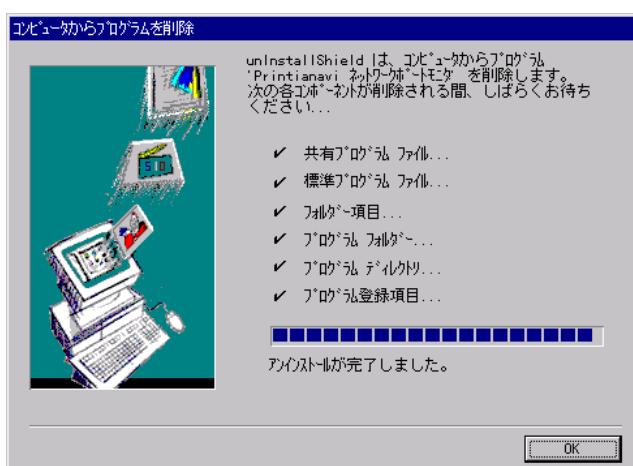
アンインストールプログラムを実行するには、次の2つの方法があります。

- ・[スタート]から[プログラム][Printianavi V3.1][Printianaviネットワークポートモニタ][Printianaviネットワークポートモニタアンインストール]の順に選択する
- ・コントロールパネルの[アプリケーションの追加と削除]を起動し、[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]の「セットアップと削除」(Windows NT4.0の場合は「インストールと削除」)の一覧から[Printianaviネットワークポートモニタ]を選択し、[追加と削除]をクリックします。



3 [はい] をクリックする

アンインストールが開始されます。



4

「アンインストールが完了しました」というメッセージを確認し、[OK] をクリックする

ネットワークポートモニタを設定する

ネットワークポートモニタを起動し、設定を行う操作について説明します。

なお、本設定を行うには、Printia XL ドライバをインストールしてあることが必要です。

▼ ネットワークポートモニタを起動する

本ユーティリティを起動する操作を、Windows 98/95/NT4.0 それぞれの場合について説明します。

Windows 98/95 のとき

1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する



2 該当するプリンタをクリックし、[ファイル] メニューから、[プロパティ] を選択する



3 [詳細] タブをクリックし、[印刷先のポート] で [Printianavi Network Port] を選択する

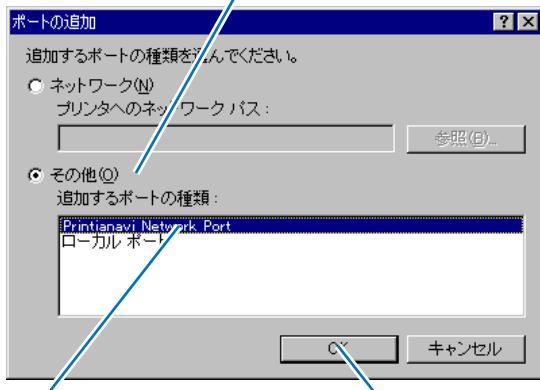


4 目的の機能のボタンをクリックする

▶ ポートの追加

〔詳細〕ダイアログで〔ポートの追加〕をクリックすると、〔ポートの追加〕ウィンドウが表示されます。

1. 〔その他〕をクリック



2. [Printianavi Network Port] を選択

〔その他〕をクリックし、〔追加するポートの種類〕の一覧から〔Printianavi Network Port〕を選択して〔OK〕をクリックします。

3. [OK] ボタンをクリック

続いて、ポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、[「ポートに関する設定項目」\(153 ページ\)](#)を参照してください。

▷ ポートの削除

〔詳細〕ダイアログで〔ポートの削除〕をクリックすると、〔ポートの削除〕ウィンドウが表示されます。



〔Printianavi Network Port〕を選択し、〔OK〕をクリックします。



〔ポートの削除〕は、そのポートを印刷先のポートに設定しているプリンタがないことを確認してから実行してください。削除したいポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ポートは削除できませんので、印刷先を他のポートに変更してから実行してください。

なお、ポート削除後に同じ名前のポートを追加する場合は、パソコンを再起動してから行ってください。

▷ ポートの設定

〔印刷先のポート〕の一覧から、設定を変更するポートを選択し、〔ポートの設定〕をクリックします。

〔ポートの設定〕をクリックしたときに設定できる項目については、「[ポートに関する設定項目](#)」(153 ページ)を参照してください。

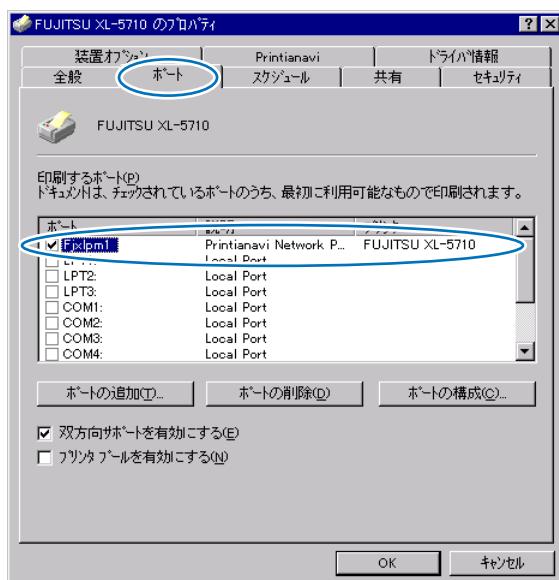
Windows NT4.0 のとき

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作をします。

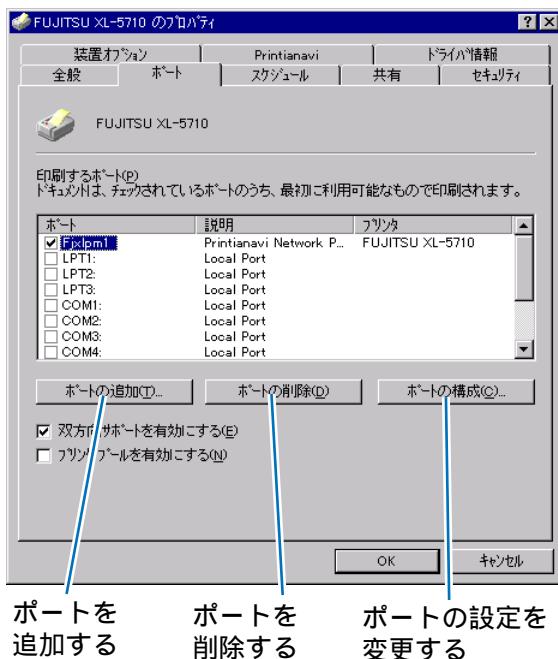
1 [スタート] から、[設定]([プリンタ])の順に選択する



2 該当するプリンタをクリックし、[ファイル]メニューから、[プロパティ]を選択する



3 [ポート] タブをクリックし、[印刷するポート]の一覧から [Printianavi Network Port] を選択する



ポートを追加する

ポートを削除する

ポートの設定を変更する

4 目的の機能のボタンをクリックする



1. [Printianavi Network Port] を選択

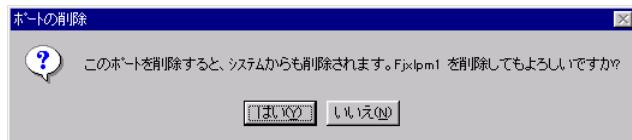
2. [新しいポート] をクリック

[利用可能なプリンタポート] の一覧から [Printianavi Network Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。

続いて、ポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、「ポートに関する設定項目」(153 ページ)を参照してください。

▶ ポートの削除

〔ポート〕ダイアログの〔印刷するポート〕の一覧から〔Printianavi Network Port〕を選択して〔ポートの削除〕をクリックします。



削除してよければ、〔はい〕をクリックします。

● ガイド

〔ポートの削除〕は、そのポートを印刷先のポートに設定しているプリンタがないことを確認してから実行してください。削除したいポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ポートは削除できませんので、印刷先を他のポートに変更してから実行してください。

▶ ポートの構成

〔印刷するポート〕の一覧から、設定を変更するポートを選択し、〔ポートの構成〕をクリックします。

〔ポートの構成〕をクリックしたときに設定できる項目については、[「ポートに関する設定項目」\(153 ページ\)](#)を参照してください。

▼ ポートに関する設定項目

ポートに関する設定項目について説明します。

■ ポートの設定



ポート名 ポート名を任意に指定します。(ポート追加時
のみ指定可能)
半角の英数字で、8 文字以内で指定します。

プリンタのIP アドレス プリンタのIP アドレス、またはネットワーク上
またはホスト名 のホスト名を指定します。

IP アドレスは、半角数字とピリオドで「XXX.
XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されている
プリンタのホスト名を指定します。

オプション ポート番号や監視時間を設定するオプション画面
を表示します。(「[オプションの設定](#)」(次ページ) 参照)

バージョン情報 本ユーティリティのバージョン情報を表示しま
す。

■ オプションの設定



ポート番号 プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。

通常は、標準値の 9313 のままにします。

プリンタタイムアウト監視時間 プリンタとの無通信監視時間を、60 ~ 7200 の範囲で設定します。

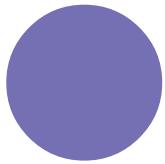
ここで指定した時間、プリンタから何も応答がないときは、ネットワークが切断されているとみなし、エラーを通知します。

標準値は 300 秒です。

標準値 この画面での設定値が標準値に戻ります。

第5章

Printianavi ネットワーク連携 ユーティリティ



Printianavi ネットワーク連携ユーティリティは、サーバ経由で印刷するクライアントが Printianavi の機能を使えるようにします。この章では、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティの使い方について説明します。

本章の中では、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティを「ネットワーク連携ユーティリティ」または「本ユーティリティ」と呼びます。

Printianavi をネットワークで使用する	156
ネットワーク連携ユーティリティの機能	156
接続形態	157
必要なソフトウェアと設定	158
インストールと設定	159
インストール	159
アンインストール	164
環境設定	166
到着通知パネルの操作方法	174

Printianavi をネットワークで使用する

Printianaviをネットワークで使用するために必要な設定について説明します。

Printianaviをネットワークで使用するときは、添付のCD-ROMの中のネットワーク連携ユーティリティをインストールする必要があります。

▶お願い

同一ネットワーク上で本プリンタと旧Printianavi対応プリンタを混在運用する場合は、[付録の「Printianavi トラブルシューティング」の「旧バージョン・レベルの混在運用について](#)をお読みください。



ネットワーク連携ユーティリティの機能

ネットワーク連携ユーティリティは、Printianavi(プリンティアナビ)の機能を、LAN接続したWindows 98/95/NT4.0のクライアント/サーバシステムに拡張するための機能拡張ソフトウェアです。

Printianaviには、次の機能があります。

- ・印刷中のエラーメッセージ通知
- ・エラーリカバリ(自動再開、再開ページ指定、および印刷打ち切り操作)
- ・印刷終了の通知
- ・印刷中のプリンタの状態表示

ネットワーク連携ユーティリティにより、これらのメッセージ通知や、プリンタへの操作を、印刷を依頼したクライアントから行うことができるようになります。

▶お願い

ネットワーク連携ユーティリティにより、メッセージ通知やプリンタへの操作を依頼中は、クライアント/サーバシステムのネットワーク連携ユーティリティを終了させないでください。

▼ 接続形態

ネットワーク連携ユーティリティを利用するネットワークでは、次の条件を満たすことが必要です。

■ プリンタの接続

プリンタは、次のように接続します。

- ・プリントサーバとなるパソコンのプリンタポートに、プリンタケーブルで直接接続する
- ・LANに接続する



LAN接続機構を標準装備していないプリンタをお使いの場合、Printianavi対応のプリンタLANカード(オプション)が必要です。

■ プリントサーバとなるパソコン

Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンを、プリントサーバとして使用できます。本ユーティリティにおけるプリントサーバを、とくにメッセージサーバといいます。

■ クライアントとなるパソコン

Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンを、クライアントとして使用できます。

▼ 必要なソフトウェアと設定

ネットワーク連携ユーティリティを利用するときは、次のソフトウェアおよび設定が必要です。

■ 必要なソフトウェア

本ユーティリティとともに、Printia XL ドライバ（Printianavi）が必要です。

Printia XL ドライバは、プリンタに添付されている CD-ROM の中にあります。Printia XL ドライバのインストールについては、「[第2章（29ページ）](#)」を参照してください。



ネットワーク連携ユーティリティは、その機能を利用するすべてのサーバおよびクライアントにインストールします。

■ 必要な設定

設定は、システム管理者が行います。

- ・ネットワークプロトコル（TCP/IP）の設定
ネットワークのプロトコルは、TCP/IPを使用してください。
- ・プリンタ共有の設定
サーバでは、プリンタを共有する設定が必要です。

インストールと設定

ネットワーク上で Printianavi を使用するためには、ネットワーク連携ユーティリティをサーバおよびクライアントにインストールする必要があります。

▶お願い

以前のバージョンのネットワーク連携ユーティリティやプリントユーティリティ V1.1 がすでにインストールされている場合は、アンインストールを行ってから新しいネットワーク連携ユーティリティをインストールしてください。



インストール

Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンに、ネットワーク連携ユーティリティをインストールする操作について説明します。

画面の例は Windows NT4.0 の場合です。

▶お願い

インストールの前に、起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

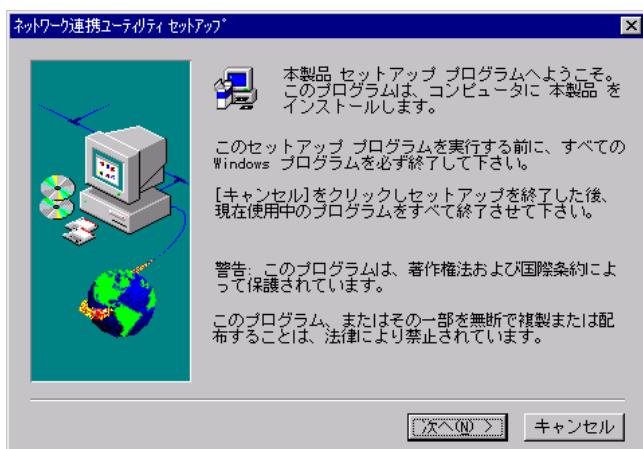
1 Windows 98/95/NT4.0 を起動する

Windows NT4.0 の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

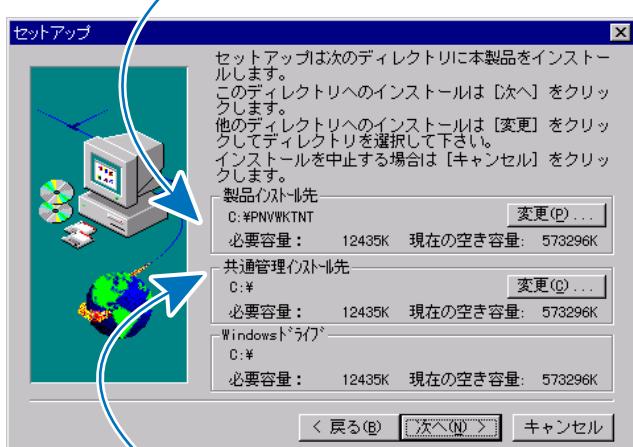
2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする



3 [ネットワーク連携ユーティリティ] をクリックする



4 内容を確認し、[次へ]をクリックする



5 表示されたディレクトリにインストールしてよければ、[次へ]をクリックする

他のディレクトリにインストールするときは、[変更]をクリックして指定します。

他の製品として登録済みかどうかをチェックする必要がある製品をインストールするディレクトリ

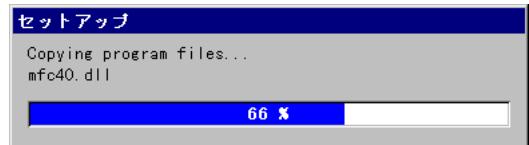


- ・インストール先のドライブに空き領域があることを確認して指定してください。
- ・ドライブ名は、すでに存在するローカルドライブを指定します。
- ・ディレクトリ名は8文字以内の英数字で、重複しない名前を指定します。
- ・ドライブ名とディレクトリ名は、小文字で入力しても大文字に変換されます。
- ・多階層(例えば、c:\aaa\bbb\ccc)のディレクトリは、指定できません。
- ・再インストールのときは、インストール先は変更できません。
- ・共通管理コンポーネントがインストール済みの場合は、共通管理インストール先は変更できません。



6 表示された設定でインストールしてよければ、[次へ]をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。



7 「メッセージ操作動作環境設定」と、「メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録」の設定を確認し、[次へ]をクリックする

・メッセージ操作動作環境設定

サーバで発生したメッセージを通知するときのメッセージサーバとなるホストを定義します。通常、ホストは自動認識されるので、この設定は不要です。設定を行う場合は[設定]をクリックして、メッセージサーバのホストを設定してください。



[設定]をクリックすると、[メッセージ操作動作環境]プロパティシートが表示されます。メッセージ操作動作環境の設定方法については、「[クライアント側の設定](#)」(168ページ)を参照してください。

- ・メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録

メッセージ到着通知パネルとは、プリンタから送られてきたメッセージを画面上に表示させるためのアプリケーションです。このメッセージ到着通知パネルのショートカットをスタートアップへ登録すると、Windows のログイン時に自動的に起動されるので便利です。

- ・追加する到着通知パネルの種類

スタートアップに登録する到着通知パネルの種類として、次のいずれかを選択します。

〔到着通知パネルコンパクト〕 〔到着通知パネルワイド〕

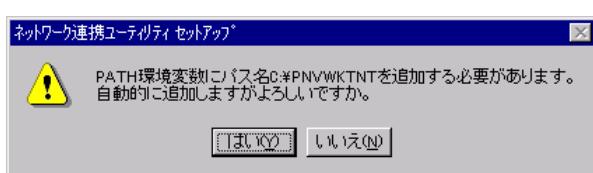


- ・最小化起動（タスクバーに表示する）

到着通知パネルを最小化して起動する場合にチェックします。



〔メッセージ操作動作環境〕プロパティシートの〔表示モード〕ダイアログの〔最小化時にタスクバーにインジケータを表示する〕と組み合わせて指定することにより、到着通知パネルの起動時、タスクバーにインジケータが表示されるようになります。



8 ネットワーク連携ユーティリティのパスの設定を確認し、〔はい〕をクリックする

〔いいえ〕をクリックしたときは、インストール完了後に、ネットワーク連携ユーティリティのパスを手動で追加してください。



9 共通管理コンポーネントのパスの設定を確認し、[はい]をクリックする

[いいえ]をクリックしたときは、インストール完了後に、共通管理コンポーネントのパスを手動で設定してください。

上の画面は、再インストールのときは、表示されません。（本ユーティリティの動作に必要なパスの情報が設定されていないときに表示されます。）



10 パソコンを再起動するかどうかを選択し、[終了]をクリックする

他の製品を続けてインストールするときは、[いいえ、後でコンピュータを再起動します]をクリックします。

▼ アンインストール

Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンから、ネットワーク連携ユーティリティをアンインストールする操作について説明します。

画面の例は Windows NT4.0 の場合です。

お願い

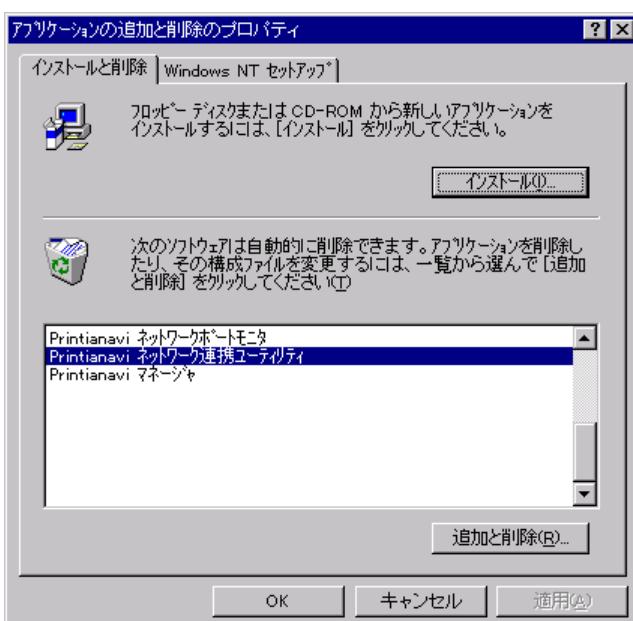
アンインストールの前に、「到着通知パネル」および起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

1 Windows 98/95/NT4.0 を起動する

Windows NT4.0 の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

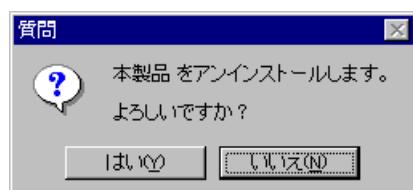


2 [スタート]([設定])[コントロールパネル]の順で選択してコントロールパネルを開き、[アプリケーションの追加と削除]を選択する

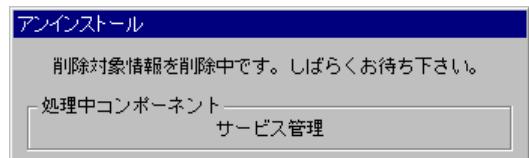


3 [Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ]を選択し、[追加と削除]をクリックする

4 [はい] をクリックする

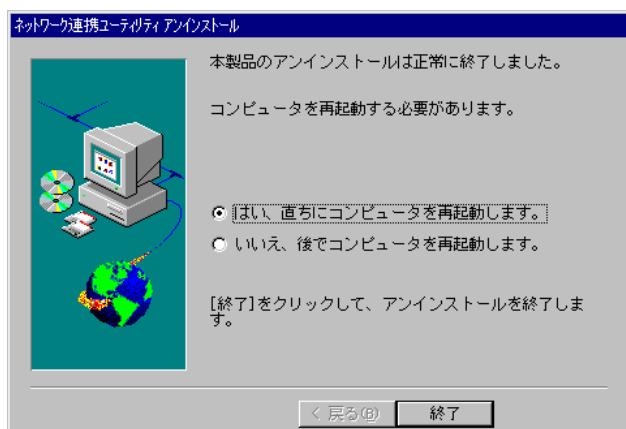


アンインストールが開始されます。



5 パソコンを再起動するかどうかを選択し、[終了] をクリックする

他の製品を続けてアンインストールするときは、[いいえ、後でコンピュータを再起動します] をクリックします。



▼ 環境設定

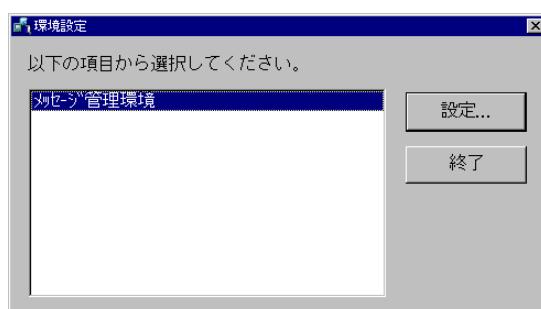
ネットワーク連携ユーティリティのメッセージ操作機能を利用するときに必要な環境設定について説明します。

■ サーバ側の設定

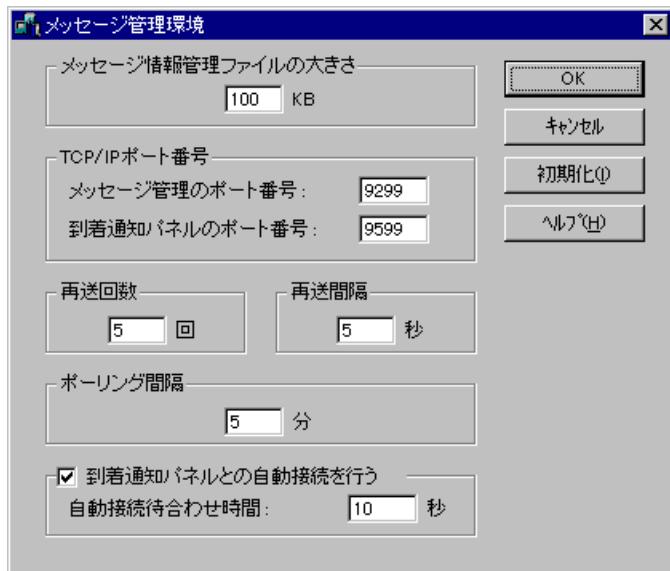
サーバ側で必要な設定のための操作と、設定内容について説明します。通常は、サーバ側の設定は不要です。

1 [Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ] グループから [環境設定] を起動する

[スタート] から、[プログラム] [Printianavi V3.1] [Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ] [環境設定] の順に選択します。



2 [メッセージ管理環境] を選択し、[設定] をクリックする
[メッセージ管理環境] ダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスの内容を設定するときは、次の点に注意してください。

ポート番号の設定 .. メッセージ管理のサーバと到着通知パネルで使用する TCP/IP のポート番号を設定します。クライアント（到着通知パネル）と同じポート番号を設定します。

初期値は「9299」と「9599」です。通常は変更する必要はありません。

その他の設定 メッセージ管理環境のその他の設定については、[メッセージ管理環境]のヘルプを参照してください。

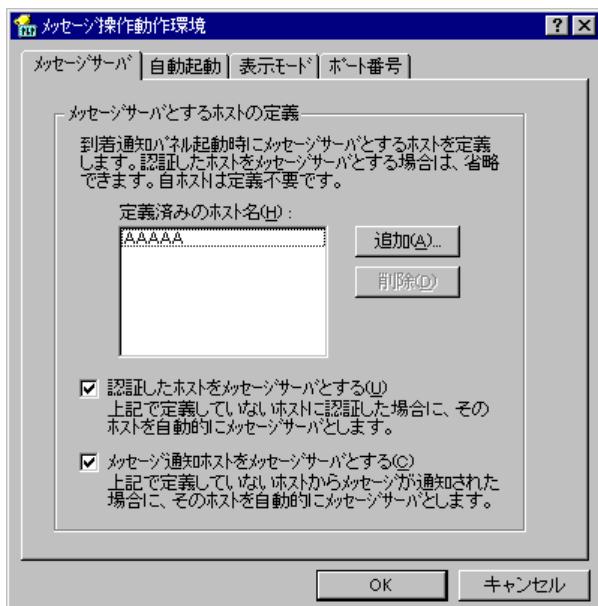
■ クライアント側の設定

クライアント側で必要な設定のための操作と、設定内容について説明します。

- 〔Printianaviネットワーク連携ユーティリティ〕グループから〔メッセージ操作動作環境〕を起動する
〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianaviネットワーク連携ユーティリティ〕〔メッセージ操作動作環境〕の順に選択します。

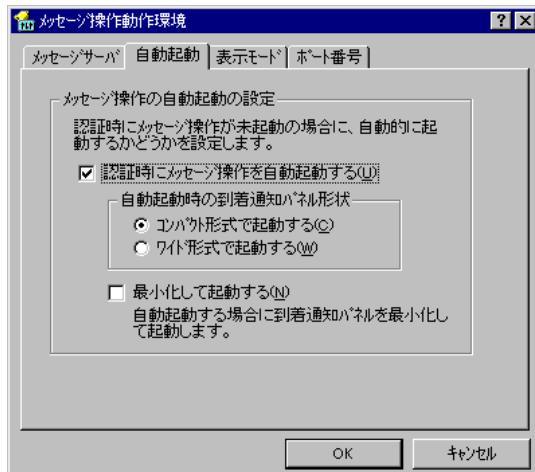
〔メッセージ操作動作環境〕プロパティシートが表示されます。
このプロパティシートには、4つのダイアログがあります。各ダイアログの内容を設定するときは、次の点に注意してください。

▶ [メッセージサーバ] ダイアログ



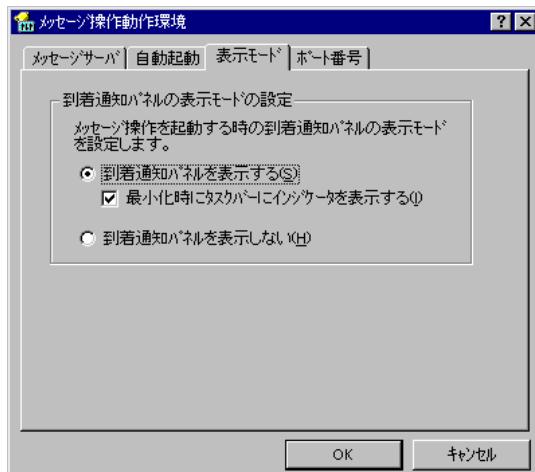
連携を行うメッセージサーバを登録します。〔メッセージ通知ホストをメッセージサーバとする〕をチェックすると、メッセージサーバとして定義していないプリントサーバで発生したメッセージも到着通知パネルに通知されます。通常はこの設定になっているため、メッセージサーバを定義しなくてもクライアントにメッセージが表示されるため、設定は不要です。メッセージサーバを特定したい場合は、〔メッセージ通知ホストをメッセージサーバとする〕のチェックをはずし、〔追加〕をクリックしてサーバ名を入力してください。サーバ名を入力しない場合は、サーバ上にメッセージが表示されます。

▷ [自動起動] ダイアログ



このダイアログの設定は通常は有効になりません。メッセージ操作を自動的に起動する場合は「[到着通知パネルの操作方法](#)」(174ページ)を参照してください。

▷ [表示モード] ダイアログ



メッセージ操作を起動するときの到着通知パネルの表示モードを指定します。

・ 到着通知パネルを表示する

メッセージ操作を起動する場合で、到着通知パネルを表示するときに選択します。

・ 最小化時にタスクバーにインジケータを表示する

到着通知パネルの最小化を指定した場合で、タスクバーに到着通知インジケータを表示するときチェックします。

・ 到着通知パネルを表示しない

メッセージ操作を起動する場合で、到着通知パネルを表示しないときに選択します。

▷ [ポート番号] ダイアログ



メッセージ操作（到着通知パネル）とメッセージ管理のサーバ側で使用するTCP/IPのポート番号を設定します。サーバ側と同じポート番号を設定します。初期値は「9299」と「9599」です。通常は変更する必要はありません。

■ クライアント専用機の設定 (Windows 98/95)

Windows 98/95 が動作するパソコンを、クライアントの専用端末にする場合に必要な操作について説明します。以降で説明する操作を行うと、サーバ機能は停止し、サーバ機能が使用するメモリ資源を解放します。

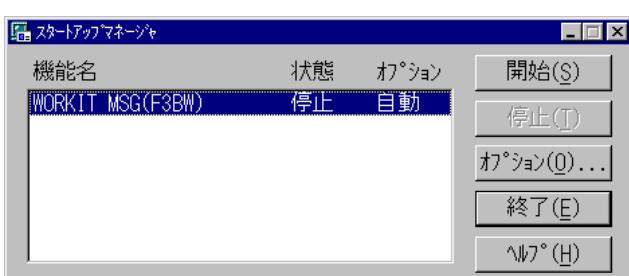
Windows NT4.0 の設定は、「[クライアント専用機の設定 \(Windows NT4.0\)](#)」(172 ページ) を参照してください。

1 パソコンを再起動する

ネットワーク連携ユーティリティをインストール後、パソコンを再起動します。

2 [スタートアップマネージャ] を起動する

[スタート] から、[プログラム] [Printianavi V3.1] [Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ] [スタートアップマネージャ] の順に選択します。



3 機能名から [WORKIT MSG (F3BW)] を選択し、[オプション] をクリックする



4 [オプションの種類] を
[手動] に変更し、[OK]
をクリックする



5 [終了] をクリックする
[スタートアップマネージャ] ダ
イアログボックスで [終了] を
クリックします。

6 [はい] をクリックする



上記の操作をせずにクライアント専用機として運用した場合
も、本ユーティリティの動作には、問題ありません。

■ クライアント専用機の設定 (Windows NT4.0)

Windows NT4.0 が動作するパソコンを、クライアントの専用端末にする場合に必要な操作について説明します。以降で説明する操作を行うと、サーバ操作は停止し、サーバ機能が使用するメモリ資源を解放します。

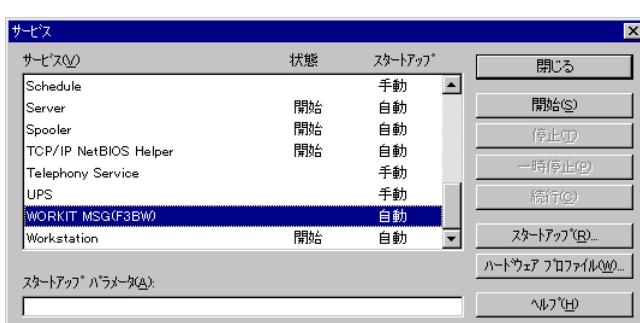
Windows 98 / 95 の設定は、「[クライアント専用機の設定 \(Windows 98/95 \(170 ページ\)\)](#)」を参照してください。

1 パソコンを再起動する

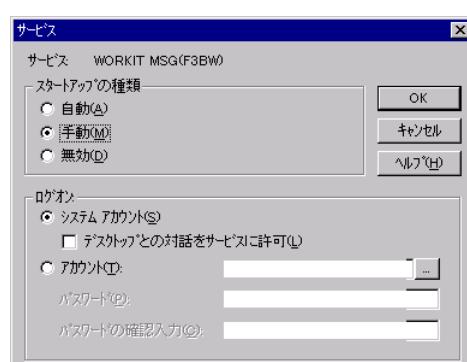
ネットワーク連携ユーティリティをインストール後、パソコンを再起動します。



2 [スタート] [設定] [コントロールパネル] の順で選択してコントロールパネルを開き、[サービス] を選択する



3 [WORKIT MSG (F3BW)] を選択し、[スタートアップ] をクリックする



4 [スタートアップの種類] を [手動] に変更し、[OK] をクリックする



5 [閉じる] をクリックする

6 コンピュータを再起動する



上記の操作をせずにクライアント専用機として運用した場合も、本ユーティリティの動作には、問題ありません。

▼ 到着通知パネルの操作方法

ネットワーク連携ユーティリティの到着通知パネルの操作方法について説明します。

到着通知パネルの起動

プリンタから送られてきたメッセージを画面上に表示させるには、到着通知パネルを起動する必要があります。

到着通知パネルの起動は、次の手順で設定します。

1 [スタート] から、[プログラム] ([Printianavi V3.1] ([Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ]) の順で開く

[到着通知パネルコンパクト]



2 [到着通知パネルコンパクト] または [到着通知パネルワイド] を選択する

[到着通知パネルワイド]



到着通知パネルの操作

通常、到着通知パネル上のアイコンは灰色で表示されています。このアイコンは、プリンタからメッセージが届くと点滅します。点滅するアイコンをクリックすると、ダイアログボックスが表示され、詳細な情報を見ることができます。

各アイコンの意味は次のとおりです。



通知メッセージアイコン



印刷が終了したときに表示されます。クリックすると通知されたメッセージを見ることができます。(Printianaviの設定で「印刷終了時にメッセージを通知する」が選択されているときのみ(「第3章 プリンタドライバの設定」の「Printianaviの設定」(107ページ)参照))



返答メッセージアイコン



エラーが発生したときに表示されます。クリックするとエラーメッセージを見ることができます。



- ・Windows の [スタートアップ] グループに到着通知パネルのショートカットを登録すると、Windows とともに到着通知パネルを起動できます。
- ・到着通知パネルを最小化して起動する場合は、到着通知パネルのショートカットアイコンのプロパティを開き、[ショートカット] プロパティシートの [実行時の大きさ] を「最小化」に設定します。
- ・[スタートアップ] グループや、[Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ] グループは、次のフォルダを参照してください。(Windows 98/95 を ¥WINDOWS フォルダ、Windows NT4.0 を ¥WINNT フォルダにインストールした場合)

[スタートアップ] グループ

Windows98/95:

¥WINDOWS¥スタート メニュー¥プログラム¥スタートアップ

Windows NT4.0:

¥WINNT¥PROFILES¥ALL USERS¥スタート メニュー

¥プログラム ¥スタートアップ

[Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ] グループ

Windows 98/95:

¥WINDOWS¥スタート メニュー¥プログラム¥Printianavi V3.1

¥Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

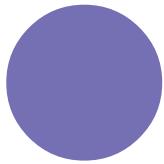
Windows NT4.0:

¥WINDOWS¥PROFILES¥ALL USERS¥スタート メニュー

¥プログラム ¥Printianavi V3.1¥Printianavi ネットワーク連携
ユーティリティ

第6章

Printianavi マネージャ



Printianavi マネージャは、ローカル、LAN接続、およびサーバ共有の Printianavi 対応 XL プリンタの情報参照や環境設定などを、パソコンから行えるようにします。この章では、Printianavi マネージャの使い方について説明します。

Printianavi マネージャをインストールする	178
動作環境と制限事項	178
必要なソフトウェアと設定	179
インストールの操作	180
インストール	180
管理者機能の追加・削除	183
アンインストール	185
再インストール	187
Printianavi マネージャの使い方	188
Printianavi マネージャを起動する	188
プリンタの状態や情報を表示する	192
プリントスプーラを操作する	194
管理者機能の使い方	195
ネットワークの設定を行う	195
ネットワーク情報の詳細	199

Printianavi マネージャをインストールする



動作環境と制限事項

▶ 動作環境

Printianavi マネージャは、次の環境で使用できます。

- ・OS が Windows 98/95/NT4.0

LAN接続されているプリンタまたはサーバの共有プリンタを管理する場合は、TCP/IP 環境が必要です。

▶ 制限事項

- ・本ソフトウェアは、XL プリンタ専用です。他のプリンタの情報参照や環境設定は行えません。
- ・情報参照や環境設定を行うプリンタは、すべて本ソフトウェアを起動するパソコンから印刷可能な設定になっている必要があります。Printianavi 対応の Printia XL プリンタドライバを必ずインストールしてください。

ただし、次のようなプリンタは、情報を取得できないため、エラー表示となります。

- ・NetWare 環境で使用している (TCP/IP 環境との共有も含む) プリンタ
- ・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティが正常に起動していないサーバの共有プリンタ

また、双方向機能が使用できない接続形態 (NetWare 接続など) のプリンタがエラー表示される場合、以下の方法で Printianavi マネージャのプリンター一覧表示から削除できます。

Windows 98/95

プリンタプロパティの [詳細] の「スプールの設定」で、「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」を選択してください。

Windows NT4.0

プリンタプロパティの [ポート] で、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してください。

▼ 必要なソフトウェアと設定

■ 必要なソフトウェア

・Printia XL ドライバ

本ソフトウェアとともに、Printia XL ドライバ（Printianavi）が必要です。

・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

プリンタをクライアント／サーバ接続した環境のときに必要です。

・Printianavi ネットワークポートモニタ

オンボードLAN搭載プリンタでLAN接続されているプリンタを使用する場合に必要です。

各ソフトウェアは、プリンタに添付されている CD-ROM の中にあります。

Printia XL ドライバのインストールについては、「[第2章](#)（29ページ）」
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストールについては、「[第5章](#)（155ページ）」
Printianavi ネットワークポートモニタのインストールについては、「[第4章](#)（131ページ）」を参照してください。

■ 必要な設定

・ネットワークプロトコル（TCP/IP）の設定

サーバの共有プリンタや LAN 接続されているプリンタの管理を行う場合は、TCP/IP 環境の設定が必要です。設定は、システム管理者が行います。

ネットワークのプロトコルは、TCP/IP を使用してください。

インストールの操作

ここでは、Printianaviマネージャのインストール方法やアンインストールの方法などを説明します。

それぞれの場合について、以下のページを参照してください。

- Printianavi マネージャがインストールされていない状態からインストールするとき
「[インストール](#)」（このページ）
- Printianavi マネージャをインストールした後に管理者機能を追加または削除するとき
「[管理者機能の追加・削除](#)」（183ページ）
- インストールされている Printianavi マネージャを削除するとき
「[アンインストール](#)」（185ページ）
- Printianavi マネージャを再インストールするとき
「[再インストール](#)」（187ページ）



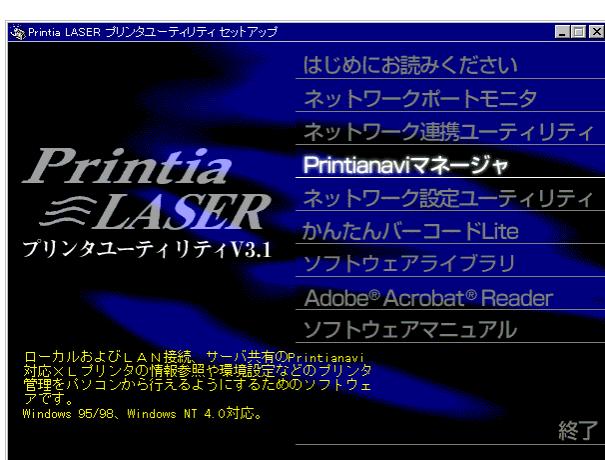
インストール

Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンに、Printianaviマネージャをインストールする操作について説明します。



インストールの前に、起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

- 1 Windows 98/95/NT4.0 を起動する
- 2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする



3 [Printianavi マネージャ] をクリックする



4 内容を確認し、[次へ]をクリックする



5 表示されたディレクトリにインストールしてよければ、[次へ]をクリックする

他のディレクトリにインストールするときは、[参照]をクリックして指定します。



インストール先のドライブに空き領域があることを確認して指定してください。



6 管理者機能をインストールするかしないかを選択して、[次へ]をクリックする

ガイド 管理者機能は、インストール後でも追加 / 削除できます。
(「管理者機能の追加・削除」(183ページ))



7 必要に応じてプログラム フォルダを変更し、[次へ]をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。



8 [完了]をクリックする

▼ 管理者機能の追加・削除

Printianaviマネージャインストール後に、管理者機能を追加／削除する操作について説明します。



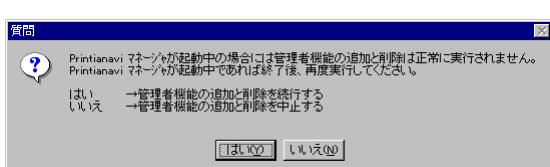
インストールの前に、Printianaviマネージャおよび起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

1 Windows 98/95/NT4.0 を起動する

2 追加と削除プログラムを起動する

本ソフトウェアがインストールされている状態で、

〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianavi マネージャ〕〔追加と削除〕の順に選択します。



3 Printianavi マネージャを起動していない場合は、〔はい〕をクリックする

Printianavi マネージャを起動している場合は、〔いいえ〕をクリックして処理を中止し、Printianavi マネージャを終了します。

4 処理を選択して、〔次へ〕をクリックする





5 [完了]をクリックする
指定した処理が実施され、処理
が終了したことを示すメッセー
ジが表示されるので、[完了]を
クリックします。
図は管理者機能を追加インス
トールした場合の例)

▼ アンインストール

Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンから、Printianavi マネージャをアンインストールする操作について説明します。

▶ お願い

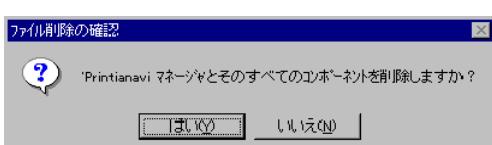
インストールの前に、Printianavi マネージャおよび起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

1 Windows 98/95/NT4.0 を起動する

2 アンインストールプログラムを実行する

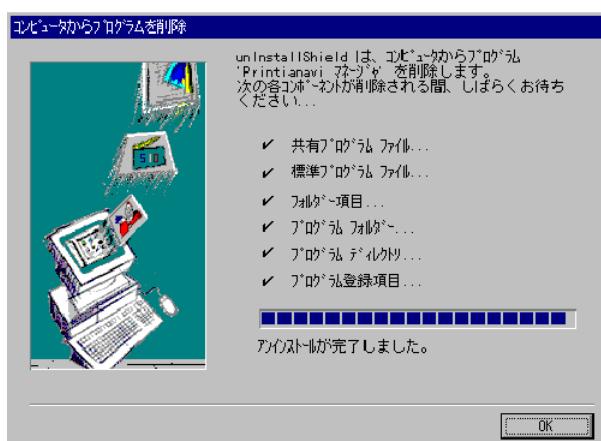
アンインストールプログラムを実行するには、次の 2 つの方法があります。

- 1 [スタート] から [プログラム] [Printianavi V3.1] [Printianavi マネージャ] [すべて削除] の順に選択します。
- 2 コントロールパネルの [アプリケーションの追加と削除] を起動し、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の「セットアップと削除」の一覧から [Printianavi マネージャ] を選択し、[追加と削除 (R) ...] をクリックします。



3 [はい] をクリックする

アンインストールが開始されます。



4 「アンインストールが完了しました」というメッセージを確認し、[OK] をクリックする

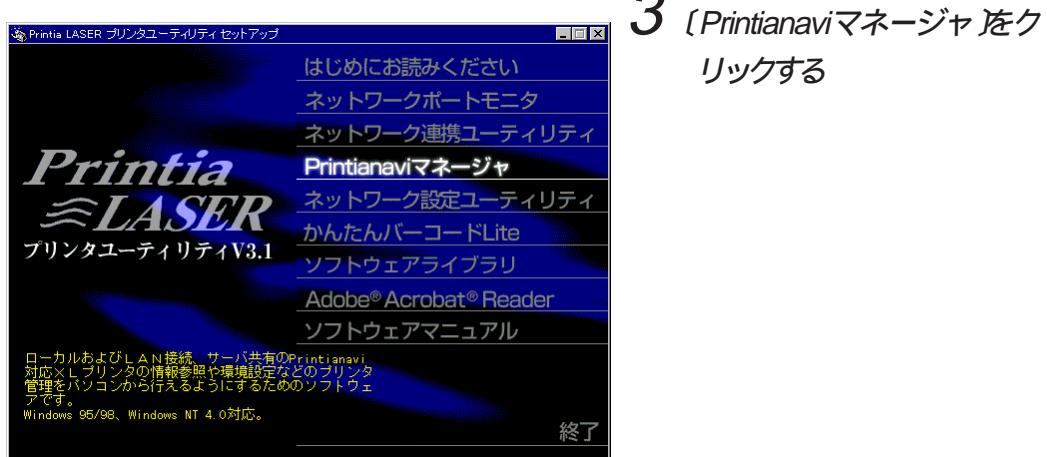
▼ 再インストール

Printianavi マネージャを再インストールする操作について説明します。

お願い

インストールの前に、Printianavi マネージャおよび起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

- 1 Windows 98/95/NT4.0 を起動する
- 2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする



- 3 (Printianaviマネージャ) をクリックする

すでにPrintianaviマネージャがインストールされている場合は、次の画面が表示されます。



- 4 「はい」をクリックする

Printianavi マネージャがアンインストールされます。

アンインストールが終了すると、続けてインストールを開始します。

インストール操作については、「インストール」の手順 4 (181 ページ) 以降と同様です。

Printianavi マネージャの使い方

Printianaviマネージャを起動し、情報表示や各設定を行う操作について説明します。

▼ Printianavi マネージャを起動する

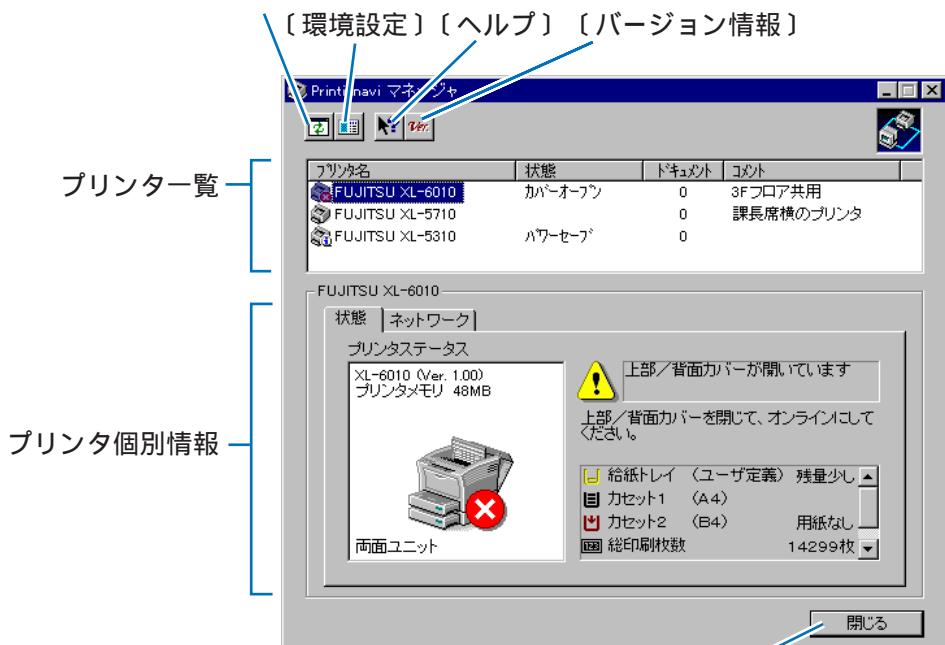
Printianavi マネージャを起動するには、次の 2 つの方法があります。

- ・ デスクトップに作成された[Printianaviマネージャ]のショートカットをダブルクリックする
- ・[スタート]から[プログラム][Printianavi V3.1][Printianaviマネージャ][Printianavi マネージャ]の順に選択する

■ 画面の説明

Printianavi マネージャを起動すると、次のような画面が表示されます。

〔最新の情報に更新〕



〔閉じる〕ボタン：
Printianaviマネージャを終了します。

▷ プリンター一覧

Windows 上に定義されたプリンタの一覧および状態を表示します。
(「[プリンター一覧](#)」(192 ページ) を参照してください。)

また、通常使うプリンタの指定やプリントスプーラの一時停止 / 印刷再開も行うことができます。(「[プリントスプーラを操作する](#)」(194 ページ) を参照してください)

▷ プリンタ個別情報

プリンター一覧で選択したプリンタの詳細情報を表示します。

〔状態〕 プリンタの状態や情報を表示します。

(「[プリンタ個別情報〔状態〕タブ](#)」(193 ページ) を参照してください。)

〔ネットワーク〕 プリンタのネットワーク環境の表示、設定を行います。(「[プリンタ個別情報〔ネットワーク〕タブ](#)」(195 ページ) を参照してください。)



〔ネットワーク〕タブは、管理者機能をインストールしたときのみ表示されます。

ツールバー

ツールバー上の各ボタンの機能について説明します。

 最新の情報に更新 クリックすると、プリンター一覧およびプリンタ個別情報の〔状態〕タブの情報を最新に更新します。

 環境設定 クリックすると、次の環境設定画面を表示します。



更新間隔 プ린ター一覧および〔状態〕タブ内の情報更新間隔（5秒～999秒）を設定します。初期値は、20秒です。

更新しない プ린ター一覧および〔状態〕タブ内の情報更新を行わないときにチェックします。



環境設定は、〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianavi マネージャ〕〔環境設定〕の順に選択してもできます。

 ヘルプ クリックするとマウスカーソルの形状がヘルプ形式のものとなります。この状態で説明を表示したいフィールドをクリックすると、ヘルプを表示します。

 バージョン情報 バージョン情報を表示します。

バージョン情報表示画面の中をクリックすると、表示を終了します。



▼ プリンタの状態や情報を表示する

■ プリンター一覧

Windows 上に定義されたプリンタのうち、XL プリンタの一覧を表示します。

プリンタ名	状態	ドキュメント	コメント
FUJITSU XL-6010	カバーオープン	0	3F フロア共用
FUJITSU XL-5710		0	課長席横のプリンタ
FUJITSU XL-5310	ハワーセーフ	0	



プリンター一覧には、XL プリンタのうち、以下の条件を満たすもののみ表示されます。

- ・プリンタプロパティで、双方向通信をするように設定されている。(Windows 98/95 のときは [詳細] ダイアログの「スプールの設定」、Windows NT4.0 のときは [ポート] ダイアログ)
- ・印刷可能なポートのうち、設定されている印刷先ポートが FILE や LPR ポート (Windows NT の場合) でないこと

また、Windows では同一ポートに複数のプリンタを定義することができますが、Printianavi マネージャで表示されるプリンタは混乱を避けるため、次のようにすることをおすすめします。

- ・実際に接続されていないプリンタを削除する
- ・実際に接続されていないプリンタの印刷先ポートをFILE:に変更し、Printianavi マネージャの管理対象から外す
例：LPT1 に XL-5310 と XL-5710 を定義しているが、実際に接続されているプリンタが XL-5710 のとき、XL-5310 を削除する

プリンタ名 プリンタの状態を示すアイコンの横にプリンタ名が表示されます。

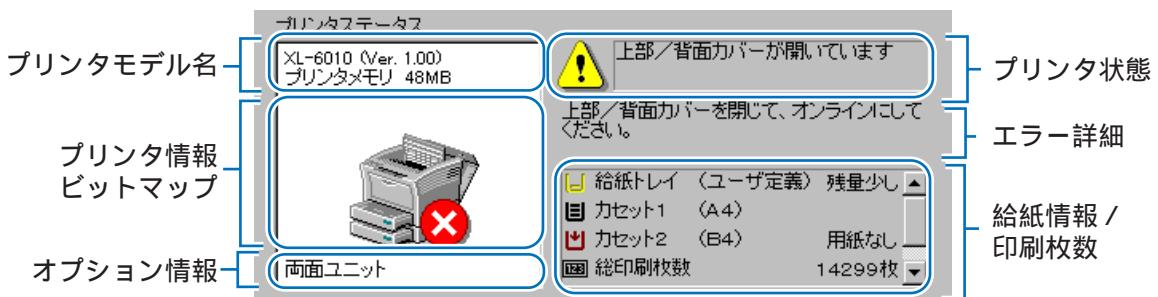
ここには、プリンタにつけた名前（プリンタのプロパティの [全般] または [情報] ダイアログに表示される名前）が表示されます。

また、この一覧で選択したプリンタは、プリンタ個別情報でさらに詳しい情報の参照や設定を行うことができます。

- 状態 プリンタの状態を表示します。
詳細については、[付録の「メッセージ一覧」\(259ページ\)](#)を参照してください。
- ドキュメント Printianavi マネージャを起動したコンピュータから印刷を行い、印刷中または印刷待ち状態となっているドキュメントの数を表示します。(ネットワークプリンタの場合は、プリンタサーバ上のスプーラ中に存在するドキュメントの数を表示します。)
- コメント プリンタのプロパティで入力されたプリンタのコメントを表示します。

■ プリンタ個別情報 ([状態] タブ)

参照したいプリンタをプリンター一覧から選択すると、詳細情報が [状態] タブに表示されます。
[状態] タブに表示される情報は、次のとおりです。



- プリンタモデル名 プリンタのモデル名、ファームウェアバージョン、メモリ容量を表示します。
- プリンタ情報ビットマップ プリンタの状態をビットマップで表示します。
- オプション情報 プリンタに装着されているオプションの情報を表示します。
- プリンタ状態 プリンタ本体のオペレータパネルの情報を表示します。
- プリンタとの双方向通信をできない場合は、その旨のエラーメッセージを表示します。
- エラー詳細 エラーの詳細やリカバリ方法を表示します。
- 給紙情報 / 印刷枚数 給紙カセット情報、総印刷枚数、および電源投入後の印刷枚数を表示します。

表示されるメッセージやアイコンの詳細については、[付録の「メッセージ一覧」\(259ページ\)](#)を参照してください。

▼ プリントスプーラを操作する

プリンター一覧から操作するプリンタを選択し、マウスの右ボタンをクリックすると、次のようなメニューが表示されます。

プリンタ名	状態	ドキュメント	コメント
FUJITSU	一時停止(A)	0	3Fフロア共用
FUJITSU	通常使うプリンタに設定(E)	0	課長席横のプリンタ
FUJITSU	プロパティ(B)	0	

各メニューの機能は、次のとおりです。

一時停止 スプーラの一時停止、印刷再開を行います。

一時停止状態のときは、メニューの前にチェックマーク(√)が表示されます。



プリント操作を行う権限のないユーザでログオンした場合や、サーバ共有のプリンタに対しては一時停止の操作は行えません。

通常使うプリンタに設定 通常使うプリンタに設定します。

通常使うプリンタに設定されているときは、メニューの前にチェックマーク(√)が表示されます。



[スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、プリンタを選択して[ファイル]メニューから「通常使うプリンタに設定」を選んでも同じ設定になります。

プロパティ プリンタのプロパティを表示します。

ただし、表示 / 設定できるダイアログは、次のように限定されます。(Windows 98/95/NT4.0)

用紙、レイアウト、グラフィックス、印刷オプションなど、ここで設定した内容は、Windows 98/95のときは「[プリンタのプロパティ](#)」(78ページ)、Windows NT4.0のときは「[ドキュメントの既定値プロパティ](#)」(82ページ)に反映されます。



Windows NT4.0のとき、一般ユーザは「ドキュメントの既定値」およびここで表示されるプロパティの内容は変更できません。

管理者機能の使い方

ここでは、管理者機能をインストールしたときに行える情報表示や各設定の操作について説明します。

▼ ネットワークの設定を行う

Printianaviマネージャに管理者機能をインストールすると、プリンタ個別情報に〔ネットワーク〕タブが追加表示されます。

〔ネットワーク〕タブでは、プリンタのネットワークに関する情報の参照や設定を行うことができます。

プリンタ一覧で設定または参照したいプリンタを選択して、プリンタ個別情報の〔ネットワーク〕タブをクリックしてください。

■ プリンタ個別情報（〔ネットワーク〕タブ）

プリンタ個別情報の〔ネットワーク〕タブに表示される情報と基本的な操作について説明します。



▷ ネットワーク情報を参照する

「表示項目」から参照する情報を選択すると、情報表示部にその情報が表示されます。

基本情報 ネットワークの基本情報を表示します。

TCP/IP 設定 TCP/IP の設定内容を表示します。

ポート番号 TCP/IP で使用するポート番号を表示します。

SNMP 設定 TCP/IP の SNMP コミュニティ情報を表示します。

トラップ 1 SNMP のトラップ通知に関する設定内容を表示しま
～トラップ 4 す。

情報 SNMP 設定内容を表示します。

NetWare 設定 NetWare の設定内容を表示します。

(NetWare 対応 XL プリンタのみ表示されます。)

各項目の詳細については、「ネットワーク情報の詳細」(199 ページ)を参照してください。

▷ ネットワーク情報を変更する

目的のネットワーク情報を表示し、設定を変更して〔更新〕をクリックします。変更した内容がプリンタに設定されます。

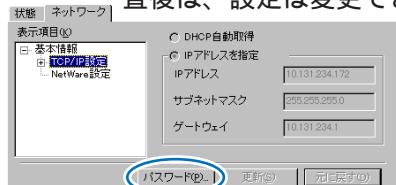
〔元に戻す〕をクリックすると、変更前の設定内容に戻します。



- ・ネットワーク情報を変更するには、プリンタに設定されたパスワードの入力が必要です。〔パスワード〕をクリックして、パスワードを入力してください。詳細については、「セキュリティについて」(197ページ)を参照してください。
- ・設定を行うプリンタが印刷中やエラー状態でないことを確認してください。
- ・TCP/IPの設定を変更すると、プリンタとの通信ができない場合があります。設定変更後に「プリンタからの応答がありません」と表示される場合は、プリンタ/パソコン双方のネットワーク設定を確認してください。

以下に画面遷移を示します。

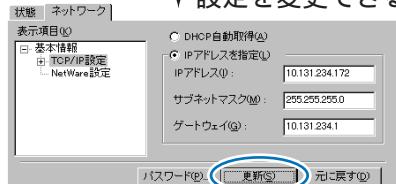
〔ネットワーク〕タブを表示した直後は、設定は変更できません。



↓ 〔パスワード〕をクリック

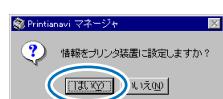


↓ パスワードを入力して〔OK〕をクリック
設定を変更できるようになります。

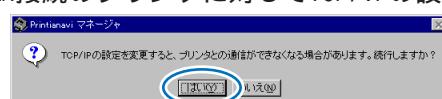


↓ 設定を変更し、〔更新〕をクリック

(LAN接続のプリンタに対してTCP/IPの設定変更時)



または



〔はい〕をクリックすると、変更内容がプリンタに反映されます。

▶お願い

- ・複数台のパソコンから同時にネットワーク設定の変更（更新）を行わないでください。設定変更に失敗する場合があります。
- ・ネットワーク設定の変更を行うと、プリンタは変更情報を反映するために初期化処理を行います。その際、プリンタが受信した印字データも初期化してしまいます。絶対にネットワーク設定変更中に印刷操作を行わないでください。
また、初期化処理終了後に文字化けなどの印刷異常が発生する場合があります。特にパラレルポートとLAN両方を接続した運用では注意が必要です。ネットワーク設定を変更する場合、必要のないポートのケーブルは外してください。

セキュリティについて

〔ネットワーク〕タブでは、ネットワーク情報の参照はできますが、設定を変更するには、パスワードの入力が必要です。

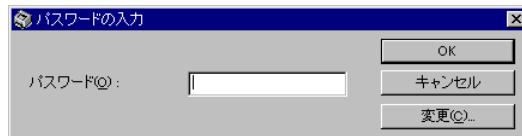
●ガイド

プリンタが工場出荷時の初期状態は、パスワードは設定されていません。

〔パスワードの入力〕ダイアログが表示されたら、「パスワード」には何も入力せず、〔変更〕をクリックして、パスワード設定してください。パスワードは、設定を行ったプリンタに記憶されます。プリンタが複数台ある場合は、それぞれ設定してください。

▶ パスワードを入力する

〔パスワード〕をクリックすると、〔パスワードの入力〕ダイアログが表示されます。



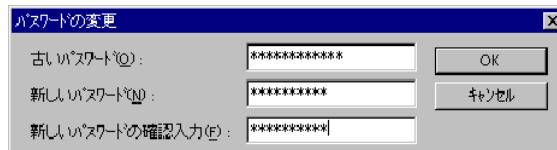
「パスワード」のボックスにパスワードを入力し、〔OK〕をクリックすると、プリンタにパスワードを確認します。パスワードが正しければ、設定を変更できるようになります。パスワードが誤っていると、再度、パスワード入力する画面が表示されます。

〔変更〕をクリックすると、〔パスワードの変更〕ダイアログが表示されます。(次項参照)

〔キャンセル〕をクリックすると、〔パスワードの入力〕ダイアログを閉じ、元の画面に戻ります。

▶ パスワードを変更する

〔パスワードの入力〕ダイアログで、〔変更〕をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



「古いパスワード」に、現在設定されているパスワードを入力します。(設定されていない場合は、何も入力しない。)

「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」に、変更後のパスワードを半角英数字15文字以内で入力します。

〔OK〕をクリックすると、プリンタにパスワードを確認します。パスワードが正しければ、「新しいパスワード」に入力したパスワードに変更されます。

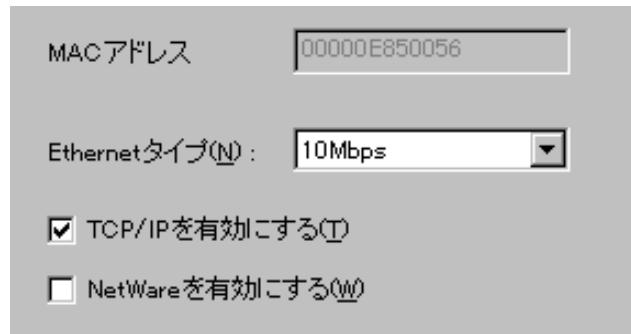
〔キャンセル〕をクリックすると、〔パスワードの変更〕ダイアログを閉じ、元の画面に戻ります。

▼ ネットワーク情報の詳細

情報表示部に表示される情報について説明します。

TCP/IP、NetWare 共通の設定

▷ 基本情報



MAC アドレス プリンタの MAC アドレスを表示します。変更はできません。

Ethernet タイプ プリンタの Ethernet タイプを次の中から設定します。

自動認識、10Mbps、100Mbps (Full)
100Mbps (Half)

TCP/IP を有効にする TCP/IP の使用、未使用を設定します。

NetWare を有効にする NetWare の使用、未使用を設定します。

(NetWare 対応 XL プリンタのみ表示されます。)

■ TCP/IP の設定

▷ TCP/IP 設定

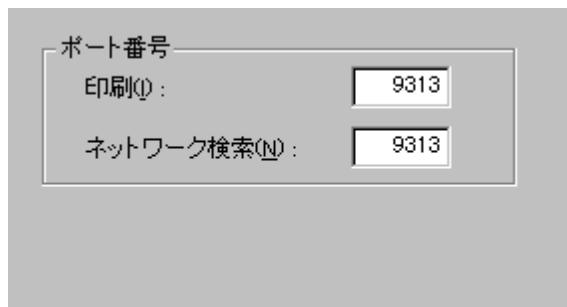


DHCP 自動取得 IP アドレスを DHCP より取得します。

IP アドレスを指定 IP アドレスを手動で指定します。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ
を、半角数字とピリオドで設定します。形式は、
「XXX.XXX.XXX.XXX」です。

▷ ポート番号



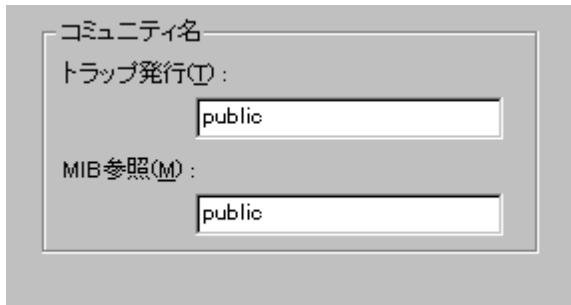
印刷 BPP 印刷用のポート番号を、半角数字で設定しま
す。初期値は 9313 です。

変更した場合は、ネットワークポートモニタの設
定も同じ値に変更する必要があります。(1 ~
65535 の範囲)

ネットワーク検索 ネットワーク情報取得用のポート番号を、半角数
字で設定します。

初期値は 9313 です。

▷ SNMP 設定



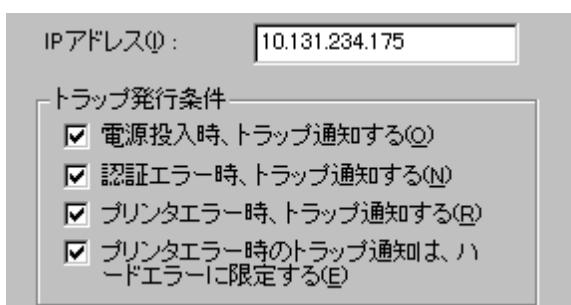
トラップ発行 トラップ発行時のコミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で設定します。

初期値は public です。

MIB 参照 MIB 参照時のコミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で設定します。

初期値は public です。

▷ トラップ 1 ~ トラップ 4



IP アドレス トラップ通知先の IP アドレスを設定します。

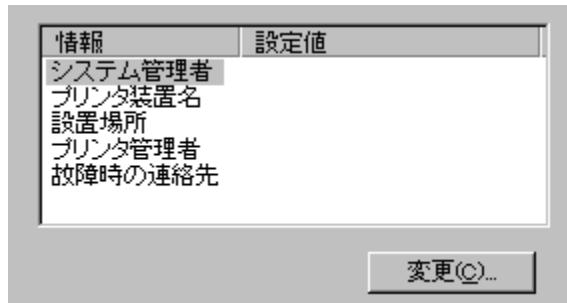
半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で設定してください。

トラップ発行条件 トラップ通知を行うときの条件を設定します。



「プリンタエラー時のトラップ通知は、ハードエラーに限定する」は、トラップ 1 ~ トラップ 4 まで同一設定となります。変更は、トラップ 1 の画面より行ってください。

▷ 情 報



情報を変更するときは、目的の情報を選択し、〔変更〕をクリックします。

システム管理者 SNMP マネージャに通知するシステム管理者名を半角 63 文字以内で設定します。

プリンタ装置名 SNMP マネージャに通知する装置名を半角 63 文字以内で設定します。

設置場所 SNMP マネージャに通知する設置場所を半角 63 文字以内で設定します。

プリンタ管理者 SNMP マネージャに通知するプリンタ管理者名を半角 63 文字以内で設定します。

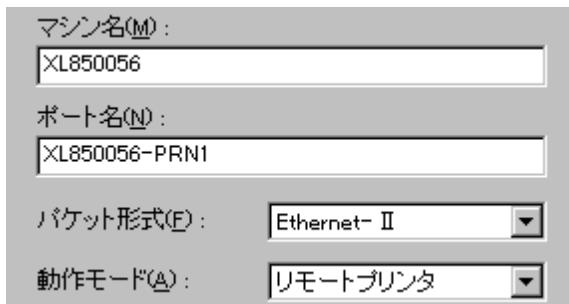
故障時の連絡先 SNMP マネージャに通知する故障時の連絡先を半角 63 文字以内で設定します。



情報の設定は、全角31文字以内での入力も可能ですが、お使いの環境によっては正しく表示されない場合がありますので、半角文字での入力をおすすめします。

NetWare の設定

NetWare 設定



- マシン名 マシン名を半角英数字 31 文字以内で設定します。
ポート名 プリンタの NetWare プリンタポート名を、半角英数字 31 文字以内で設定します。
パケット形式 プリンタが使用するパケットのフレームタイプを次の
中から設定します。
Ethernet- 、 802.3、 802.2、 SNAP
動作モード プリンタの動作モードをリモートプリンタモードとプ
リントサーバモードのどちらにするか設定します。



- Printianavi マネージャで設定できる内容だけでは、NetWare 環境で使用することはできません。NetWare 環境で使用するためには、Printianavi ネットワーク設定ユ
ティリティで設定を行ってください。詳細については、「[第 7 章](#)」および「[第 8 章](#)」を参照してください。
- NetWare 対応 XL プリンタ以外では NetWare の設定は行
えません。

■ エラー表示

情報を取得できなかったときには、次のエラーを表示します。

▷ 情報表示時

「プリンタからの応答がありません」

意味：プリンタの電源が投入されていない、あるいはプリンタとの接続ができていません。

対処：1. プリンタの電源を確認してください。

2. プリンタとの接続(プリンタケーブル、LANケーブル)が正しくされているか確認してください。

3. LAN接続の場合は、プリンタ装置と印刷先ポートのIPアドレスが同じになっているか確認してください。

「プリンタからの情報取得ができません」

意味：パソコン側の環境設定が異常です。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。

2. プリンタの設定を確認してください。

3. サーバ共有のプリンタの場合、サーバ上に「ネットワーク連携ユーティリティ」がインストールされていて、「Printianavi LM Rpcss」サービスが起動されていることを確認してください。

「システムエラーが発生しました」

意味：Printianavi マネージャで異常が発生しました。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。

2. 1.で復旧しない場合は、パソコンを再起動してください。

▷ 情報設定時

「プリンタからの応答がありません」

意味：情報設定中にプリンタの電源が切断された可能性があります。

対処：1. プリンタの電源を確認してください。

2. Printianavi マネージャを再起動し、再度設定し直してください。

「情報設定ができません」

意味：パソコン側の環境設定が異常です。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。

2. プリンタの設定を確認してください。

3. サーバ共有のプリンタの場合、サーバ上に「ネットワーク連携ユーティリティ」がインストールされていて、「Printianavi LM Rpcss」サービスが起動されていることを確認してください。

「プリンタ装置が他で使用中です」

意味：プリンタが他で使用中のため、設定できません。

対処：1. プリンタが他で使用されていないことを確認後、再度設定し直してください。

「システムエラーが発生しました」

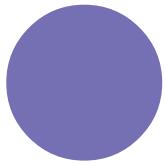
意味：Printianavi マネージャで異常が発生しました。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。

2. 1.で復旧しない場合は、パソコンを再起動してください。

第7章

Printianavi ネットワーク設定 ユーティリティ



Printianavi ネットワーク設定ユーティリティは、プリンタを LAN 経由で利用するために必要な設定を、パソコンから行えるようにします。この章では、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティの使いかたについて説明します。

本章の中では、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを「ネットワーク設定ユーティリティ」または「本ユーティリティ」と呼びます。

本書で説明するプリンタのうち、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティが使用できるのは、次のとおりです。

- XL-6010
- XL-5710 (プリンタ RAM モジュール増設時)

ネットワーク設定ユーティリティをインストールする 208

動作環境と制限事項 208

インストールの操作 209

ネットワーク設定ユーティリティの使いかた 211

ネットワーク設定ユーティリティを起動する 211

一覧の見かた 212

各メニューの機能 213

ネットワーク設定の詳細 219

TCP/IP の設定 219

NetWare の設定 221

ネットワーク設定ユーティリティをインストールする



動作環境と制限事項

▶ 動作環境

Printianaviネットワーク設定ユーティリティは、次の環境で使用できます。

- Windows 98/95およびNovell NetWare(Workstation Shell 4.0 and above [VLM])
- Windows 98/95 および Novell NetWare Client 32

▶ 制限事項

・本ユーティリティは、NetWare機能をサポートしていないプリンタでは使用できません。また、NetWare対応XLプリンタをNetWare環境でお使いになるには、プリンタのNetWareプロトコルが「有効」に設定されている必要があります。

・マイクロソフト製のNetWare互換のクライアントサービス(NetWare ネットワーククライアント)をインストールした環境では、互換クライアントがサポートしない関数を使用するため、正常に動作しません。

・NetWareファイルサーバの存在しないネットワークでは、使用しないでください。また、ルータ等を使用している場合、そのルータの仕様によっては正常に動作できない場合があります。

・本プリンタのプリンタドライバ(Printia XL ドライバ)を必ずインストールしてください。Printia XL ドライバをインストールしていない環境で Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを起動すると、「ライブラリファイル “ fjlcom.dll ” が見つかりません」のエラーが発生します。この状態では Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンタ状態表示が動作しません。

・プリンタの設定を変更するには、設定変更権限が必要です。
設定を変更する場合には SUPERVISOR でログインし、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを起動してください。

・Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ、Printianavi マネージャ、およびオペレータパネルから、プリンタのNetWareプロトコルを「無効」に設定すると、本プリンタは、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンタ一覧に表示されなくなります。

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンタ一覧にプリンタを表示して、設定等を行いたい場合には、オペレータパネルから、プリンタの NetWare プロトコルを「有効」に設定してください。

・NetWare 4.xJ の NDS モードには対応していません。バインダリモードで使用してください。

▼ インストールの操作

ネットワーク設定ユーティリティは、Windows 98/95 が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

1 Windows 98/95 を起動する

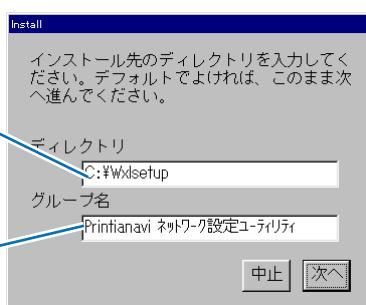
2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする



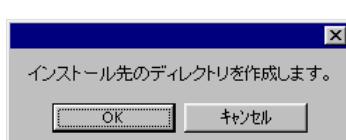
3 [ネットワーク設定ユーティリティ] をクリックする

本ユーティリティをインストールするディレクトリ

スタートメニューに登録するときのグループ名



4 インストール先のディレクトリと、登録するグループ名を指定し、[次へ] をクリックする



5 [OK] をクリックする



6 インストールする内容を確認し、[開始]をクリックする
必要なファイルがコピーされます。



7 [OK]をクリックする
左のウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックしてインストールを終了します。

ネットワーク設定ユーティリティの使いかた

ネットワーク設定ユーティリティを起動し、各設定を行う操作について説明します。

▼ ネットワーク設定ユーティリティを起動する

- 1 [Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ] グループから、[WXLSETUP ユーティリティ] を起動する
[スタート] から [プログラム][Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ] の順に選択します。



- 2 [OK] をクリックする
本ユーティリティ名称、バージョンなどが表示されます。
確認し、[OK] をクリックします。

プリンタの検索を開始します。
処理の進行状況が青いバーで表示されます。



検索が終わると、次のような一覧が表示されます。

機種名	MAC アドレス	IP アドレス	マシン名
XL-5710	00:00:0E:85:00:00	172.22.89.17	XL850000
XL-5710	00:00:0E:85:00:02	172.22.89.18	XL850002

▼ 一覧の見かた

プリントの情報
本ユーティリティから設定できる、ネットワーク上のプリンタの一覧を表示します。



▼ 各メニューの機能

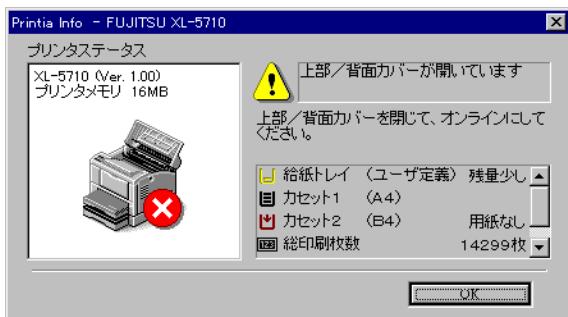
メニューバーから実行できる機能について説明します。

メニュー名に続く([])は、同じ機能をもつボタンを示します。

〔プリンタ〕メニュー

プリンタの状態の表示や、プリンタのリセットを行います。プリンタを選択した状態で、プルダウンメニューを選びます。

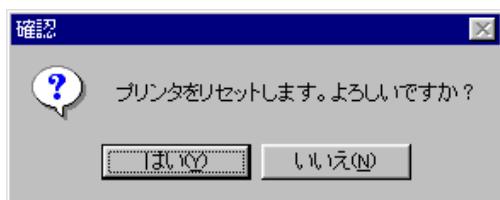
▷ プリンタ状態表示([状態])



プリンタの現在のステータスを表示します。表示内容は、一定時間ごとに自動的に更新されます。更新の間隔は、[環境設定]で変更できます。また、この画面は同時に複数開くことができます。(最大8枚)

● **ガイド** この機能は、Printia XL ドライバがインストールされているときのみ、動作します。

▷ プリンタリセット



プリンタをリセットします。[プリンタリセット]を選択すると、左の画面が表示されます。プリンタをリセットするときは、[はい]をクリックします。

▷ 終了([終了])

本ユーティリティを終了します。

〔表示〕メニュー

プリンタおよびネットワークの設定内容を表示します。

▷ システム情報表示

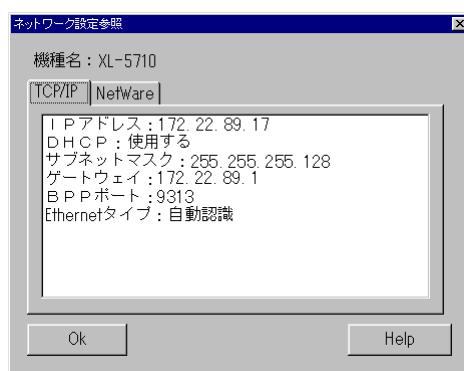


プリンタの内部状態に関するシステム情報を表示します。

▷ 再検索 (〔検索〕)

本ユーティリティを起動したときと同じように、ネットワーク上のプリンタを検索します。

▷ ネットワーク設定参照 (〔設定参照〕)



選択中のプリンタのネットワーク関係の設定内容を表示します。

〔設定〕メニュー

ネットワークおよび本ユーティリティの動作に関する設定を行います。

▷ ネットワーク設定 (〔設定〕)



ネットワークに関する各種の設定を行う画面を表示します。

この画面を表示するには、スーパーバイザでログインしている必要があります。スーパーバイザ以外の権限でログインしているときは、パスワードの入力が必要です。

TCP/IP プロトコル TCP/IP を使用するときはチェックします。

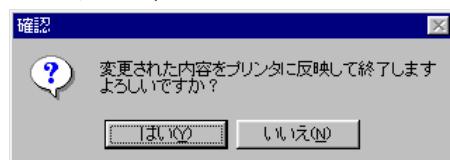
この項目をチェックして〔設定...〕をクリックすると、TCP/IPに関する設定画面が表示されます。(「TCP/IP の設定」(219 ページ) 参照)

NetWare プロトコル .. NetWare(IPX/SPX プロトコル)を使用するときはチェックします。この項目をチェックして〔設定...〕をクリックすると、NetWareに関する設定画面が表示されます。(「NetWare の設定」(221 ページ) 参照)

Ethernet タイプ設定 ... Ethernet のタイプを選択します。

設定終了 設定の変更結果をプリンタに登録します。

次の画面が表示されるので、変更結果を登録してよければ、〔はい〕をクリックします。

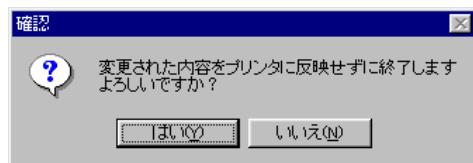


設定変更は、プリンタがオンライン状態(印刷処理中を除く)のときに可能です。

プリンタがオフライン状態(エラー状態を含む)や印刷処理中に設定変更を行うと、「通信エラー」となります。「通信エラー」が発生した場合は、プリンタの状態を確認し、再度、設定変更の操作を行ってください。

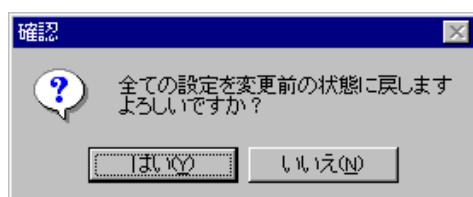
設定中断 設定を中止して、一覧に戻ります。これまでの変更内容は、無効になります。

次の画面が表示されるので、変更を中止してよければ、〔はい〕をクリックします。

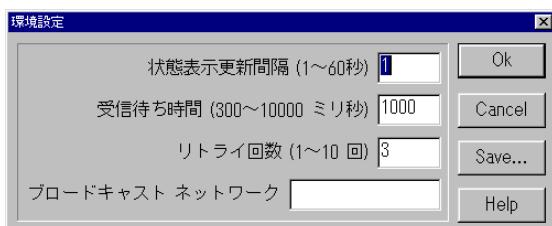


変更取消 変更前の設定内容に戻します。これまでの変更内容は無効になります。

次の画面が表示されるので、変更前の状態に戻してよければ、〔はい〕をクリックします。



▷ 環境設定



本ユーティリティの動作について設定する画面を表示します。

状態表示更新間隔 [プリンタ状態表示]メニューまたは[状態]で表示されるプリンタのステータスを更新する間隔を、1 ~ 60 秒の範囲で設定します。

受信待ち時間 プリンタの状態を受信するまでの待ち時間を設定します。ここで指定した時間データを受信しないときは、プリンタの異常(オフライン)とみなします。300 ~ 10000 ミリ秒の範囲で設定します。

リトライ回数 プリンタの状態を受信できないときに、受信を試みる回数を設定します。1 ~ 10回の範囲で設定します。

プロードキャスト ネットワーク プロードキャストネットワークに接続するときは、そのネットワーク名を指定します。

OK 設定の変更結果を一時的に保存して、一覧に戻ります。変更結果は、本ユーティリティを終了するまで有効です。

CANCEL 設定を中止して、一覧に戻ります。これまでの変更内容は、無効になります。

SAVE 設定の変更結果を登録して、一覧に戻ります。保存した内容は、本ユーティリティを次に起動したときも有効です。

▷ パスワード変更



パスワードを変更します。

「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力します。「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に、新たに設定するパスワードを入力します。

3か所のパスワードを入力して〔OK〕をクリックすると、パスワードが変更されます。

■ [ウィンドウ] メニュー

▷ 全てをアイコン化

現在開いているプリンタの状態を表示するウィンドウを、すべてアイコンにします。

▷ 全てをクローズ

現在開いているプリンタの状態を表示するウィンドウを閉じます。

■ [ヘルプ] メニュー

▷ 目次

ネットワーク設定ユーティリティのヘルプを表示します。

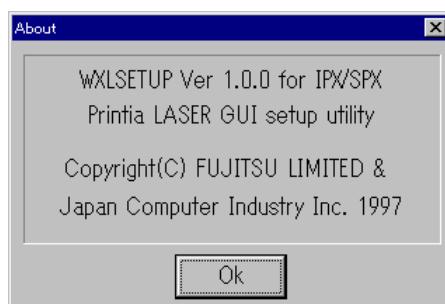
▷ この画面について

現在表示中の画面に関する説明を表示します。

▷ ヘルプの使い方

ネットワーク設定ユーティリティのヘルプの使いかたを表示します。

▷ バージョン



バージョン情報を表示します。

ネットワーク設定の詳細

〔ネットワーク設定〕メニューまたは〔設定〕で表示される画面で〔設定〕を押し、パスワードを入力すると、TCP/IP と NetWare それぞれについて設定できます。



TCP/IP の設定



IP アドレス プリンタの IP アドレスを設定します。

DHCP によるアドレス取得 ... IP アドレスを DHCP により自動的に取得する
( [ガイド参照](#)) ときは、チェックします。

サブネットマスク、.... それぞれ、プリンタのサブネットマスクとゲートウェイを設定します。

BPP ポート番号 BPP ポートのポート番号を指定します。
通常は、「9313」のまとします。

 ガイド

IP アドレスを自動取得するには、DHCP サーバ側で次の設定が必要です。

DHCP マネージャを開いて〔スコープ〕の〔作成〕を選択し、次の項目を設定します。

開始アドレス、終了アドレス、サブネットマスク、
リース期間（無期限を推奨）

設定が終わったら、スコープをアクティブにします。

さらに、獲得するIP アドレスを固定するために、次の設定を行なうことをお勧めします。

〔スコープ〕の〔予約の追加〕を選択し、次の項目を設定します。

IP アドレス 設定したいIP アドレス

一意の ID MAC アドレス

クライアント名 任意の名前

設定が終わったら、〔追加〕を選択して終了します。

▼ NetWare の設定

■ NetWare 基本設定



マシン名 NetWare環境上でのプリンタの識別子を、半角の英数字 31 文字以内で指定します。

パケット形式 使用するパケットのフレームタイプを指定します。

本プリンタには、フレームタイプを自動的に選択する機能があります。この場合、選択に時間がかかることがあるので、ここで設定するようしてください。

動作モード 使用する動作モードを、「リモートプリンタ」 「プリントサーバ」から選択します。

本プリンタには、動作モードを自動的に選択する機能があります。この場合、選択に時間がかかることがあるので、ここで設定するようにしてください。

リモートプリンタ詳細 ... リモートプリンタについて設定するウィンドウを表示します。(「リモートプリンタ詳細設定」(222 ページ) 参照)

プリントサーバ詳細 ... プリントサーバについて設定するウィンドウを表示します。(「[プリントサーバ詳細設定](#)」(223 ページ) 参照)

NetWare ポート名設定 ... NetWareポート名を設定するウィンドウを表示します。(「[NetWare ポート名設定](#)」(223 ページ) 参照)

リモートプリンタ詳細設定



プリントサーバ設定 ... 接続されるプリントサーバを、半角の英数字 31 文字以内で設定します。

プリントサーバが8台以上ある場合や、サーバの検索に時間がかかるときは、設定してください。

ジョブタイムアウト時間 プリンタが最後のパケットを受け取ってからプリンタポートを解放するまでの時間を設定します。

4 ~ 255 秒の範囲で設定します。初期値は 10 秒です。

■ プリントサーバ詳細設定



ファイルサーバ設定 ... 接続されるファイルサーバを、半角の英数字 31 文字以内で設定します。

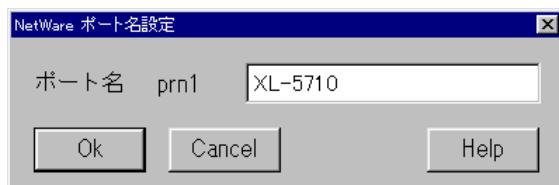
NetWare サーバが8台以上ある場合や、サーバの検索に時間がかかるときは、設定してください。

パスワード プリントサーバとしてファイルサーバにログインする際に使用する、パスワードを設定します。

半角の英数字 31 文字以内で指定します。

ジョブポーリング時間 ... プリントサーバとして動作中にキュー状態を調べる間隔を、2 ~ 255 秒の範囲で設定します。初期値は 4 秒です。

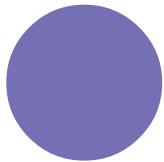
■ NetWare ポート名設定



NetWare プリンタポート名を設定します。

第8章

NetWare 印刷の設定



この章では、ノベル社の NetWare 4.xJ および NetWare 3.xJ 環境下で印刷するために必要な NetWare サーバやプリンタの設定について説明します。

本章の内容は、NetWare の基本的な知識や操作方法を理解している NetWare 管理者を対象としています。ノベル社の NetWare のマニュアルと併せてご覧ください。

本書で説明するプリンタのうち、NetWare 環境で使用できるのは、次のとおりです。

- XL-6010
- XL-5710(プリンタ RAM モジュール増設時)

NetWare 印刷について	226
プリントサーバモード	226
リモートプリンタモード	227
ネットワーク設定ユーティリティ使用時の留意事項	229
プリントサーバモードの設定 (NetWare 4.xJ 環境)	230
プリンタ側の設定	231
NetWare サーバ側の設定	233
リモートプリンタモードの設定(NetWare 4.xJ 環境)	239
プリンタ側の設定	240
NetWare サーバ側の設定	241
NetWare 3.xJ 環境での設定	244
プリンタ側の設定	245
サーバ側の設定	245
トラブルシューティング	249

NetWare 印刷について

NetWare 対応の XL プリンタは、ノベル社の NetWare 印刷環境に直接接続して印刷することができます。NetWare 4.xJ(バインダリモードのみ)、および NetWare 3.xJ を使用する場合に、次の 2 つの動作モードをサポートしています。



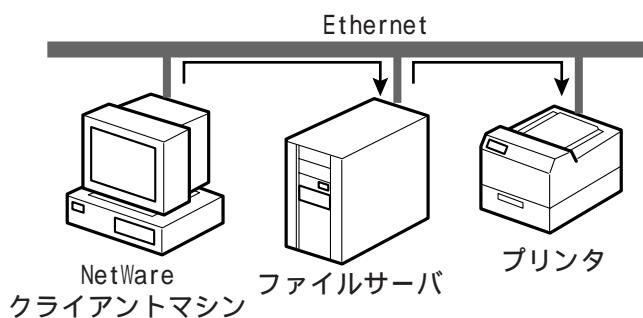
NetWare 4.xJ の NDS モードには対応していません。
バインダリモードでお使いください。



プリントサーバモード

他のプリントサーバ(ファイルサーバ上で動作するプリントサーバ機能やプリントサーバ専用のパソコン)を必要としないモードです。

プリントサーバモードでは、次の順序で印刷を行います。



- 1 NetWare クライアントマシンからファイルサーバ上に印刷ジョブをスプールする
- 2 プリンタがファイルサーバから直接ジョブを取り出す
- 3 取り出したデータを元に、印刷を実行する

▼ リモートプリンタモード

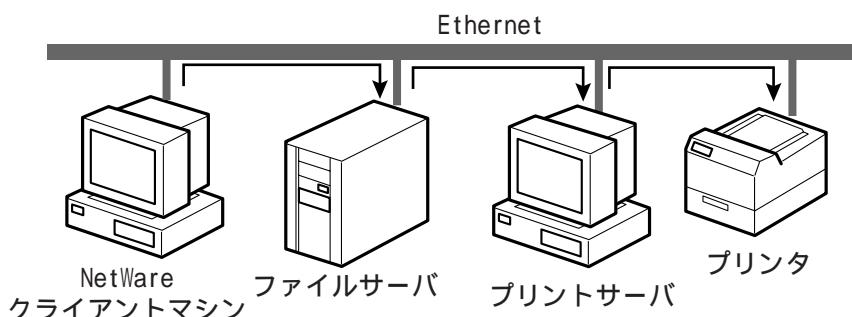
他のプリントサーバ(ファイルサーバ上で動作するプリントサーバ機能やプリントサーバ専用のパソコン)を必要とするモードです。通常のNetWareのプリント機能(PSERVER.NLMまたはPSERVER.EXE)を利用します。

リモートプリンタモードでは、次の順序で印刷を行います。

- 1 NetWare クライアントマシンからファイルサーバ上に印刷ジョブをスプールする
- 2 プリントサーバ(ファイルサーバ上で動作するプリントサーバ機能やプリントサーバ専用のパソコン)がファイルサーバからジョブを取り出す
- 3 プリントサーバがプリントキューに割り当てられたプリンタにジョブを転送する
- 4 転送されたデータを元に、印刷を実行する

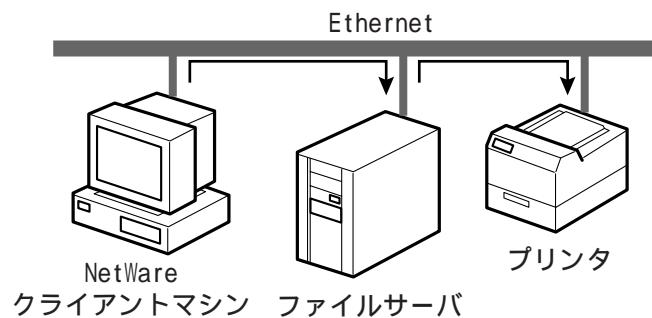
■ PSERVER.EXE を使用した場合のジョブの流れ

1台のパソコンが専用のプリントサーバになります。



■ PSERVER.NLM を使用した場合のジョブの流れ

ファイルサーバがプリントサーバの機能を持ちます。

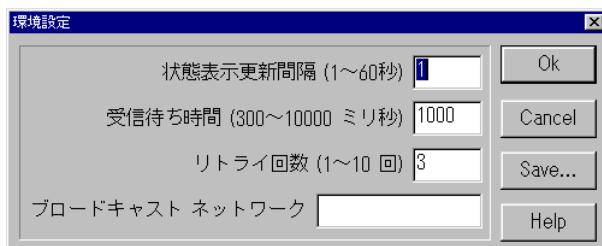


ネットワーク設定ユーティリティ 使用時の留意事項

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティで NetWare に関する設定を行うときは、次の点に留意してください。

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティの操作、および設定内容については、「[第7章 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ \(207 ページ\)](#)」を参照してください。

- NetWare 対応 XL プリンタを NetWare 環境で使用するには、プリンタの NetWare プロトコルが「有効」に設定されている必要があります。また、NetWare 機能をサポートしていないプリンタでは、ご使用になれませんのでご注意ください。
- NetWare に関する設定は、スーパーバイザまたはアドミニストレータの権限で NetWare サーバにログインして行います。
- アドミニストレータでログインしたときは、アドミニストレータが [Root] にいる場合に限り、設定ができます。
- Printianavi ネットワーク設定ユーティリティは、ファイルサーバおよびプリントサーバが正常に立ち上がった状態で使用してください。
- 本プリンタの電源は、ファイルサーバ、プリントサーバが立ち上がってから入れてください。電源が入っていない場合、設定が行えません。
- ネットワーク上に NetWare ファイルサーバが多数ある場合、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティの一覧に表示されないことがあります。このときは、[設定] メニューから [環境設定] を選択し、「プロードキャストネットワーク」の項目に、本プリンタが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、[Save] ボタンをクリックします。その後、一覧で [検索] ボタンをクリックすれば、設定した NetWare ネットワークアドレス内の本プリンタのみが検索されます。



プリントサーバモードの設定 (NetWare 4.xJ 環境)

NetWare 4.xJ 環境で本プリンタをプリントサーバモードで使用するときの、プリンタ側とNetWare サーバ側の環境設定について説明します。

必要な設定項目

次の項目について、設定が必要です。

▶ プリンタ側

- ・NetWare ポート名の設定
- ・マシン名の設定

▶ NetWare サーバ側

- ・キュー作成
- ・プリントサーバの作成（本プリンタに設定したマシン名を登録）
- ・プリントサーバのプリンタの構成を設定（名前に本プリンタに設定したNetWare ポート名を指定）
- ・サービスキューリストへの登録

設定例

以降の説明では、設定例として、次の名称および設定値を使用します。

マシン名（プリントサーバ名）	XL5710
NetWare ポート名（プリンタ名）	XL5710-PRN
パケット形式	802.2
サーバへのログインパスワード	なし
印刷ジョブのポーリング間隔	4 秒
ファイルサーバ名	FS1
キュー名(PSERVER)	XL5710-Q
ファイルサーバのNDS ツリー	MH
本プリンタを接続するNDS コンテキスト	RD.MH

▼ プリンタ側の設定

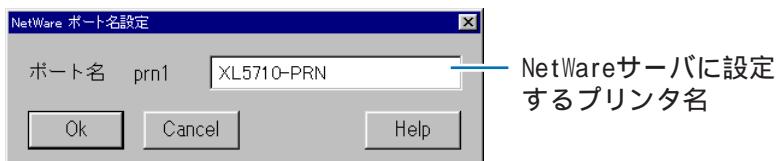
本プリンタをプリントサーバモードで使用するときの、プリンタ側の環境設定について説明します。

Printianaviネットワーク設定ユーティリティの各画面で次のように設定します。

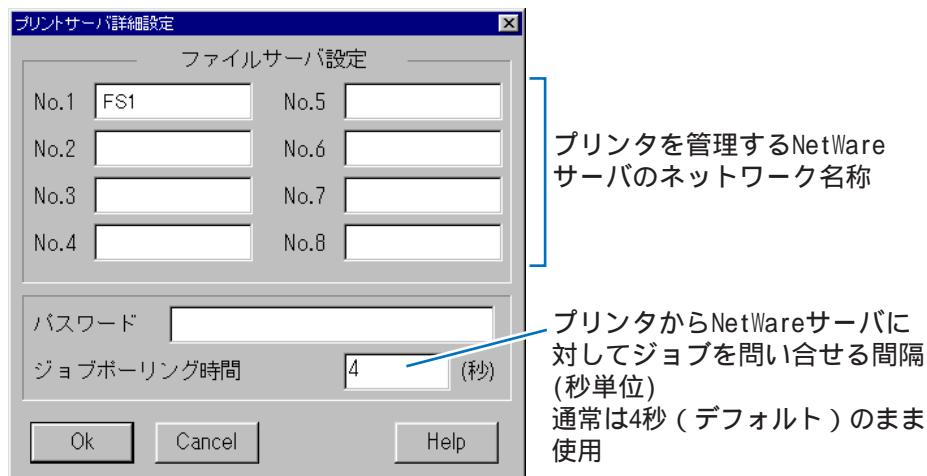
▷ NetWare 基本設定



▷ NetWare ポート名設定



▷ プリントサーバ詳細設定



ジョブポーリング時間の値が小さすぎると、ネットワークの負荷が大きくなります。また、値が大きすぎると、印刷のレスポンスが悪くなります。

▼ NetWare サーバ側の設定

本プリンタをプリントサーバモードで使用するときの、サーバ側の環境設定について説明します。

以降の説明は、NetWare 4.1Jのものです。ご使用のバージョンにより、メニューの表示などが異なることがあります。

■ バインダリモードの設定

本プリンタをNetWare 4.xJ環境でプリントサーバモード(バインダリモード)で使用するときの、NetWareサーバ側の環境設定について説明します。

F:¥>login FS1/supervisor/B

1 ファイルサーバにバインダリモードでログインし、PCONSOLEを起動する

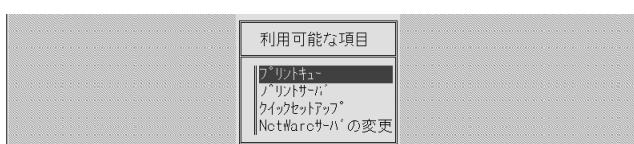
NetWare クライアントマシンからバインダリモードのスーパー管理者で、ファイルサーバにログインします。ここでは、ファイルサーバ「FS1」にログインします。ログインコマンド実行後、パスワードを入力します。



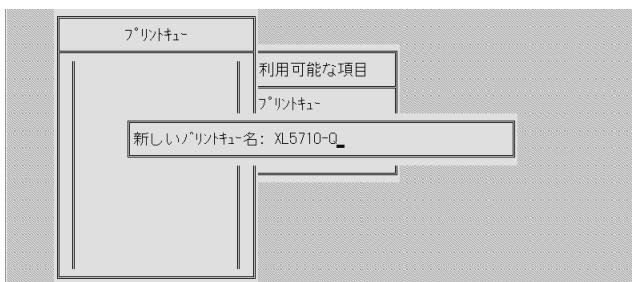
プリンタに設定した「ファイルサーバ名」と同じファイルサーバにログインしてください。

F:¥>pconsole

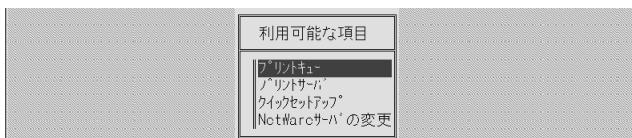
2 PCONSOLEを起動する



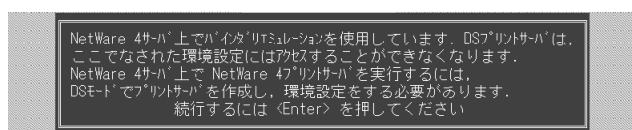
3 [プリントキュー]を選択して、[Insert]キーを押す



4 「新しいプリントキュー名」に任意のキュー名を入力する(ここでは、「XL5710-Q」)



5 「プリントサーバ」を選択する



6 左のメッセージが表示されたら、内容を確認して[Enter]キーを押す

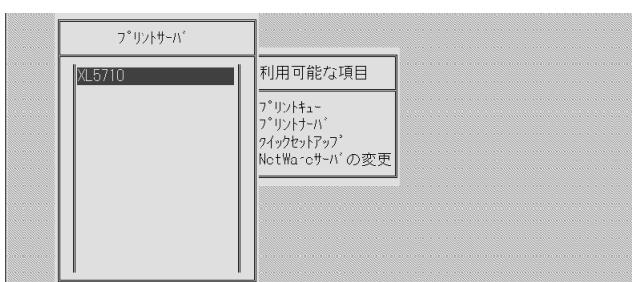


7 「プリントサーバ」で[Insert]キーを押し、「新しいプリントサーバ名」に本プリンタに設定したマシン名を入力する(ここでは、「XL5710」)

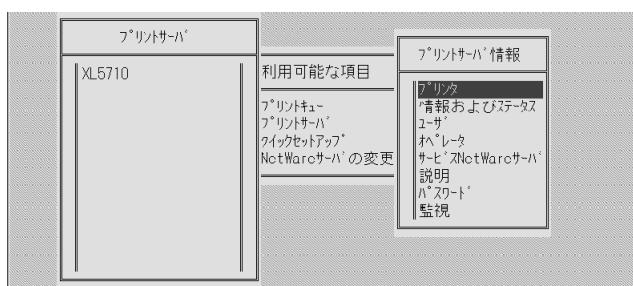
入力した「新しいプリントサーバ名」が「プリントサーバ」に登録されます。



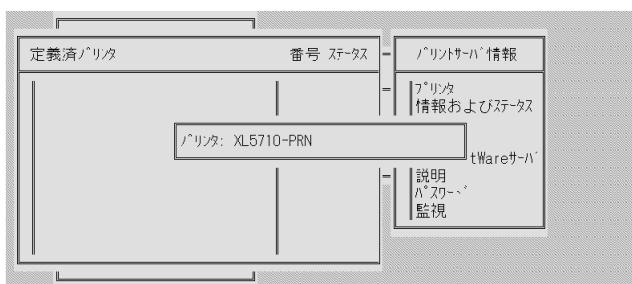
ファイルサーバに設定する「新しいプリントサーバ名」と本プリンタに設定された「マシン名」は、必ず一致させてください。一致していないと、本プリンタがファイルサーバにアクセスすることができなくなります。



8 「プリントサーバ」に登録したプリントサーバを選択する



9 「プリンタ」を選択する

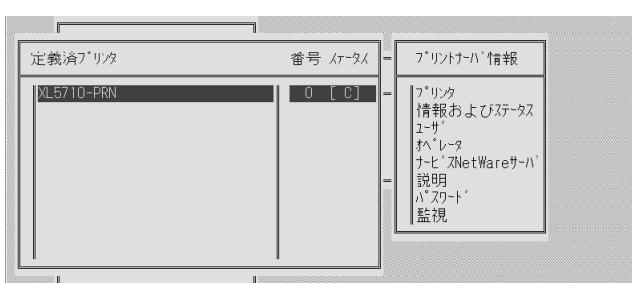


10 [Insert] キーを押して、
プリンタに設定した
「NetWare ポート名」を
入力する(ここでは、
「XL5710-PRN」)

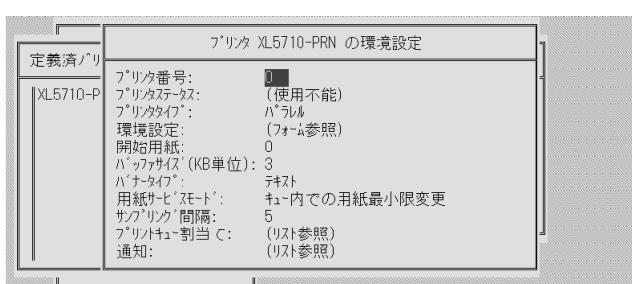
入力した「プリンタ名」が「定
義済みプリンタ」に登録されま
す。



ファイルサーバに設定する「プリンタ名」は、本プリンタに
登録した「NetWare ポート名」と一致させてください。一致
していない場合は、印刷を実行した際に、ファイルサーバか
らプリンタに印刷データが転送されなくなります。



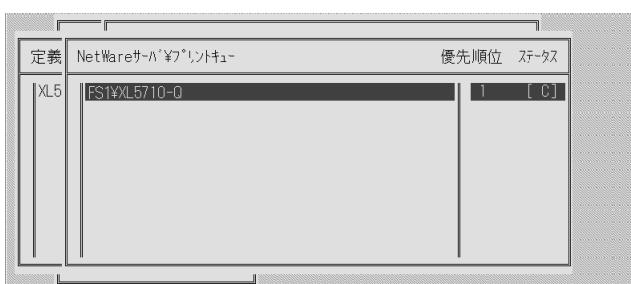
11 登録したプリンタを選択する



12 「プリントキュー割当て」 を選択する



13 [Insert]キーを押し、「使用可能なプリントキュー」から登録した「プリントキュー」(ここでは「XL5710-Q」)を選択する



14 左のように表示されたら、P_CONSOLEをいつたん終了する

F:¥>cx MH

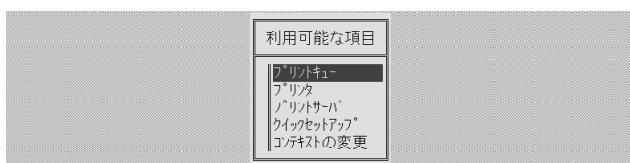
15 ファイルサーバからいつたんログアウトし、CXコマンドを使って、ADMINが存在するコンテキスト(ここでは「MH」)へ移動する

F:¥>login FS1/admin

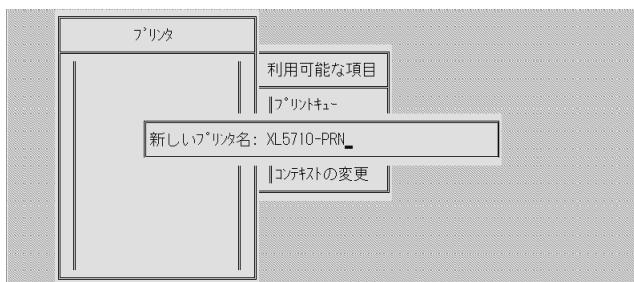
16 NDSモードのADMINでファイルサーバにログインし直す

F:¥>cx RD
F:¥>pconsole

17 CXコマンドを使い、バインダリコンテキストで指定したコンテキスト(ここでは「RD.MH」)へ移動し、P_CONSOLEを起動する



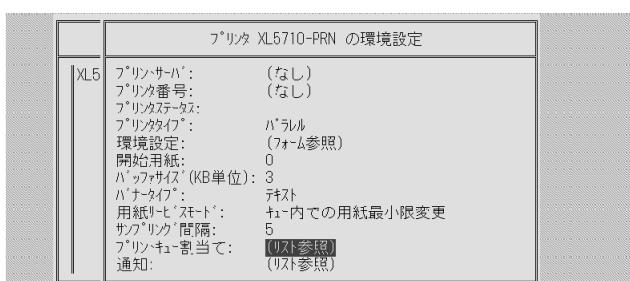
18 「プリンタ」を選択する



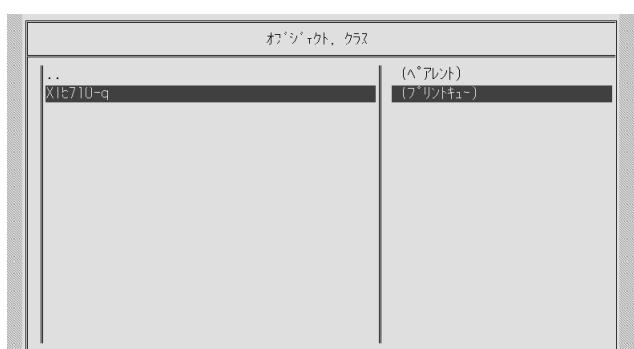
19 [Insert] キーを押し、プリンタに登録した NetWare ポート名(ここでは「XL5710-PRN」)を入力する



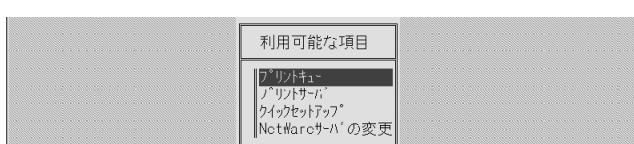
ファイルサーバに設定する「プリンタ名」は、本プリンタに登録した「NetWare ポート名」と必ず一致させてください。



20 登録した「プリンタ」を選択し、[プリントキュー割当]を選択します。



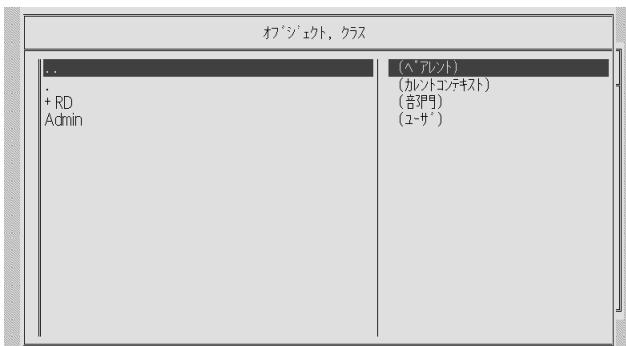
21 プリントキューの一覧で [Insert] キーを押し、バインダリモードで作成したキュー(ここでは、「XL5710-Q」)を選択する



22 「利用可能な項目」に戻り、[プリントキュー]を選択する



23 [Insert] キーを押す



24 ユーザまたはディレクトリを指定する

25 PCONSOLE を終了し、プリンタの電源を入れ直す。

プリンタの電源を入れ直した後、ファイルサーバの「NetWare4.1 コンソールモニタ」上に設定したプリントサーバ名(マシン名、ここでは「XL5710」)が表示されればファイルサーバへの接続は完了です。

ファイルサーバへ接続されない場合は、再度電源を入れ直してください。それでも接続されない場合は、ファイルサーバおよびプリンタの設定内容を確認してください。

リモートプリンタモードの設定 (NetWare 4.xJ 環境)

NetWare 4.xJ 環境で本プリンタをリモートプリンタモードで使用するときの、プリンタ側と NetWare サーバ側の環境設定について説明します。

■ 必要な設定項目

次の項目について、設定が必要です。

▷ プリンタ側

- ・NetWare ポート名の設定
- ・マシン名の設定（任意文字列）

▷ NetWare サーバ側

- ・キュー作成
- ・プリントサーバの作成
- ・プリントサーバのプリンタの構成を設定（名前に本プリンタに設定した NetWare ポート名を指定）
- ・サービスキューリストへの登録

■ 設定例

以降の説明では、設定例として、次の名称および設定値を使用します。

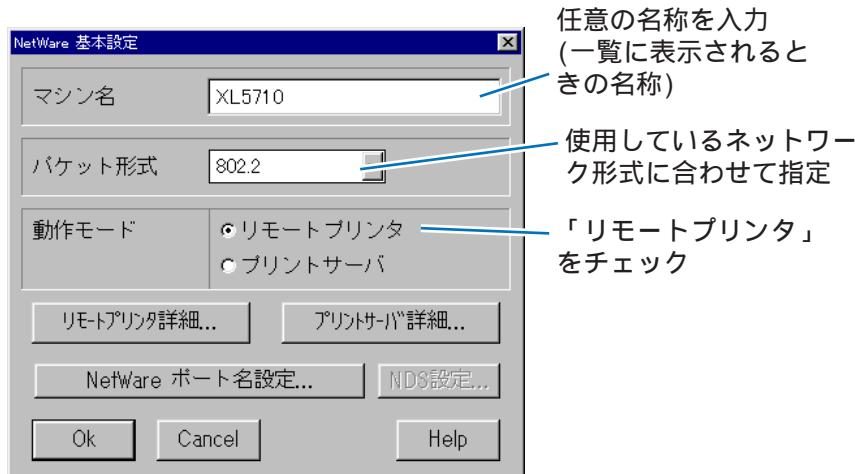
マシン名	XL5710（任意）
プリンタポート名（プリンタ名）.....	XL5710-PRN
パケット形式	802.2
印刷ジョブのタイムアウト	10 秒
サーバに登録されているプリントサーバ名	PSERVER1
キュー名(PSERVER)	XL5710-Q

▼ プリンタ側の設定

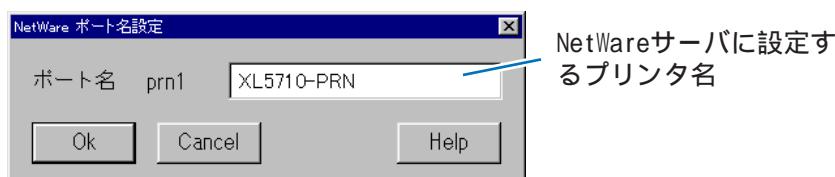
本プリンタをリモートプリンタモードで使用するときの、プリンタ側の環境設定について説明します。

Printianaviネットワーク設定ユーティリティの各画面で次のように設定します。

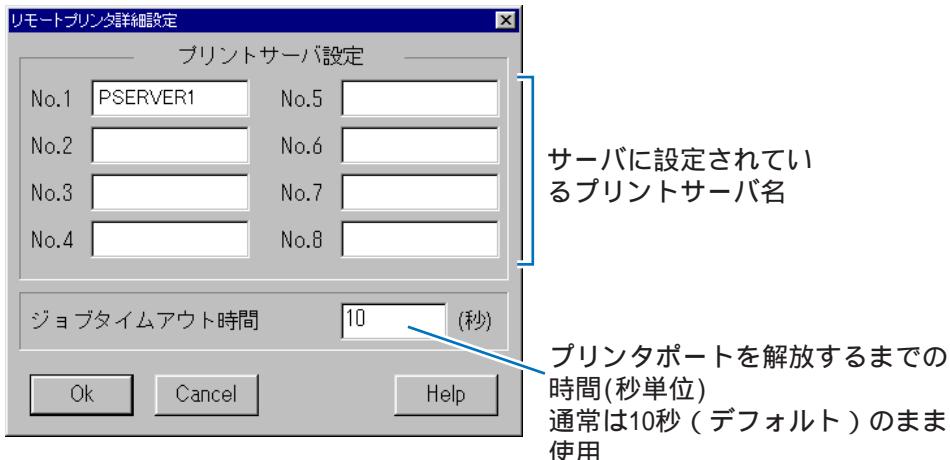
▷ NetWare 基本設定



▷ NetWare ポート名設定



▷ リモートプリンタ詳細設定



ジョブタイムアウト時間の値が小さすぎると、パケットが遅れた場合などにジョブの完了と誤認しやすくなります。また、値が大きすぎるとプリンタの解放が遅くなり、TCP/IP プロトコルやセントロニクスケーブルでの印刷時間に影響を與えます。

▼ NetWare サーバ側の設定

本プリンタをプリントサーバモードで使用するときの、サーバ側の環境設定について説明します。

以降の説明は、NetWare 4.1J のものです。ご使用のバージョンにより、メニューの表示などが異なることがあります。

F:>cx MH

1 CX コマンドを使って、ADMIN が存在するコンテキスト(ここでは、「MH」)へ移動する

F:>login FS1/admin

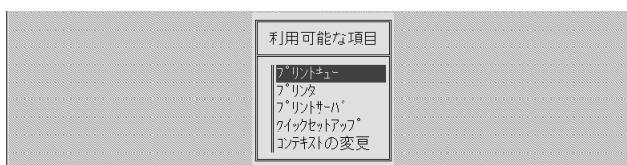
2 NDS モードのADMIN でファイルサーバにログインし直す

F:¥>cx RD

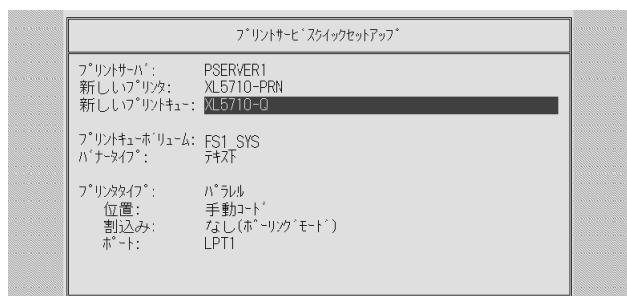
3 CXコマンドを使い、プリントサーバ、プリンタ、プリントキューを作成するコンテキスト(ここでは「RD.MH」)へ移動する

F:¥>pconsole

4 PCONSOLEを起動する



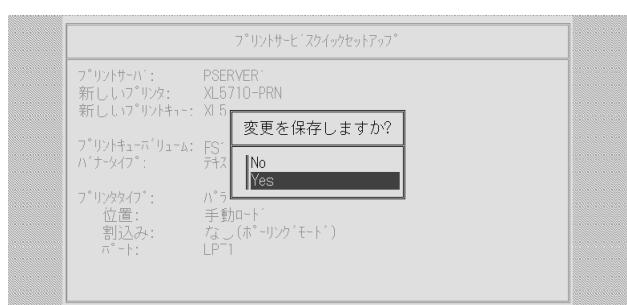
5 「クイックセットアップ」を選択する



6 「プリントサーバ」「新しいプリンタ」「新しいプリントキュー」を入力する



ファイルサーバに登録する「プリンタ」と、本プリンタに登録した「NetWare ポート名」は、必ず一致させてください。



7 設定を保存して PCONSOLEを終了する

:LOAD PSERVER

8 ファイルサーバコンソールでプリントサーバを再起動する

:UNLOAD PSERVER

:LOAD PSERVER

プリントサーバが起動している場合は、プリントサーバを利用しているユーザがいないことを確認の上、プリントサーバを再起動してください。

9 「プリントサーバ名の入力」で登録したプリントサーバ名(ここでは、「PSERVER1.RD.MH」)を設定し、[Enter]キーを押す

10 プリントサーバが起動したら、プリンタの電源を入れる

11 「プリンタステータス」を選択し、接続状態が「プリントジョブ待機中」となっていることを確認する

「プリントジョブ待機中」にならない場合は、ファイルサーバおよびプリンタの設定を確認してください。

NetWare 3.xJ 環境での設定

NetWare 3.xJ 環境で本プリンタをご使用するときの、プリンタ側と NetWare サーバ側の環境設定について説明します。

必要な設定項目

次の項目について、設定が必要です。

▶ プリンタ側

- ・NetWare ポート名の設定
- ・マシン名の設定

▶ NetWare サーバ側

- ・キュー作成
- ・プリントサーバの作成（本プリンタに設定したマシン名を登録）
- ・プリントサーバのプリンタの構成を設定（名前に本プリンタに設定した NetWare ポート名を指定）
- ・サービスキューリストへの登録

設定例

以降の説明では、設定例として、次の名称および設定値を使用します。

▶ NetWare 基本設定

- マシン名（プリントサーバ名）..... XL5710
プリンタポート名（プリンタ名）..... XL5710-PRN
パケット形式 802.2
キュー名(PSERVER) XL5710-Q

▶ プリントサーバモードで使用するとき

- 本プリンタを接続するサーバ名 FS1
サーバへのログインパスワード なし
印刷ジョブのポーリング間隔 4 秒

▶ リモートプリンタモードで使用するとき

- サーバに登録されているプリントサーバ名 PSERVER1
印刷ジョブのタイムアウト 10 秒

▼ プリンタ側の設定

NetWare 3.xJ 環境で本プリンタを使用するときのプリンタ側の環境設定は、NetWare 4.xJ 環境下のときと同じです。「[プリンタ側の設定](#)」(231, 240 ページ)をご覧ください。

▼ サーバ側の設定

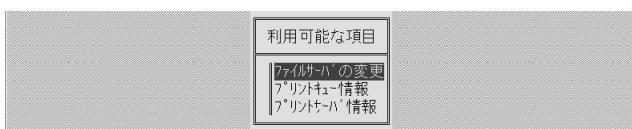
NetWare 3.xJ 環境で本プリンタを使用するときの、NetWare サーバ側の環境設定について説明します。NetWare 3.xJ がファイルサーバの場合、プリントサーバモードもリモートプリンタモードもファイルサーバの設定方法は同じです。

F:>login FS1/supervisor

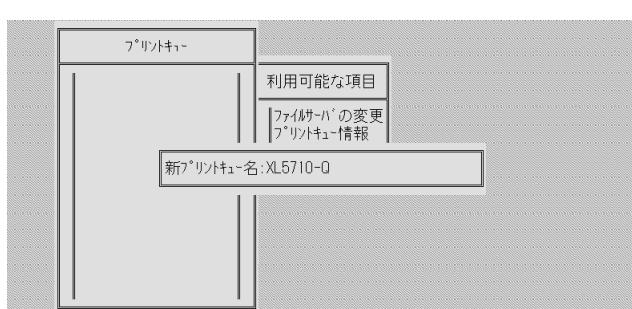
1 クライアントマシンから
スーパーバイザで、ファ
イルサーバ(ここでは、
「FS1」)にログインする



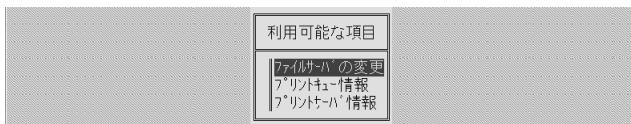
プリンタに設定した「ファイルサーバ名」と同じファイル
サーバにログインしてください。



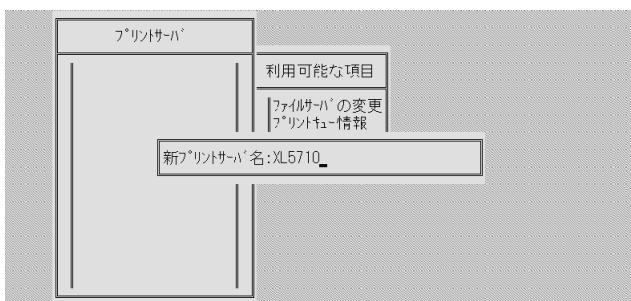
2 PCONSOLE を起動する
3 [プリントキュー情報]
を選択する



4 [Insert] キーを押し、
キュー名(ここでは
「XL5710-Q」)を入力する
入力したキュー名が「プリント
キュー」に登録されます。



5 [プリントサーバ情報]を選択する



6 [Insert]キーを押し、「新しいプリントサーバ名」を入力します。

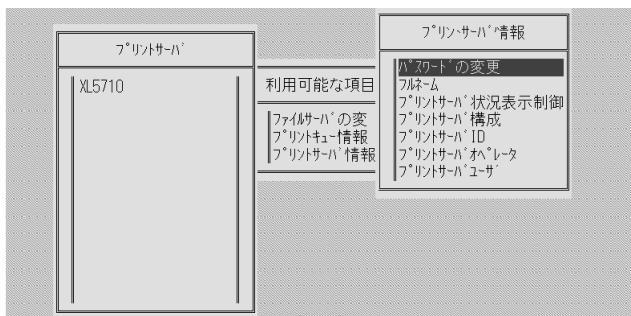
プリントサーバモードの場合は本プリンタに登録した「マシン名」を入力します。ここでは「XL5710」を入力します。

リモートプリンタモードの場合、ここでは「PSERVER1」を入力します。

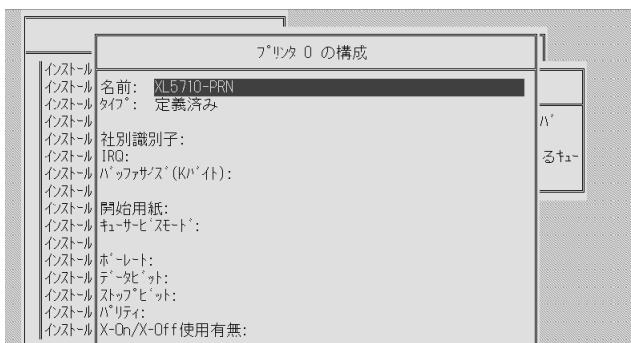
入力したプリントサーバ名が「プリントサーバ」に登録されます。



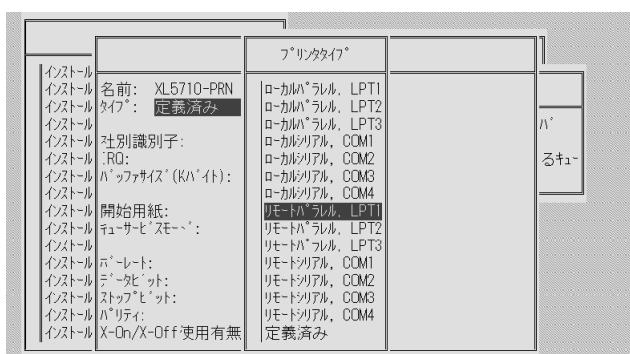
プリントサーバモードの場合、ファイルサーバに設定する「新しいプリントサーバ名」と本プリンタに設定された「マシン名」を、必ず一致させてください。一致していないと本プリンタがファイルサーバにアクセスすることができなくなります。



7 登録したプリントサーバを選択し、[プリントサーバ構成]を選択する



8 [プリンタの構成]を選択し、「構成完了プリンタ」で「インストールされていません0」を選択する



9 「名前」「タイプ」を登録する

「名前」には本プリンタ「NetWareポート名」(ここでは「XL5710-PRN」)を登録します。「タイプ」には「プリントタイプ」に表示される一覧より、「リモートパラレル,LPT1」を指定します。

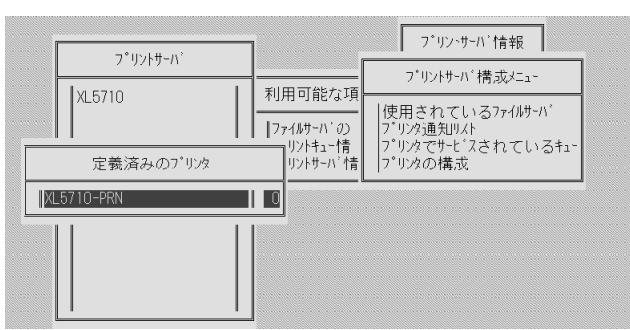
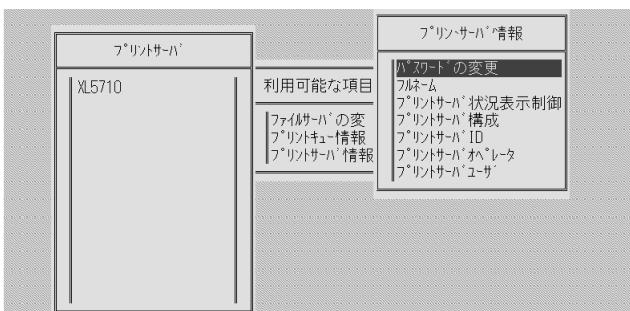


ファイルサーバに設定する「名前」と、本プリンタに登録した「NetWareポート名」は、必ず一致させてください。

10 [ESC]キーを押して、設定を保存する

「構成完了プリンタ」に、プリンタが登録されます。

11 [プリントサーバ構成] [プリンタでサービスされているキューリスト]の順に選択する



12 登録したプリントサーバ名(ここでは「XL5710」)を選択する

「プリンタ0の構成」で登録したプリンタ(ここでは「XL5710-PRN」)を選択する



13 [Insert]キーを押し、「プリントキュー情報」で登録したキュー名（ここで「XL5710-Q」）を選択する

14 PCONSOLE を終了する

15 プリンタをリモートプリンタモードで使用するときは、ファイルサーバコンソールでプリントサーバを再起動する

プリントサーバが起動している場合は、プリントサーバを利用しているユーザがないことを確認のうえ、プリントサーバを再起動してください。

16 プリンタを再起動する

電源を再投入すると、NetWare サーバに本プリンタが接続されます。正常に接続されるとプリントサーバモードの場合は、NetWareサーバコンソール上の「アクティブな接続」に本プリンタに登録したマシン名が表示されます。リモートプリンタモードの場合はプリントサーバコンソールの登録した「プリンタ」の状態に「ジョブの待機中」と表示されます。

:LOAD PSERVER PSERVER1

:UNLOAD PSERVER
:LOAD PSERVER PSERVER1

トラブルシューティング

本プリンタを NetWare 環境下で使用する際に発生する可能性のある現象について、対処方法を示します。

■ Printianaviネットワーク設定ユーティリティの一覧にプリンタが表示されない

- ・ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・「NetWare プロトコル」がチェックされているか、確認してください。
チェックされていない場合は、検索されません。プリンタのオペレータパネルで NetWare プロトコルを「有効」にする必要があります。
- ・設定内容を初期化し、電源を入れ直してください。

■ Printianaviネットワーク設定ユーティリティでは認識されるが、NetWare サーバにつながらない

▷ プリントサーバモード / リモートプリンタモード共通

パケットタイプや NetWare 動作モードが正しいか確かめてください。
本プリンタは、自動切り替えを行いますが、ご利用環境によっては多少時間がかかる場合があります。

▷ リモートプリンタモードのとき

- ・ご利用のNetWareサーバ上で、本プリンタを登録したプリントサーバが正常に稼働しているか確認してください。
- ・プリントサーバ名が正しく設定されているか確認してください。本プリンタにプリントサーバ名を指定している場合、ご利用のファイルサーバ上で稼働しているプリントサーバ名と一致しているかどうか確認してください。
- ・NetWare ポート名が正しく設定されているかどうか確認してください。本プリンタに設定したNetWareポート名とサーバのプリントサーバモニタに表示されているプリンタ名が一致しているかどうか確認してください。また、本プリンタが複数存在する場合は、本プリンタ同士の NetWare ポート名が同じにならないように設定してください。

▷ プリントサーバモードの場合

- ・本プリンタにファイルサーバを指定している場合、利用しているファイルサーバ名が設定した名前と一致しているかどうか確認してください。
- ・NetWare ポート名が正しく設定されているかどうか確認してください。本プリンタに設定したプリンタ NetWare ポート名と NetWare サーバに設定したプリンタ名が一致しているかどうか確認してください。また、本プリンタが複数存在する場合は、本プリンタ同士の NetWare ポート名が同じにならないように設定してください。
- ・NetWareのログインパスワードが一致しているかどうか確認してください。
- ・マシン名がプリントサーバ名と同じになっているかどうか確認してください

付 錄

Printianavi から通知されるエラーメッセージと
ステータスの一覧、および問題が発生した場合
の対処方法（トラブルシューティング）につい
て示します。

XL ドライバディスクの作成	252
NetWare 環境での印刷設定	253
メッセージ一覧	259
プリンター一覧 (Printianavi マネージャ)	259
プリントタステータス	
(Printianavi マネージャ、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ、 Printia XL ドライバ)	261
Printianavi によるメッセージ表示一覧	266
ネットワーク用語の解説	276
Printianavi トラブルシューティング	278

XL ドライバディスクの作成

ドライバディスクを作成するときは、次の手順で行ってください。

■ 準 備

次のものを用意してください。

- ・フォーマット済みのフロッピーディスク（2HD 1.44MB）…2枚
- ・圧縮データダウンロード用ディレクトリ（C:¥Tempなど）
- ・CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」

また、ドライバディスクを作成するパソコンに、Web ブラウザがあらかじめインストールされている必要があります。

Web ブラウザがお使いになれない場合は、CD-ROM に収められているファイルを手作業でコピーしてください。方法についての詳細は、CD-ROM の「Update」フォルダに収められたテキストファイル（Readme.txt）をお読みください。

■ 手 順



1 CD-ROM をセットする
インストーラが自動的に起動します。

2 [ソフトウェアライブラリ] をクリックする
Web ブラウザが起動し、ソフトウェアライブラリの画面が表示されます。
[プリンタドライバ] から作成するプリンタドライバをクリックし、画面の説明に従ってください。

NetWare 環境での印刷設定

ここでは、NetWare 環境から印刷するための手順の概要を説明します。詳細については、プリンタ添付の CD-ROM に収められているソフトウェアマニュアルをお読みください。

▶ お願い

NetWare 環境でご使用になれるのは、NetWare 対応 XL プリンタのみです。

NetWare 機能をサポートしていないプリンタは、NetWare 環境ではご使用になれませんのでご注意ください。

▷ 準 備

NetWare 環境の印刷設定を行うためには、以下の環境が必要です。

- Windows 98/95 および Novell NetWare(Workstation Shell 4.0 and above [VLM])
- Windows 98/95 および Novell NetWare Client 32

また、IPX/SPX 互換プロトコル、NetWare クライアントサービスをあらかじめ組み込んでおく必要があります。

▷ 手 順

1 ネットワーク設定ユーティリティを管理者のパソコンにインストールする

インストール方法は、ソフトウェアマニュアル「[第 7 章 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ](#)」を参照してください。

2 NetWare 環境で印刷するための設定を行います。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「[第 8 章 NetWare 印刷の設定](#)」を参照してください。

■ プリンタ LAN ポートの NetWare 動作環境設定 (管理者のみ)

- 1 プリンタ添付の CD-ROM から、*Printianavi* ネットワーク設定ユーティリティをインストールする
- 2 NetWare サーバにスーパーバイザでログインする
- 3 ネットワーク設定ユーティリティを起動する
- 4 プリンタの一覧から環境設定を行うプリンタを選択する
- 5 NetWare プrotocol の設定を選択する
- 6 設定を行う
画面に従って、マシン名、パケット形式、動作モード、動作モード別の詳細設定、NetWare ポート名を設定し、設定内容をプリンタに反映して終了します。



手順 4 でプリンタの一覧に該当するプリンタが表示されない場合は、プリンタのオペレータパネルで NetWare プrotocol が有効に設定されているか確認してください。NetWare プrotocol が無効となっている場合には、有効に変更します。

■ NetWare プロトコルの設定項目（管理者のみ）

- マシン名 プリントサーバモード時のプリントサーバ名として使用します。
- パケット形式 802.2が初期値です。NetWare サーバが認識できるパケット形式を選択します。
- 動作モード リモートプリンタモードとプリントサーバモードを選択します。
- リモートプリンタモードでは、ネットワーク内に対応する NetWare のプリントサーバが起動している必要があります。
- プリントサーバモードでは、プリンタ自身が NetWare のプリントサーバとして動作するため、専用のプリントサーバを起動する必要はありません。ただし、NetWare ファイルサーバに 1 ユーザとしてログインします。
- リモートプリンタモードでは最大 8 台のプリントサーバに接続して、最大 8 個のプリントキューを処理することができます。プリントサーバモードでは最大 8 台のファイルサーバに接続して、最大 32 個のプリントキューを処理することができます。
- リモートプリンタ詳細 最大 8 台までのプリントサーバ名の登録とジョブタイムアウト時間を設定します。
- プリントサーバ詳細 最大 8 台までのファイルサーバ名の登録と、ファイルサーバにログインする際に必要となるパスワードの設定、およびジョブポーリング間隔を指定します。
- NetWare ポート名 PCONSOLE の「プリントサーバ情報」の「プリンタの構成」に使用する名前です。



マシン名、プリントサーバ名、ファイルサーバ名、パスワード、NetWare ポート名に使用できる文字は 31 文字以内の半角英数字です。

■ NetWare サーバ側の設定（管理者のみ）

▶ お願い

NetWare4.1J (IntranetWare) 上で使用する場合、次の点に注意して設定を行ってください。

- ・プリントサーバモードで使用するとき
サーバにバインダリモードでログインして設定します。また、NetWare4.1Jのユーザに対してキューを公開する場合は、サーバにNDSモードでログイン後、キューユーザを追加してください。
- ・リモートプリンタモードで使用するとき
サーバにNDSモードでログインして設定してください。

▶ 設定の手順

- 1 *NetWare* サーバにスーパーバイザでログインし、*PCONSOLE* コマンドを実行する
- 2 「利用可能な項目」から「プリントキュー情報」を選択する
- 3 「プリントキュー情報」で [Insert] キーを押し、任意のプリントキュー名を追加する
- 4 [Esc] キーを押して「利用可能な項目」に戻り、「プリントサーバ情報」を選択する
- 5 「プリントサーバ」で [Insert] キーを押して新プリントサーバ名を入力する
リモートプリンタモードの場合は、任意のプリントサーバ名を、プリンタサーバモードの場合はプリンタ LAN ポートに設定したマシン名を入力します。
- 6 手順5で作成したプリントサーバを選択し、「プリントサーバ情報」の「プリントサーバ構成」を選択する
- 7 「プリントサーバ構成メニュー」から「プリンタの構成」を選択すると表示される「構成完了プリンタ」から「インストールされていません0」を選択する
「プリンタ0の構成」へ移行します。

- 8 「プリンタ0の構成」画面の「名前：」に、プリンタLANポートに設定した NetWare ポート名を入力する
- 9 「タイプ：」を選択し、「プリンタタイプ」に移行し、プリンタタイプで「リモートプリンタ、LPT1」を選択する
- 10 [Esc] キーを押して、設定を保存する
- 11 「プリントサーバ情報」に戻り、「プリントサーバ構成」、「プリンタでサービスされているキュー」を順に選択して「定義済みのプリンタ」へ移行し、「プリンタ0の構成」で設定したプリンタポート名を選択する
- 12 サービスキューリストで [Insert] キーを押して、「使用可能キュー」の中から「プリントキュー情報」で設定したキュー名を選択する
- 13 PCONSOLE を終了する
- 14 リモートプリンタモードのときは、PCONSOLE の設定を有効にするため、NetWare のプリントサーバを再起動する
- 15 すべての設定作業が終わったら、プリンタ本体の電源を再投入する

■ クライアントから印刷できるようにするための設定

1 仮の印刷先ポートを指定してプリンタドライバをインストールする

「[第2章 プリンタドライバのインストール](#)」(29ページ)を参照してください。

印刷先は適当なポート(ローカルポート:LPT1など)を選択してください。

► お願い

ここでは、実際に接続されていないポートを仮の印刷先として指定します。テストページ等の印刷は行わないでください。

2 印刷先ポートの変更を行う

詳細は、「[印刷先ポートの追加と変更](#)」(57、61ページ)と「[サーバ経由で印刷するとき](#)」(58、62ページ)(Windows 3.1は「[Windows 3.1のとき](#)」(64ページ))を参照してください。

メッセージ一覧

▼ プリンター一覧 (Printianavi マネージャ)



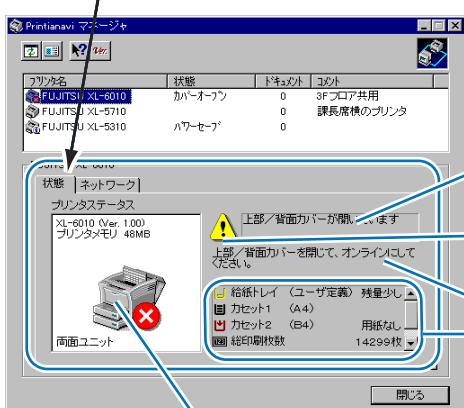
Printianaviマネージャの
[プリンター一覧]

表示内容	意味	アイコン	備考
(空白)	プリンタは正常状態です。		
印刷中	印刷中です。		
停止中	プリンタが一時停止状態となっています。		正常状態
他で使用中	プリンタが他のコンピュータより使用されています。		
セットアップ中	プリンタがセットアップ中です。		プリンタとの通信が不可能な場合は表示されません。
プリタ空き待ち	プリンタが他のコンピュータより使用されており、その終了を待ち合せています。		情報あり
ウォームアップ	プリンタのウォームアップ完了を待ち合せています。		
パワーセーブ	プリンタがパワーセーブ状態です。		
印刷設定中	プリンタが印刷設定中です。		
トナ-少	トナーが残り少なくなっています。		
印刷中 (トナ-少)	印刷中かつトナーが残り少なくなった状態です。		警告あり

表示内容	意味	アイコン	備考
オンライン	プリンタがオンライン状態です。		
用紙なし	プリンタの用紙がありません。		
カセットなし	プリンタのカセットがセットされていません。		
カバー-オープン	プリンタがカバーオープン状態です。		異常状態
ユニット確認	プリンタの給紙トレイ、両面ユニット、または定着器が外れています。		
用紙交換	プリンタの用紙を交換してください。		
用紙サイズエラー	プリンタの用紙サイズが違います。		
紙詰まり	プリンタが紙詰まり状態です。		
カートリッジなし	プリンタのプロセスカートリッジが正しくセットされていません。		
トレイフル	プリンタの排紙トレイに用紙がたまっています。		
メモリ不足	プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えない状態です。		
メモリオーバー	プリンタでメモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。		
プリントリセット	プリンタがプリントリセットエラー状態です。		
ハードエラー	プリンタがハードエラー状態です。		
通信エラー	プリンタとの通信が異常となりました。		
応答なし	プリンタからの応答がありません。		
エラー	その他のエラーが発生しています。		
(空白)	プリンタの情報を取得中です。		その他

▼ プリンタステータス (Printianavi マネージャ、Printianavi ネットワーク設定 ユーティリティ、Printia XL ドライバ)

Printianavi マネージャの
〔状態〕タブ



Printianavi XL ドライバのプロパ
ティの〔用紙〕タブ、および
Printianavi ネットワーク設定ユ
ーティリティの〔ステータス表示〕

プリンタ状態

ステータス
アイコン

エラー詳細

給紙情報 /
印刷枚数



プリンタ情報ビットマップ
プリンタの機種や給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

給紙情報

給紙情報で表示されるアイコンは、次のとおりです。

アイコン(色)	説明
	用紙が入っています。
	用紙が残り少なくなっています。用紙サイズの横に「残量少し」と表示されます。
	用紙がありません。この給紙口から印刷を行う前に、用紙を補給してください。
	用紙サイズの横に「用紙なし」と表示されます。
	給紙カセットが正しくセットされていません。 (暗い赤色)給紙カセットにサポート外の用紙をセットしたときは「用紙サイズエラー」、給紙カセットが正しく装着されていないときは「カセットなし」と表示されます。(用紙サイズおよび用紙残量情報は表示されません。)
	プリンタからの情報をまだ取得していないか、取得に失敗したため、給紙情報が不明です。 (用紙サイズおよび用紙残量情報は表示されません。)

また、次のプリンタ状態（エラー）の場合は、エラーが発生している給紙口情報の文字が暗い赤色で表示されます。

プリンタ状態	暗い赤色で表示される給紙口
給紙トレイが外れています	給紙トレイ
給紙カセットがセットされていません	カセットなしの給紙口すべて
給紙カセット×が正しくセットされていません	カセット×
給紙トレイの用紙サイズが違います	給紙トレイ
給紙カセット×の用紙サイズが違います	カセット×
給紙トレイの用紙がありません	給紙トレイ
給紙カセット×の用紙がありません	カセット×
給紙トレイで紙詰まりが発生しました	給紙トレイ
給紙カセット×で紙詰まりが発生しました	カセット×

ただし、これらはプリンタ状態の表示内容と同期しているため、給紙口のエラーが解除されないまま他のエラーが発生した場合は、給紙口情報の文字は黒色になります。（例えば、プリンタ状態が「給紙カセットがセットされていません」のとき、カセットをセットしないで上部／背面カバーを開くと、プリンタ状態は「上部／背面カバーが開いています」に変わり、同時に暗い赤色で表示された給紙情報の文字は黒色になります。）

■ ステータスアイコン / プリンタ状態 / エラー詳細

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
正常	オンライン	
	パワーセーブ中 ...	
	ウォームアップ中 ...	
	印刷中 ...	
	情報取得中 ...	しばらくおまちください。
	他で使用中	プリンタ装置が他で使用中です。
	情報設定中 ...(注 1)	しばらくおまちください。
トナー少 (黄色)	情報の設定が完了しました(注 1)	しばらくおまちください。
	オンライン	トナーが残り少なくなりました。
	パワーセーブ中 ...	
	ウォームアップ中 ...	
エラー、警告	印刷中 ...	
	プリンタからの応答がありません(注 2)	
	プリンタが印刷設定中です	
	上部カバーが開いています	上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	フロントカバーが開いています	フロントカバーを閉じて、オンラインにしてください。
	定着器カバーが開いています	定着器カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	上部 / 背面カバーが開いています	上部 / 背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	給紙トレイが外れています	給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。
	両面ユニットが外れています	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。
	定着器が外れています	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。
	排紙トレイが用紙でいっぱいです	排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。
	プリンタがオフラインとなっています	プリンタをオンラインにしてください。

注1 : Printianaviマネージャの〔ネットワーク〕タブで、設定を行ったときのみ表示されます。

注2 : Printianaviマネージャの〔ネットワーク〕タブでも表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
	プリンタがリセットされました	プリンタをオンラインにしてください。
	リモート設定中です	しばらくお待ちください。
	初期化中です	しばらくお待ちください。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタドライバの解像度を300dpiに設定し直すか、A4以下のサイズで再度印刷してください。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタドライバの「テキストを高速印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。
	メモリオーバーが発生しました(ESC/Page)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。
	プリンタからの情報取得ができません(注2)	環境を確認してください。
	システムエラーが発生しました(注2)	(注3)
	プリンタで異常が発生しました	プリンタの状態を確認してください。
	プリンタからの応答が異常です(注4)	(注3)
	指定した用紙がありません(用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。
	給紙カセットXに用紙がありません(用紙サイズ)	給紙カセットXに用紙を補給し、オンラインにしてください。
	給紙トレイに用紙がありません(用紙サイズ)	給紙トレイに用紙を補給してください。
	給紙カセットがセットされていません	給紙カセットをセットしてください。
	給紙カセット×が正しくセットされていません	給紙カセット×をセットし直してください。
(暗い赤色)	用紙サイズが違います(用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。

注2: Printianaviマネージャの〔ネットワーク〕タブでも表示されます。

注3: Printianaviマネージャの〔ネットワーク〕タブでは、エラー詳細に「エラー詳細: コード」の形式でエラーコードが表示されます。

注4: Printianaviマネージャの〔ネットワーク〕タブでのみ表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
	給紙カセット×の用紙サイズが違います(用紙サイズ)	給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインインにしてください。
カセット エラー (暗い赤色)	給紙トレイの用紙サイズが違います(用紙サイズ)	給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。
	給紙カセット×で紙詰まりが発生しました	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
紙詰まり	給紙トレイで紙詰まりが発生しました	
	プリンタ内部で紙詰まりが発生しました	
	排紙部で紙詰まりが発生しました	
	両面ユニットで紙詰まりが発生しました	
	プロセスカートリッジが正しくセットされていません	プロセスカートリッジをセットし直してください。
カートリッジエラー	ハードエラーが発生しました	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。
		
ハードエラー		

▼ Printianavi によるメッセージ表示一覧

■ ステータス表示ウィンドウ

Printianaviの設定で「印刷中のステータスを表示する」を設定している場合、印刷中にプリンタの状態や印刷状況を表示します。

▷ 最小化時

アイコン	説明
	印刷中です。
	プリンタがウォームアップ状態です。
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、他の状態を示します。

▷ ポップアップ時



プリンタ情報ビットマップ

プリンタの機種や給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

ステータスアイコン	ステータス内容
	[印刷中 ...] [印刷中 ...] 両面印刷の指定は無効です。(プリンタメモリ不足)
	[印刷中 ...] 両面印刷の指定は無効です。(両面ユニットなし) [印刷待ち] プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。
	[ウォームアップ中 ...] プリンタがウォームアップ動作中です。しばらくお待ちください。
	[印刷の再開準備中 ...] 印刷再開準備中です。 しばらくお待ちください。 [印刷中 ... (トナーニアエンプティ)] トナーが残り少なくなりました。
トナー少 (黄色)	[印刷中 ... (トナーニアエンプティ)] トナーが残り少なくなりました。 両面印刷の指定は無効です。(プリンタメモリ不足)

ステータスアイコン	ステータス内容
	<p>[印刷中 ... (トナーニアエンプティ)] トナーが残り少なくなりました。</p> <p>トナー少 (黄色)</p> <p>[ウォームアップ中 ... (トナーニアエンプティ)] プリンタがウォームアップ動作中です。 しばらくお待ちください。 トナーが残り少なくなりました。</p>
	<p>[印刷設定中 ...] プリンタの設定スイッチが有効となっています。</p> <p>エラー、警告</p> <p>[0300 オフライン] プリンタがオフラインとなっています。 プリンタをオンラインにしてください。</p>
	<p>[0301 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。</p> <p>[0302 用紙なし] 給紙カセット×に用紙がありません。(用紙サイズ) 給紙カセット×に用紙を補給し、オンラインにしてください。</p> <p>[0303 用紙なし] 給紙トレイに用紙がありません。(用紙サイズ) 給紙トレイに用紙を補給してください。</p>
	<p>[0304 カセットなし] 給紙カセットがセットされていません。 カセットエラー、給紙カセットをセットしてください。</p> <p>カセットエラー、給紙カセットをセットしてください。 (暗い赤色)</p>
	<p>[0305 カバーオープン] 上部カバーが開いています。 上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。</p> <p>[0306 カバーオープン] フロントカバーが開いています。 フロントカバーを閉じて、オンラインにしてください。</p> <p>[0307 カバーオープン] 定着器カバーが開いています。 定着器カバーを閉じて、オンラインにしてください。</p>

ステータスアイコン	ステータス内容
	<p>〔0309 用紙交換〕 用紙サイズが違います。(用紙サイズ) 給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。</p>
カセット エラー (暗い赤色)	<p>〔0310 用紙交換〕 給紙カセット×の用紙サイズが違います。(用紙サイズ) 給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。</p>
	<p>〔0311 用紙交換〕 給紙トレイの用紙サイズが違います。(用紙サイズ) 給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。</p>
	<p>〔0312 用紙サイズエラー〕 給紙カセット×が正しくセットされていません。 給紙カセット×を正しくセットし直してください。</p>
	<p>〔0314 紙詰まり〕 排紙部で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>
紙詰まり	<p>〔0315 紙詰まり〕 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>〔0316 紙詰まり〕 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>〔0317 紙詰まり〕 プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>〔0318 紙詰まり〕 両面ユニットで紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>

ステータスアイコン	ステータス内容
	<p>〔0319 カートリッジなし〕 プロセスカートリッジが正しくセットされていません。 プロセスカートリッジをセットし直してください。</p>
	<p>〔0320 トレイフル〕 排紙トレイが用紙でいっぱいです。 排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。</p>
エラー、警告	<p>〔0330 ユニット確認〕 給紙トレイが外れています。 給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。</p> <p>〔0331 ユニット確認〕 両面ユニットが外れています。 プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。</p> <p>〔0332 ユニット確認〕 定着器が外れています。 プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。</p> <p>〔0351 メモリオーバー〕 メモリオーバーが発生しました。(ESC/Page) プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。</p> <p>〔0353 メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しています。 プリンタドライバの解像度を 300dpi に設定し直すか、A4 以下のサイズで再度印刷してください。</p> <p>〔0354 メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しています。 プリンタドライバの「テキストを高速印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。</p> <p>〔0356 メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しています。 プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。</p> <p>〔0371 プリンタリセット〕 プリンタがリセットされました。 プリンタをオンラインにしてください。</p>

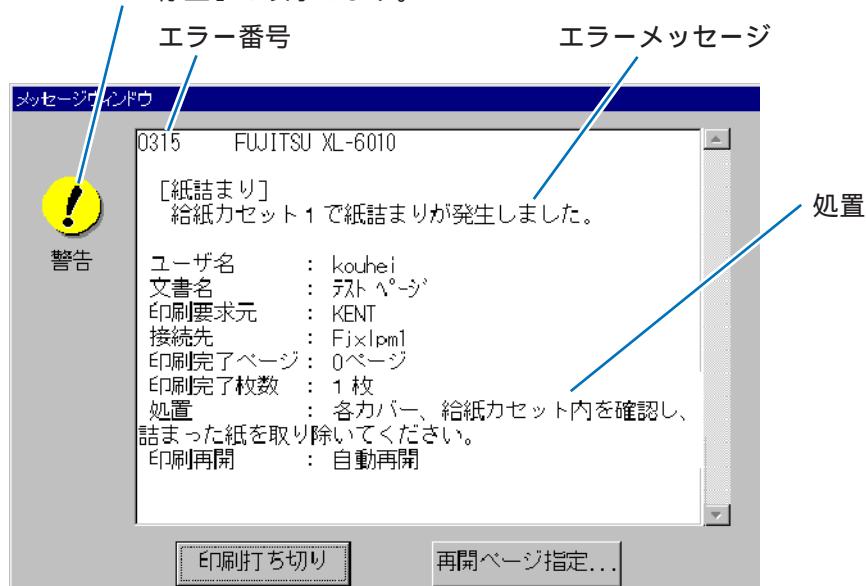
ステータスアイコン	ステータス内容
	<p>〔0373 プリンタリセット〕 プリンタが初期化中です。 プリンタの初期化終了後、印刷が開始されます。</p>
	<p>〔0390 プリンタ異常〕 プリンタで異常が発生しました。 プリンタの状態を確認してください。</p>
	<p>〔0405 カバーオープン〕 上部／背面カバーが開いています。 上部／背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。</p>
	<p>〔XXXX 通信エラー〕 プリンタとの通信が異常となりました。 プリンタの電源を投入し直してください。</p>
	<p>〔1500 応答なし〕 プリンタからの応答がありません。 プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。</p>
	<p>〔XXXX ハードエラー〕 ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。</p>
	<p>〔1900 メモリ不足〕 メモリ不足が発生しました。 プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。</p>
	<p>〔XXXX システムエラー〕 システムエラーが発生しました。 いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。</p>

■ エラーメッセージ

Printianaviの設定で「エラー時にメッセージを通知する」を設定している場合、印刷中にエラーが発生したときにエラーメッセージを表示します。

エラー重大度

リカバリ可能な場合は「警告」、不可能な場合は「停止」と表示します。



以降のメッセージ一覧表中の自動再開欄の記号は、次の意味を示します。

- プリンタの操作でエラーが解除されると、印刷を自動的に再開します。
- プリンタのセットアップ項目の「環境設定」の「データ保証」が「設定」になっているときは、印刷を自動的に再開します。それ以外の場合は、印刷開始前にエラーを検出した場合のみ印刷を自動的に再開し、印刷中にエラーを検出した場合は、印刷を打ち切ります。
- 印刷開始前にエラーを検出した場合は、印刷を自動的に再開します。
- 印刷中にエラーを検出した場合は、印刷を打ち切ります。
- × 印刷を再開しません。(印刷打ち切り)

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0300	オフライン	〔オフライン〕 プリンタがオフラインとなって います。	プリンタをオンラインにしてくだ さい。	
0301	用紙なし	〔用紙なし〕 指定した用紙がありません。 (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイ に用紙を補給し、オンラインにし てください。	
0302	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙カセット×に用紙がありま せん。(用紙サイズ)	給紙カセット×に用紙を補給し、 オンラインにしてください。	
0303	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙トレイに用紙がありません。 (用紙サイズ)	給紙トレイに用紙を補給してくだ さい。	
0304	カセット なし	〔カセットなし〕 給紙カセットがセットされてい ません。	給紙カセットをセットしてくだ さい。	
0305	カバー オープン	〔カバーオープン〕 上部カバーが開いています。	上部カバーを閉じて、オンライン にしてください。	
0306	カバー オープン	〔カバーオープン〕 フロントカバーが開いています。	フロントカバーを閉じて、オンライン にしてください。	
0307	カバー オープン	〔カバーオープン〕 定着器カバーが開いています。	定着器カバーを閉じて、オンライン にしてください。	
0309	用紙サイズ 不一致	〔用紙交換〕 用紙サイズが違います。 (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイ の用紙を交換し、オンラインにし てください。	
0310	用紙サイズ 不一致	〔用紙交換〕 給紙カセット×の用紙サイズが 違います。(用紙サイズ)	給紙カセット×の用紙を交換し、 オンラインにしてください。	
0311	用紙サイズ 不一致	〔用紙交換〕 給紙トレイの用紙サイズが違い ます。(用紙サイズ)	給紙トレイの用紙を交換し、オンライン にしてください。	
0312	用紙サイズ エラー	〔用紙サイズエラー〕 給紙カセット×が正しくセット されていません。	給紙カセット×をセットし直して ください。	

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0314	紙詰まり	[紙詰まり] 排紙部で紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください（注1）。	
0315	紙詰まり	[紙詰まり] 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。		
0316	紙詰まり	[紙詰まり] 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。		
0317	紙詰まり	[紙詰まり] プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。		
0318	紙詰まり	[紙詰まり] 両面ユニットで紙詰まりが発生しました。		
0319	カートリッジなし	[カートリッジなし] プロセスカートリッジが正しくセットされていません。	プロセスカートリッジをセットし直してください。	
0320	トレイフル	[トレイフル] 排紙トレイが用紙でいっぱいです。	排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。	
0330	ユニット確認	[ユニット確認] 給紙トレイが外れています。	給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。	
0331	ユニット確認	[ユニット確認] 両面ユニットが外れています。	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。	
0332	ユニット確認	[ユニット確認] 定着器が外れています。	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。	
0351	メモリオーバー	[メモリオーバー] メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 (ESC/Page)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。	
0353	メモリ不足	[メモリ不足] プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。(解像度 600dpi)	プリンタドライバの解像度を 300 dpi に設定し直すか、A3、B4 用紙の場合は A4 縮小設定にして再度印刷してください。	
0354	メモリ不足	[メモリ不足] プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。(テキスト高速印刷)	プリンタドライバの「テキストを高速印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。	
0356	メモリ不足	[メモリ不足] プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。(両面印刷)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。	

注 1: プリントサーバが Windows NT4.0 の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしているときのみ)

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処置	自動再開
0371	パネルリセット (注2)	[プリンタリセット] プリンタがリセットされました。	プリンタをオンラインにしてください。	
0373	プリンタ ソフトリセット	[プリンタリセット] プリンタが初期化中です。	プリンタの初期化終了後、印刷が開始されます。	
0390	プリンタ異常	[プリンタ異常] プリンタで異常が発生しました。	プリンタの状態を確認してください。 (注1)	
0405	カバーオープン	[カバーオープン] 上部／背面カバーが開いています。	上部／背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。	
0500	通信タイムアウト	[通信エラー] プリンタとの通信が異常となりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	
0520	パラメータ長 ～エラー			
0526				
0540	未定義コマンド			
0560	コマンド ～シーケンスエラー			
0567				
5500	ポートモニタ ～エラー			
5505				
1520	プロトコル異常			
1500	通信タイム アウト (電源断)	[応答なし] プリンタからの応答がありません。	プリンタの電源、およびケーブル接続が正常な場合、プリンタ側のパネル操作で、双方向インタフェースが有効（バイセントロモード：設定）になっていることを確認してください。 (注1)	
0700	エンジン異常 ～	[ハードエラー] ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。 (注1)	
0705				
1900	メモリ不足 (パソコン側)	[メモリ不足] メモリ不足が発生しました。	プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。 ×	
5900	システムエラー (ポートモニタ)	[システムエラー] システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。 ×	
5901				
上記以外	システムエラー	[システムエラー] システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	

注1: プリントサーバがWindows NT4.0の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしているときのみ)

注2: プリントリセットのタイミングによっては、通信エラーとなることがあります。印刷を中止したいときは、プリンタをオフラインにしてから、Printianaviのエラーメッセージ画面で「印刷打ち切り」を実行することをお勧めします。

ネットワーク用語の解説

SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器がSNMPをサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用のSNMP管理マネージャソフトから、SNMPメッセージを使用することでその接続機器の設定情報であるMIB (Management Information Base : 管理情報ベース) を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

• SNMP メッセージ

SNMPによるエージェントの管理は以下の5種類のメッセージを使って行われます。

メッセージ種別	説明	メッセージの送信方向	
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ	エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント	マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント	マネージャ

なお、本プリンタでは SetRequest はサポートしていません。

MIB

SNMPでは、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータを MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) といいます。

本プリンタはMIB- およびPrinterMIBをサポートしています。プリンタに添付されているCD-ROMにはPrinterMIBに対応したASN.1形式の「XLprtmb.my」が「MIB」ディレクトリに収録されています。これをSNMP管理マネージャソフトにインストールして使用してください。

■ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスの自動割り付けシステムです。クライアントがTCP/IP通信を行うときに、必要に応じてサーバからIPアドレスをもらい、通信終了後にはサーバにIPアドレスを戻します。IPアドレス設定ユーティリティはDHCPを利用してプリンタへのIPアドレス割り当てを実現しています。

■ BPP (Business Printer Protocol)

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル(TCP/IPを使用)です。

プリンタとの双方向通信によりPrintianaviのエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているので、lpr印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

■ lpr (Line Printer Remote)

TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windows NTでは、TCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。

ただし、双方向通信はサポートしていないため、lpr印刷ではPrintianavi機能は使用できません。

■ RFC (Request For Comments)

インターネットの研究開発機関IETF(Internet Engineering Task Force)がとりまとめている文書群を指します。一般的にはTCP/IPの規格書として知られています。

Printianavi トラブルシューティング

双方向プリンティングシステム「Printianavi」、および Printia XL ドライバを使用中に発生する問題の対処方法を示します。なお、以下の内容とともに、「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM内の README.TXT もお読みください。

■ Windows 98/95 のプリンタポートから印刷できない

- ・プリンタケーブルが正しく接続されているか確認してください。プリンタ切り替え器やプリンタ増設カードをご利用の場合、プリンタとの双方向通信ができずに通信エラーが発生する場合があります。
- ・プリンタの電源を再投入してください。プリンタとの双方向通信が復旧することがあります。
- ・双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ(XL-2000W、XJシリーズなど)をインストールしている場合は、他のプリンタの「印刷先のポート」を「FILE:」に変更してください。
- ・[スプールの設定]ダイアログボックスで「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」設定にし、印刷してください。
[スプールの設定]ダイアログボックスは、次の手順で開きます。

1 [スタート]ボタンから、[設定][プリンタ]の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。

2 [ファイル]メニューから[プロパティ]を選択し、[詳細][スプールの設定]を順にクリックします。

- ・「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」に設定すると印刷でき、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」に設定すると印刷できないときは、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていない、あるいはポートドライバに不具合があると考えられます。

ECP プリンタポートが設定されている場合には、プリンタポートに変更します。

プリンタポートの変更は、次の手順で行います。

- 1** [スタート]ボタンから、[設定][コントロールパネル]の順で選択します。
- 2** [システム]をダブルクリックし、[システムのプロパティ]ダイアログボックスを開きます。
- 3** [デバイスマネージャ]をクリックし、[ポート(COM/LPT)]の[プリンタポート(LPT1)]をダブルクリックして[プリンタポートのプロパティ]ダイアログボックスを開きます。
- 4** [ドライバ][ドライバの更新]の順にクリックし、「すべてのデバイスを表示」を選択します。
- 5** [プリンタポート]をダブルクリックし、プリンタポートを変更します。

プリンタポートを変更しても状態が改善されないときは、モジュール「LPT.VXD」を別のバージョンのモジュールに変更する必要があります。(Windows 95)

■ Windows 98/95 で印刷できるが、Printianavi のメッセージが表示されない

- ・Printia XL ドライバが正しく選択されているか確認してください。プリンタを「通常使うプリンタに設定」することをお勧めします。なお、アプリケーションによっては、以前使用したプリンタを記憶している場合がありますので、どのプリンタを選択しているか確認してください。
- ・[スプールの設定] で、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていることを確認してください。（「[Windows 98/95 のプリンタポートから印刷できない](#)」を参照）
- ・プリンタのプロパティで「Printianavi を有効にする」が設定されていない場合、Printianavi のメッセージは表示しません。
次の操作で「Printianavi を有効にする」を設定してください。

1 [スタート] ボタンから、[設定] [プリンタ] の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。

2 [ファイル] メニューから、[プロパティ] を選択し、[Printianavi] をクリックします。

- ・ネットワーク環境で Printianavi をお使いになる場合は、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティを使用するすべてのパソコン（プリントサーバを含む）にインストールし、動作環境、および到着通知パネルの起動（クライアント）を設定する必要があります。詳しくは、[ソフトウェアマニュアル「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」](#) を参照してください。
- ・プリントサーバに Printianavi のメッセージが表示される場合は、クライアントの到着通知パネルをいったん終了し、再起動してください。クライアントの到着通知パネルを起動するときにプリントサーバが起動していないかったり、到着通知パネルを起動した後にプリントサーバを再起動したときにこのような現象が発生します。
到着通知パネルを終了するときは、到着通知パネルを右クリックし、「到着通知パネルの終了」または「閉じる」を選択します。

■ Windows NT4.0 や Windows 98/95 以外の共有プリンタで Printianavi 機能を使いたい

Printianavi は、Windows NT4.0 および Windows 98/95 に対応しています。Windows NT4.0 より前のバージョン（3.51など）や、IntranetWare、NetWare 4.1J / NetWare 3.12J では、Printianavi を使用することはできません。（共有プリンタとして利用することはできます。）

■ Windows NT3.51 のサーバ共有プリンタとして使用したいが、WindowsNT3.51 用のプリンタドライバがない

Printia XL ドライバディスク V2.1 の Windows NT3.51 用のプリンタドライバを使用することができます。

プリンタが XL-6010 の場合は〔FUJITSU XL-6600〕を、XL-5710 の場合は〔FUJITSU XL-5700〕を、XL-5310 の場合は〔FUJITSU XL-5300〕を選択してください。

Printia XL ドライバディスク V2.1 の Windows NT3.51 用のドライバディスクは、ソフトウェアライブラリから作成できます。

ドライバディスクの作成方法については、「[XL ドライバディスクの作成](#)」を参照してください。

■ プリントサーバが Windows NT3.51、クライアントが Windows NT4.0 のときに、ネットワークインストールしたプリンタドライバで印刷できない

- プリントサーバとクライアントの Windows NT のバージョンが異なることが原因と考えられます。この環境で、〔ネットワークプリントサーバー〕を選択してインストールを行うと（[47 ページ参照](#)）異なるバージョン用に作成されたドライバがコピーされてしまうことがあります。この場合は、インストールしたドライバを削除し、〔このコンピュータ〕を選択してプリンタドライバをインストールし直します。次に、〔ポートの追加〕で印刷先のポート名に<共有プリンタ名>を割り当てます。

具体的な操作は、次のとおりです。

- 1 [スタート]から、[設定][プリンタ]の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。
- 2 [ファイル]メニューから、[プロパティ]を選択し、[ポート][ポートの追加]を順にクリックします。
- 3 利用可能なプリンタポートから[Local Port][新しいポート]の順にクリックします。
- 4 ポート名に共有プリンタ名(¥¥プリントサーバ名¥¥共有プリンタ名)を入力して[OK]ボタンをクリックします。

Windows NT4.0/NT3.51 で TCP/IP 印刷サービス (LPR ポート) を使用したいがどうすればよいのか

次の手順で、Windows NT4.0 で LPR 印刷を行うことが可能になります。

ただし、その場合には Printianavi の機能は使用できません。

▶ 準備

LPR 印刷を行うには、あらかじめ「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれていることが必要です。

[スタート]から[設定][コントロールパネル][ネットワーク][サービス]の順に選択すると表示される「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が表示されることを確認してください。表示されない場合は、組み込んでください。

▶ 手順

- 1 [スタート]から、[設定][プリンタ]の順で選択し、[プリンタの追加]をダブルクリックします。
- 2 [このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 3 [ポートの追加]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスの「利用可能なプリンタポート」のリストから、「LPR Port」を選択して[新しいポート]をクリックします。

4 [LPR 互換プリンタの追加] ダイアログボックスで、次の内容を入力します。

lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス：プリンタのIP アドレス
サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名： LP

入力が終わったら、[OK] をクリックします。



- ・プリンタのIP アドレスは、半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。
(例：172.22.89.17 など)
- ・「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN カード XL-LN100 (XL-5300A オプション) の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

5 「利用可能なポート」で追加したポートがチェックされていることを確認して、[次へ] をクリックします。

その後、「第2章 プリンタドライバのインストール」の「Windows NT4.0 のとき」の手順6 (47 ページ) 以降の操作を行ってプリンタドライバのインストールを終了します。ただし、テストページの印刷は行わないでください。

6 印刷データのスプール方法を変更します。

1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順で選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

2 [ファイル] メニューで [プロパティ] を選択します。

3 [スケジュール] をクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

7 双方向通信を無効にします。

[プロパティ] から [ポート] をクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。

スプール方法の変更が終わったら、[OK] をクリックします。

Windows NT3.51 の場合も、同様に設定を行います。ただし、次の点に注意してください。

・ **アクセス権の設定**

Windows NT3.51のファイルシステムにNTFSを使用している場合、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります。

- 1 ファイルマネージャを起動し、「¥system_root¥system32
¥spool¥PRINTERS」ディレクトリをクリックします。
- 2 [セキュリティ][アクセス権]の順に選択し、「EVERYONE」に対する権限を「フルコントロール」にします。

・ **スプールの設定**

印刷データのスプール方法は、[スプール中にジョブを印刷する]のチェックをはずします。

- 1 プリントマネージャを起動し、LPR印刷のプリントをクリックします。
- 2 [プリント]メニューから、[プリント情報]を選択します
- 3 「プリントの作成」ダイアログで、[詳細]をクリックします。
- 4 [スプール中にジョブを印刷する]のチェックをはずして、[OK]をクリックします。

■ Windows NT4.0 で TCP/IP 印刷サービスを組み込んで
プリンタ LAN カード経由の印刷を行うと、「通信工
ラー」や「プリンタポートの書き込みエラー」が発生
する

TCP/IP 印刷サービス (LPR ポート) は、プリンタとの双方向通信に対応していないため、エラーが発生します。

このエラーを回避するには、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスの [ポート] で、「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

[ポート] は、次の操作で表示します。

- 1 [スタート] ボタンから、[設定] [プリンタ] の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。
- 2 [ファイル] メニューから、[プロパティ] を選択し、[ポート] をクリックします。

■ Windows NT4.0 で区切りページを指定すると、
Printianavi のメッセージが表示されない

本プリンタは、Windows NT4.0 の区切りページファイル (*.sep) の印刷をサポートしていません。

また、Printianavi の機能が正常に動作しなくなるため、区切りページは使用しないでください。

■ TCP/IP 接続のネットワークプリンタに印刷できない
Printianavi マネージャで「プリンタからの応答がありません」のメッセージが表示される

次の 4 点を確認してください。

- ・プリンタのネットワークケーブルが正しく接続されていますか。
- ・プリンタの電源を再投入してください。
- ・プリンタのネットワーク設定を確認してください。

(詳細は下の「プリンタのネットワーク設定の確認のしかた」参照)

- ・パソコンの印刷先ポートを確認してください。

ネットワークポートモニタの設定 (ポートの詳細または構成) で正しい IP アドレスが設定されているか確認してください。また、オプション設定のポート番号とプリンタのポート番号 1 が一致しているか確認してください。

▷ プリンタのネットワーク設定の確認のしかた

プリンタのネットワーク設定は、次の手順でオペレータパネルから「メニュー印刷」(LAN の印刷) を実行すると確認できます。

- 1 プリンタがオンライン状態であることを確認する
- 2 次の順序でオペレータパネルのスイッチを操作する
「オンライン」 「メニュー」 「▼」 「▶」
- 3 プリンタのディスプレイが次のように表示されていることを確認する

メニュー インサツ
LAN ノ インサツ

4 「メニュー」(設定)スイッチを押し、一覧の印刷を開始する

印刷を開始しない場合は、選択している給紙口に用紙がセットされていることを確認して、操作をやり直してください。

印刷結果を見て、次の内容を確認してください。

- ・TCP/IP設定は「有効」になっていますか。
「無効」になっている場合は、オペレータパネルを操作して、TCP/IPを「有効」に設定してください。
- ・TCP/IP動作状態コードは、「0」になっていますか。
「1」のとき IPアドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
「2」のとき DHCPによりTCP/IP構成情報を取得中です。もう一度LANの設定内容を印刷し直してください。
「3」以上のとき ... DHCPによるTCP/IP構成情報の取得で異常が発生しています。
DHCPサーバの設定を見直すか、プリンタのパネル操作で、DHCP自動取得を「解除」して、正しいIPアドレスやサブネットマスクを設定し直してください。
また、IPアドレス設定ユーティリティを使って、設定したIPアドレスは、プリンタの電源を切ると無効になります。
IPアドレス設定ユーティリティでIPアドレスを設定した場合は、プリンタの電源を切る前に必ず、DHCP自動取得を「無効」に変更してください。
- ・TCP/IP設定の内容が正しいか確認してください。
TCP/IP設定の内容に誤りがある場合は、設定内容を変更してください。
- ・TCP/IP設定の内容とパソコン側のネットワーク設定が一致しているか確認してください。

■ 旧バージョン・レベルとの混在運用について

本プリンタと旧Printianavi対応プリンタを混在運用する場合、添付ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。各ソフトウェアのバージョンアップ/ レベルアップについて説明します。

▶ XL-5800/5300

プリンタの添付ソフトウェア

- Printia LASER プリンタユーティリティ V1.1
- XL ドライバディスク V2.1 L12 または L13

ソフトウェアのバージョンアップについて

- Printia LASER プリンタユーティリティ V1.1

アンインストール後、本プリンタに添付されているPrintianaviネットワーク連携ユーティリティ V3.1をインストールしてください。アンインストール作業は、Windows起動後、一度も印刷動作を行っていない状態で行ってください。また、ソフトウェアのバージョンアップはサーバおよびクライアントパソコン双方で行い、バージョンを同一にしてください。

- XL ドライバディスク V2.1 L12 または L13

お使いのパソコンのプリンタフォルダに登録されているXL-5800/5300をすべて削除してください。Windowsを再起動後、最新版のXL ドライバディスク V2.1 から XL-5800/5300 をインストールして、Windowsを再起動します。

最新版のXL ドライバディスク V2.1 は、本プリンタの添付CD-ROMに収容されているソフトウェアライブラリからダウンロードできます。

▶ XL-5300A

プリンタの添付ソフトウェア

- Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V2.1
- XL ドライバディスク V2.1 L20 以降

ソフトウェアのバージョンアップについて

- Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V2.1

アンインストール後、本プリンタに添付されているPrintianaviネットワーク連携ユーティリティ V3.1をインストールしてください。アンインストール作業は、Windows起動後、一度も印刷動作を行っていない状態で行ってください。また、ソフトウェアのバージョンアップはサーバおよびクライアントパソコン双方で行い、バージョンを同一にしてください。

- XL ドライバディスク V2.1 L20 以降

最新版のXL ドライバディスク V2.1は、本プリンタの添付 CD-ROMに収容されているソフトウェアライブラリからダウンロードできます。最新ドライバにレベルアップして使用することをお勧めします。

▶ XL-5810/5510

プリンタの添付ソフトウェア

- Printianavi ネットワークポートモニタ V1.1
- Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V2.1
- XL ドライバディスク V2.1 L20 以降

ソフトウェアのバージョンアップについて

- Printianavi ネットワークポートモニタ V1.1

Windows起動後、一度も印刷動作を行っていない状態で、本プリンタに添付されているPrintianaviネットワークポートモニタ V3.1をインストールしてください。上書きインストールでバージョンアップします。

ガイド

上書きインストールは、通常のインストールと同じ手順で行いますが、次の点に注意してください。

- Printianavi Network Portを印刷先に指定しているプリンタがある場合は、印刷先を別のポートに変更してください。
- Windows起動後、何も印刷をしていない状態からPrintianavi ネットワークポートモニタをインストールしてください。

- Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V2.1

アンインストール後、本プリンタに添付されているPrintianaviネットワーク連携ユーティリティ V3.1をインストールしてください。アンインストール作業は、Windows起動後、一度も印刷動作を行っていない状態で行ってください。また、ソフトウェアのバージョンアップはサーバおよびクライアントパソコン双方で行い、バージョンを同一にしてください。

- XL ドライバディスク V2.1 L20 以降

お使いのパソコンのプリントフォルダに登録されている XL-5810/5510 をすべて削除してください。Windows を再起動後、XL ドライバディスク V3.1 の XL-5810/5510 をインストールして、Windows を再起動します。

▷ XL-5710/5310

- プリンタの添付ソフトウェア

- Printianavi マネージャ V3.1L10
- XL ドライバディスク V3.1L10

- ソフトウェアのレベルアップについて

最新レベルがインストールされていない場合は、すべて最新のレベルに更新してください。

- Printianavi マネージャ V3.1L10

本プリンタに添付されている Printianavi マネージャ V3.1 の最新版を再インストールしてください。

- XL ドライバディスク V3.1L10

お使いのパソコンのプリントフォルダに登録されている XL-5710/5310 をすべて削除してください。

Windows を再起動後、XL ドライバディスクの V3.1 最新版の XL-5710/5310 をインストールして、Windows を再起動します。

■ 新しいバージョン / レベルのメッセージが表示される

お使いのパソコンに、古いバージョン / レベルの XL-5810/5510/5710/5310 のいずれかがすでに登録されている場合、最新のプリンタドライバをインストールすると登録済みの XL-5810/5510/5710/5310 のエラーメッセージ / ステータス表示ウィンドウに表示されるメッセージ内容は、本マニュアルに記載されている内容となります。(以前の表示と異なります。)

プリンタの動作や印刷結果への影響はありませんが、古いバージョン / レベルのプリンタドライバは最新のバージョン / レベルに更新することをおすすめします。

■ 古いバージョン / レベルのメッセージが表示される

お使いのパソコンに、本バージョン / レベルの XL-5810/5510/5710/5310 のいずれかを登録後、古いバージョン / レベルの XL-5810/5510/5710/5310 のいずれかを登録すると、エラーメッセージ / ステータス表示ウィンドウに表示されるメッセージ内容が本マニュアルと異なる（古いバージョン / レベルの表示になる）ことがあります。

プリンタの動作や印刷結果への影響はありませんが、このような場合には、いったんプリンタフォルダからすべての対象プリンタを削除した後、最新の Printia XL ドライバを使用して再インストールすることをお勧めします。

なお、マニュアルと異なるメッセージは次のとおりです。

▶ ステータス表示ウィンドウ(印刷中にステータスを表示する(ポップアップ時))

ステータスアイコン	ステータス内容
 エラー、警告	<p>〔0351 登録メモリオーバー〕 ESC/Page コマンド受信中に外字などの登録用メモリのメモリ不足が発生しました。プリンタのいずれかのスイッチを押してください。</p>
	<p>〔0353 RAM 不足〕 プリンタ RAM モジュール (オプション) が取り付けられていないため、指定した印刷が行えません。</p>
	<p>〔0354 登録メモリ不足〕 登録メモリのメモリ不足が発生しました。プリンタドライバの設定を見直してください。</p>

▶ エラーメッセージ（エラー時にメッセージを通知する）

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0351	登録メモリオーバー	〔登録メモリオーバー〕 ESC/Page コマンド受信中に外 字などの登録用メモリのメモリ 不足が発生しました。	プリンタのいずれかのスイッチを 押してください。処理を続行しま す。	
0353	RAM不足	〔RAM不足〕 プリンタ RAM モジュール（オ プション）が取り付けられてい ないため、指定した印刷が行え ません。	プリンタドライバの解像度を 300 dpi に設定し直すか、A3、B4 用 紙の場合は A4 縮小設定にして再 度印刷してください。	
0354	登録メモリ不足	〔登録メモリ不足〕 登録メモリのメモリ不足が発生 しました。	プリンタドライバの設定を見直し してください。	

また、次の状態のときのプリンタ情報ビットマップの表示も異なりま
す。（図はXL-5710の場合）

状態	新しいバージョン / レベルの表示	古いバージョン / レベルの表示
	ステータス表示ウィンドウ	ステータス表示ウィンドウ
応答なし		
インストール したプリンタ ドライバの機 種と印刷先の 機種が異なっ ている場合		

索引

A

Acrobat Reader 3.0J 14

B

BPP 277

BPP ポート番号 219

Business Printer Protocol 277

C

CANCEL 217

CD-ROM の内容 16

D

DHCP 277

サーバ側の設定 134

によるアドレス自動取得 134

によるアドレス取得 219

E

Ethernet タイプ設定 215

F

FUJITSU XL-xxxx ダイアログボックス ... 87

I

IP アドレス 136, 219

設定ユーティリティによる設定 135

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 153

L

LAN 接続

の印刷設定 24

の手順 20

lpr 277

M

MIB 276

N

N-up 印刷 94

NetWare

3.xJ 環境での設定 244

印刷について 226

印刷の設定 225

環境での印刷設定 253

基本設定 221, 231, 240

サーバ側の設定 233, 241, 256

対応 XL プリンタ 4

の設定 203, 221

プロトコル 215

プロトコルの設定項目 255

ポート名設定 ... 222, 223, 231, 240

O

OK 217

P

Plug & Play によるインストール 35

Windows 95 41

Windows 98 36

Printia XL ドライバ 9

Printianavi 6

インストーラ 17

トラブルシューティング 278

によるメッセージ表示一覧 266

ネットワーク設定ユーティリティ 12, 207

ネットワークポートモニタ. 9, 131

ネットワーク連携ユーティリティ 10, 155

の設定 107

の特長	7	Windows 95	
をネットワークで使用する	156	の設定項目一覧	117
を有効にする	107	Plug & Play によるインストール	41
Printianavi マネージャ	10, 177	新しいドライバに置き換えるとき	65
のアンインストール	185	アプリケーションソフトからの設定画面	76
のインストール	180	印刷先ポートの追加と変更	57
の再インストール	187	インストール	30
の使い方	188	スタートからの設定画面	78
を起動する	188	設定画面	76
PSERVER.EXE	227	通常のインストール	30
PSERVER.NLM	228	ネットワークインストール	70
R			
Request For Comments	277	ネットワークポートモニタを設定する	147
RFC	277	プリンタ設定のプロパティ	76
S			
SAVE	217	プリンタのプロパティ	78
SNMP	276	プリンタを共有する	54
設定	201	Windows 98	
T			
TCP/IP		の設定項目一覧	117
接続の手順	20	Plug & Play によるインストール	36
動作環境の設定方法	132	新しいドライバに置き換えるとき	65
の設定	200, 219	アプリケーションソフトからの設定画面	76
プロトコル	215	印刷先ポートの追加と変更	57
を使用する	111	インストール	30
TCP/IP、NetWare 共通の設定	199	スタートからの設定画面	78
W			
Windows 3.1		設定画面	76
の設定画面	87	通常のインストール	30
の設定項目一覧	129	ネットワークインストール	70
新しいドライバに置き換えるとき	66	ネットワークポートモニタを設定する	147
印刷先ポートの追加と変更	64	プリンタ設定のプロパティ	76
プリンタドライバのインストール	51	プリンタのプロパティ	78
Windows NT4.0			
の設定項目一覧	123	プリンタを共有する	54
新しいドライバに置き換えるとき	66		
アプリケーションソフトからの設定画面	80		
印刷先ポートの追加と変更	61		
スタートからの設定画面	82		
設定画面	80		
代替ドライバのインストール	67		

ドキュメントの既定値プロパティ	82	イ	
ネットワークインストール	73	一覧の見かた	212
ネットワークポートモニタを起動する	150	イメージサイズの調整	92
プリンタ設定のプロパティ	80	印刷	
プリンタドライバのインストール	46	終了のメッセージ通知	109
プリンタのプロパティ	84	する用紙サイズを固定する	96
プリンタを共有する	56	中のステータスを表示する	108
プリントサーバーのプロパティ	86	N-up 印刷	94
X			
XL ドライバディスクの作成	252	高速に印刷する	103
XL プリンタ	4	データにあわせた用紙サイズで印刷する	95
ア			
アイコン表示	108	データを決まった拡大率または	
アクロバットリーダー	14	縮小率で印刷する	96
新しいドライバに置き換えるとき		テキストをグラフィックとして印刷する	116
Windows 3.1	66	テキストを高速印刷する	104
Windows 98/95	65	両面印刷をする	105
Windows NT4.0	66	印刷先ポートの追加と変更	
アドレス		Windows 98/95	57
DHCP によるアドレス取得	219	Windows 3.1	64
DHCP によるアドレス自動取得	134	Windows NT4.0	61
IP アドレス	136, 219	インストール	30, 141, 159
アプリケーションソフト		の概要	3
からの設定画面	76, 80	の手順と設定の概要	18
からのプリンタ設定のプロパティ	123	Plug & Play によるインストール	35
アンインストール	145, 164, 185	Printianavi マネージャのインストール	180
Printianavi マネージャのアンインストール	185	Windows 3.1	51
ネットワークポートモニタを		Windows NT4.0	46
アンインストールする	145	通常のインストール	30
ネットワーク連携ユーティリティを		ネットワークインストール	70
アンインストールする	164	ネットワーク設定ユーティリティの	
		インストール	209
		ネットワークポートモニタを	
		インストールする	141
ウ			
ウィンドウメニュー		ウ	
			218

工

- エラー時のメッセージ通知 110
 エラー表示 204
 エラーメッセージ 272

オ

- 置き換え
 新しいドライバに置き換えるとき 65
 オプション
 の設定 154
 ダイアログ 88
 オプション機能を設定する 114

力

- 解像度 99, 103
 各メニューの機能 213
 画面の説明 188
 環境設定 166, 216
 監視時間 154
 かんたんバーコード Lite 13
 管理者機能 195
 の追加・削除 183

キ

- 起動
 Printianavi マネージャを起動する 188
 到着通知パネルの起動 174
 ネットワーク設定ユーティリティを
 起動する 211
 ネットワークポートモニタを起動する 147
 基本情報 199
 旧 Printianavi 対応プリンタ 4
 給紙方法 93
 きれいに印刷する 99

ク

- クライアント
 側の設定 168
 専用機の設定 170, 172
 からの印刷設定 27

ケ

- ゲートウェイ 136, 219
 検索 214

コ

- 構成
 ポートの構成 152
 高速に印刷する 103
 この画面について 218

サ

- サーバ側の設定 166, 245
 NetWare サーバ側の設定 233, 241, 256
 サーバで共有しない
 LAN 接続 20
 TCP/IP 接続 20
 セントロ接続 19
 サーバで共有する
 LAN 接続 21
 TCP/IP 接続 21
 セントロ接続 19
 再インストール 187
 再検索 214
 最小化
 起動 162
 時にタスクバーにインジケータを
 表示する 169
 削除
 ポートの削除 149, 152
 サブネットマスク 136, 219

シ

システム情報表示	214
自動起動	169
ダイアログ	169
終了	213
縮小	92
受信待ち時間	216
出力用紙の選択	92
状態	213
状態タブ	193
状態表示更新間隔	216
情報	202
初期表示モード	109
ジョブ	
タイムアウト時間	222
の流れ	227, 228
ポーリング時間	223

ス

スタートからの設定画面	78, 82
ステータス	
表示	111
表示ウィンドウ	266
全てをアイコン化	218
全てをクローズ	218
スムージング	100

セ

制限事項	178, 208
セキュリティについて	197
設定	215
参照	214
終了	215
中断	216
DHCP サーバ側の設定	134
IP アドレス設定ユーティリティによる設定	135
LAN 接続の印刷設定	24
NetWare 3.xJ 環境での設定	244

NetWare 印刷の設定	225
NetWare サーバ側の設定	233, 241
NetWare の設定	221
Printianavi の設定	107
SNMP 設定	201
TCP/IP 動作環境の設定方法	132
TCP/IP の設定	179, 200, 219
オプション機能を設定する	114
オプションの設定	154
クライアントからの印刷設定	27
クライアント側の設定	168
クライアント専用機の設定	170, 172
サーバ側の設定	166, 245
セントロ接続の印刷設定	22
その他の設定	167
ネットワークの設定	195
ネットワークプロトコルの設定	179
ネットワークポートモニタを設定する	147
必要な設定	179
プリンタ LAN ポートの	
TCP/IP 動作環境設定	23
プリンタ側の設定	134, 231, 240, 245
プリンタ共有サーバとしての設定	26
プリントサーバ設定	222
プリントサーバモードの設定	
(NetWare 4.xJ 環境)	230
ポートの設定	149, 153
ポート番号の設定	167
メッセージ操作動作環境設定	161
用紙の設定	90
リモートプリンタモードの設定	
(NetWare 4.xJ 環境)	239
設定画面	76
Windows 3.1	87
Windows 95	76
Windows 98	76
Windows NT4.0	80

アプリケーションソフトからの設定画面 (Windows 98/95)	76	代替ドライバのインストール	67
アプリケーションソフトからの設定画面 (Windows NT4.0)	80	タスクバーに表示する	162
スタートからの設定画面	78, 82		
設定項目一覧	117		
Windows 3.1	129		
Windows 98/95	117		
Windows NT4.0	123		
設定の詳細	90		
設定メニュー	215		
接続形態	157		
セントロ接続			
の印刷設定	22	データにあわせた用紙サイズで印刷する	95
の手順	19	データを決まった拡大率または 縮小率で印刷する	96
ソ			
操作			
インストールの操作	209	データ	
到着通知パネルの操作	175	到着通知パネルの種類	162
プリントスプーラを操作する	194	ポートの追加	148, 151
操作方法		通知メッセージアイコン	175
到着通知パネルの操作方法	174		
双方向プリンティングシステム	6		
その他の設定	167		
ソフトウェア			
必要なソフトウェア	179	ト	
ソフトウェアマニュアル	15	動作	
ソフトウェアライブラリ	14	環境	178, 208
		モード	221
タ			
ダイアログ		到着通知パネル	
FUJITSU XL-xxxx ダイアログボックス ...	87	コンパクト	162
オプションダイアログ	88	の起動	174
自動起動ダイアログ	169	の操作	175
表示モードダイアログ	169	の操作方法	174
ポート番号ダイアログ	170	ワイド	162
メッセージサーバダイアログ	168	を表示しない	169
両面印刷設定ダイアログ	89	を表示する	169
		登録	
		メッセージ到着通知パネルの スタートアップへの登録	162
		ドキュメントの既定値プロパティ	82
		とじしろ	
		位置	106
		量	106
		トナーセーブする	114

ドライバ	八
情報ダイアログ	114
新しいドライバに置き換えるとき	65
トラップ1～トラップ4	201
トラブルシューティング	249, 278
ネ	八
ネットワークインストール	70
Windows 95	70
Windows 98	70
Windows NT4.0	73
ネットワーク情報	
の詳細	199
を変更する	196
を参照する	195
ネットワーク設定	215
参照	214
の詳細	219
ネットワーク設定ユーティリティ	12, 207
使用時の留意事項	229
の使いかた	211
を起動する	211
ネットワークタブ	195
ネットワークの設定	
を行う	195
ネットワークプロトコル	
の設定	179
ネットワークポートモニタ	9, 131
を起動する	147
をインストールする	141
を設定する	147
ネットワーク用語の解説	276
ネットワーク連携ユーティリティ	10, 155
の機能	156
ノ	フ
濃度	101, 102
バージョン	218
情報	113, 153
ハーフトーンカラー	101
の調整	102
バインダリモード	
の設定	233
白紙ページ	
印刷	106
の扱い	106, 115
パケット形式	221
パスワード	223
変更	217
を入力する	198
を変更する	198
ヒ	ヒ
必要な設定	158
必要なソフトウェア	158, 179
表示	
最小化時にタスクバーに	
インジケータを表示する	169
タスクバーに表示する	162
到着通知パネルを表示する	169
プリンタの状態や情報を表示する	192
表示しない	
到着通知パネルを表示しない	169
表示メニュー	214
表示モード	169
ダイアログ	169
標準値	154
標準の印刷	95
フ	フ
ファイルサーバ設定	223
複数ページのデータを1ページ内に印刷する	97
部数	93

プリンタ	
側の設定	134, 231, 240, 245
状態表示	213
タイムアウト監視時間	154
リセット	213
一覧	189, 192
個別情報	189, 193, 195
ステータス	261
設定のプロパティ	76, 80
のIPアドレスまたはホスト名	153
の状態や情報を表示する	192
のプロパティ	78, 84, 126
をLANに直接接続する(管理者のみ)	132
を共有する	54
を共有する(Windows 98/95)	54
を共有する(Windows NT4.0)	56
プリンタ LAN ポート	
の機能概要	8
のNetWare動作環境設定	254
のTCP/IP動作環境設定	23
プリンター一覧	259
プリンタ共有サーバとしての設定	26
プリンタドライバ	
のインストール	
(Windows 3.1)	51
のインストール	
(Windows 98/95)	30
のインストール	
(Windows NT4.0)	46
の情報を確認する	113
の設定でできる印刷例	95
プリンタメニュー	213
プリンタメモリ	104
プリンティアナビ	6
プリントサーバ	
詳細設定	223, 232
設定	222
プリントサーバー	
のプロパティ	86, 128
プリントサーバ詳細	222
プリントサーバモード	226
の設定(NetWare 4.xJ環境)	230
プリントスプーラを操作する	194
フルページバンディングする	115
ブロードキャストネットワーク	216
プロトコル	
NetWareプロトコル	215
NetWareプロトコルの設定項目	255
TCP/IPプロトコル	215
プロパティ	
ドキュメントの既定値プロパティ	82
プリンタ設定のプロパティ	76, 80
プリンタのプロパティ	78, 84, 126
プリントサーバーのプロパティ	86, 128
^	
ページ配置	94
ヘルプの使い方	218
ヘルプメニュー	218
変更取消	216
返答メッセージアイコン	175
木	
ポート	
の削除	149, 152
の設定	149, 153
の追加	148, 151
名	153
NetWareポート名設定	223, 231, 240
ポート番号	154, 170, 200
ダイアログ	170
の設定	167
BPPポート番号	219
ホスト名	
プリンタのIPアドレスまたはホスト名	153
ポップアップ表示	108

マ

マシン名 221

メ**メッセージ**

サーバダイアログ 168

操作動作環境設定 161

メッセージ一覧 259

メッセージ到着通知パネル

のスタートアップへの登録 162

ヨ

用紙サイズ 91

用紙種類 93

用紙種類指定対応プリンタ 4

用紙ダイアログ

にプリンタ状態を表示する 107

用紙の設定 90

用紙方向 92

リ

リトライ回数 216

リモートプリンタ

詳細 221

詳細設定 222, 241

モード 227

モードの設定(NetWare 4.xJ 環境) 239

両面印刷 105

設定ダイアログ 89

対応プリンタ 4

をする 105

レ

レイアウト枠を付ける 94

Printia LASER プリンタユーティリティ ソフトウェアマニュアル

B1WY-4171-02 Z0-00

発行日 1999年8月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願ひいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。